令和７年度

教 職 員 研 修 計 画

学び続けよう、「一人一人を伸ばす教育」の実現のために

令和７年３月

新潟県教育委員会

にいがた
教育の日
KYOIKU NOV.1

目　　次

1　教職員研修計画の概要　1
（1）令和７年度教職員研修の基本方針　1
（2）令和７年度教職員研修の体系　1
（3）令和７年度教職員研修の重点　3
（4）研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励　3
（5）効果的な研修実施のための内容の充実と効率化　4

2　新潟県教員等育成指標について　6
（1）新潟県教員等育成指標の経緯　6
（2）育成指標の概要及び活用方法　6
（3）キャリアステージの区分　6
（4）本県の教育課題と育成指標の柱（区分）、活用目的　7
【参考】育成指標策定の経緯　8
新潟県教員等育成指標　校長指標　9
新潟県教員等育成指標　教諭指標（共通指標）　10
新潟県教員等育成指標　養護教諭指標　12
新潟県教員等育成指標　栄養教諭指標　14

3　研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励及び育成指標の活用について　16
（1）概要　16
（2）対象職員　16
（3）研修履歴として記録する研修等　16
（4）研修を記録する方法等　16
（5）対話に基づく受講奨励時における育成指標の活用　16
（6）その他育成指標の活用例　17
教諭指標（共通指標）の OJT 活用例　18
（7）受講奨励における研修計画の活用の仕方　19

4　令和７年度教職員研修一覧　20
（1）令和７年度教職員研修計画の重点に対応した主な研修　20
（2）研修・講座名、対象、研修主体等一覧表　21
（3）研修の目的・内容・方法等一覧表　26
Plant における研修・講座受講の流れ　89
Plant 操作手引き（教職員用）　90
Plant 操作手引き（学校管理職用）　95
Plant に関するＦＡＱ　100
新潟県教育支援システム利用案内　102

1　教職員研修計画の概要

(1) 令和７年度教職員研修の基本方針

教職経験年数に応じた基本研修を実施するとともに、本県の教育課題等に対応するより実践的な指導力の向上につながる専門研修の充実を図る。

ＩＣＴを活用した「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善、特別支援教育、いじめ等の課題への対応やキャリア教育など、本県における教育課題に対応する研修の内容を充実させ重点的に取り組む。

(2) 令和７年度教職員研修の体系

Ⅰ　基本研修

教職経験年数に応じて初任者、２年目、６年目、13 年目を対象とした研修を実施する。

1　初任者研修　　職務の遂行に必要な資質・能力の向上を図る。
- 初任者対象

2　教職２年次研修　　学級担任または養護教諭としての資質･能力の向上を図る。
- 教職経験２年目教諭等対象

3　教職６年次研修　　本県教育の課題を認識し、実践的指導力の向上を図る。
- 教職経験６年目教諭等対象

4　中堅教諭等資質向上研修　　中堅教諭等としての資質・能力の更なる向上を図る。
- 教職経験 13 年目教諭等対象

Ⅱ　専門研修

専門研修として、課題別研修、職務別研修を実施する。

1　課題別研修

(1)教員としての素養
崇高な使命感、高い倫理観、学級経営・学年経営、学校安全・危機管理等に関する研修。

(2)学習指導
学力向上、教育課程、各教科に対応した研修。

(3)生徒指導
児童生徒理解、多様性理解、いじめ等の課題への対応、キャリア教育等に関する研修。

(4)特別支援教育等
特別な配慮や支援を必要とする子供への対応等に関する研修。

(5)ＩＣＴ等
ＩＣＴや情報・教育データの利活用等に関する研修。

2　職務別研修

以下の職務別に実施する研修。

(1) 校長等	(2) 養護教諭	(3) 栄養教諭・学校栄養職員
(4) 事務職員等	(5) 実習助手	(6) 寄宿舎指導員
(7) 学校技術員・介助員・司書	(8) ＡＬＴ	(9) 給食運営職員
(10) 幼稚園教員	(11) 臨時職員	

Ⅲ　実践力向上研修

各学校園の実態に即した実践的な指導力の育成のため、希望する学校園に教育センターの指導主事を派遣して教科等に係る校内研修等を支援する。

令和７年度　新潟県教職員研修体系

研修体系

Ⅰ　基本研修

教職経験年数に応じて実施

初任者対象
1　初任者研修　教諭（幼、小、中、高、特、養、栄養）

教職経験２年目教諭等対象
2　教職２年次研修　教諭（小、中、高、特、養）

教職経験６年目教諭等対象
3　教職６年次研修　教諭（幼、小、中、高、特、養、栄養）

教職経験 13 年目教諭等対象
4　中堅教諭等資質向上研修　教諭（幼、小、中、高、特、養、栄養）

Ⅱ　専門研修

悉皆・指名・割当・希望により実施※

1　課題別研修

(1) 教員としての素養　(2)学習指導　(3)生徒指導
(4) 特別支援教育等　(5)ＩＣＴ等

2　職務別研修

(1) 校長等　(2) 養護教諭　(3) 栄養教諭・学校栄養職員
(4) 事務職員等　(5) 実習助手　(6) 寄宿舎指導員
(7) 学校技術員・介助員・司書　(8) ＡＬＴ
(9) 給食運営職員　(10) 幼稚園教員　(11) 臨時職員

Ⅲ　実践力向上研修

学校園からの依頼により、指導主事を派遣して実施

※【研修属性】　悉皆研修・・・採用年数等で受講必須の研修
指名研修・・・役職や経験年数等により受講者を指名して行う研修
割当研修・・・学校や地域又は役職を指定して行う研修
希望研修・・・受講希望者を募集して行う研修

(3)　令和７年度教職員研修の重点

各研修における教員等育成指標及び県の教育課題を踏まえた重点事項は以下のとおりである。

ア　基本研修

○　学び続ける教員の育成

初任者研修において、校内研修として基本研修、授業研修のほか、「学校や初任者の実態に応じた研修」にＯＪＴ研修を取り入れ、学校や初任者が主体性を発揮して研修に取り組み、学び続ける教員を育成する研修を実施する。

○　児童生徒理解及び多様性理解の推進

・　初任者研修、教職６年次研修及び中堅教諭等資質向上研修において、いじめ問題や不登校児童生徒、特別な支援を必要とする児童生徒への対応などを学ぶ研修を、また上記研修と教職２年次研修において、学級における人間関係の指導、共感的な理解をもって児童生徒に接する方法などを学ぶ研修を行う。

・　養護教諭の教職経験者研修において、いじめについての基本的な認識を深めたり、不登校児童生徒への対応を学んだり、具体的な指導のあり方や学校内外での連携について理解したりする研修を行う。

○　ミドルリーダーの養成

中堅教諭等資質向上研修において、コース別研修でミドルリーダーとしての校内組織マネジメント力の向上を図るとともに、学習指導研修で小･中･高･特合同の授業公開・協議会を実施し、小･中･高･特を俯瞰した授業力の向上を図る。

イ　専門研修

○　学力向上・情報教育への対応

個別最適な学びと協働的な学びの充実を通した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図るため、「個別最適・協働的な学びに向けた授業づくり講座」や「探究的な学びに向かう！授業アイディア講座」を実施する。

１人１台の学習端末や通信環境等の整備が整ったものの、学校間や教員間でＩＣＴ活用の意識やスキルに差が見られることから、ＧＩＧＡスクール構想の実現に向け、ＩＣＴ活用の習熟度に応じた「MetaMoJi ClassRoom 基礎講座」や「生成ＡＩ活用講座」などの研修を実施する。

○　生徒指導・特別支援教育等への対応

児童生徒のいじめ、不登校、ヤングケアラー等への対応、自殺予防等への対応、特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応等、学校における課題は一層多様化、複雑化していることから、地域や専門機関と連携しながら組織的に対応することが求められており、「ヤングケアラー支援に関する教育・福祉関係機関合同研修会」や「ゲートキーパー研修」、「みんなの特別支援教育講座」などの研修を実施し、知識と技能の習得を目指す。

ウ　実践力向上研修

各学校園における教科指導や教育相談、特別支援教育等、ＩＣＴ活用等に関して、学校の実態や市町村における教育課題に応じ、指導主事による研修プログラムの作成や実地の指導を通じて校内研修を支援し、教員の実践的な指導力の向上を図る。

(4)　研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励

○　教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律（令和４年法律第 40 号以下「法」という）により、教育委員会による教職員の研修履歴の記録の作成と当該履歴を活用した資質向上に関する指導助言等の仕組みが、令和５年４月１日から実施された。

○　「対話に基づく受講奨励」とは、教職員と学校管理職等とが対話を繰り返す中で、教職員が自らの研修ニーズと、自分の強みや弱み、今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割などを踏まえながら、必要な学びを主体的に行っていくことを基本な考え方としており、

先述の研修履歴の記録を活用して対話に基づく受講奨励を行うことにより、

・　教職員が今後どの分野の学びを深めるべきか
・　学校で果たすべき役割に応じてどのような学びが必要か

等について、学校管理職等による効果的な指導助言等が可能となるとともに、個々の教職員の強みや専門性を把握した上で校務分掌を決定するなど効果的な学校運営を行うことが期待される。

○　また、「新たな教師の学びの姿」が、変化の激しい時代にあって、教職員が探究心をもちつつ、自律的に学ぶこと、主体的に学びをマネジメントしていくことが前提であることを踏まえ、「対話に基づく受講奨励」は、教職員の意欲・主体性と調和したものとなるよう、指導助言者が当該教職員の意向を十分にくみ取って行う必要がある。

（５）　効果的な研修実施のための内容の充実と効率化

ア　教職員一人一人のニーズに応じた研修に向けて

○　研修の目的と目標を明確に設定し、研修内容の妥当性や研修方法の有効性を評価しやすいものとする。
○　研修受講者に対するアンケート調査の結果をもとに、目標達成度、内容満足度等を把握し、研修担当課、教育センター、教育事務所で協議し、研修内容の改善・充実を図る。
○　Plant の利活用を図り、校長及び教員等が、より主体的に研修に取り組む。
○　ＯＪＴにおける活用場面を例示することにより、目指すべき姿の達成のために必要な研修を主体的に選択できるようにする。

イ　関係機関との連携

○　大学
・　校長及び教員等の資質・能力の向上を図るため、県内大学と県教育委員会との間で連携協議会を設け、教員養成・採用・研修のあり方について、情報共有及び連携を図る。
・　大学院派遣研修において、教員としての専門性を高めるため県内大学院への派遣を行う。
・　大学教員による校内研修へのかかわりを推進し、大学教員リストの作成を進めるほか、大学と教職員との人事交流の促進を図る。
・　先端科学技術活用講座において、受講者が大学に出向いて講義を受け、観察、実験、演習を行う。

○　関係施設
　中堅教諭等資質向上研修（幼稚園、養護教諭）において、児童自立支援施設等の見学の受け入れや職員による講義等で協力を得る。

○　企業
　初任者研修（高等学校）の企業訪問において、職員による講義や見学の受け入れ等により協力を得る。

ウ　研修の効率的な実施、多忙化解消への対応

○　基本研修の実施方法の見直し
　「学び続ける教員」として生涯にわたって研修やＯＪＴ等を通じて資質・能力の向上を図り、指導力向上のため自ら主体的に学ぶ研修とする。

○　Ｗｅｂ会議システム等を活用した研修形態の多様化
　地区別開催を推進するほか、県立教育センターと上越、中越、佐渡の４拠点を結ぶＷｅｂ会議システムを配備し、研修への導入を拡大させることで、離島や遠隔地間の移動を縮減し、受講者のさらなる負担軽減を進める。

○　クラウドサービス等の運用
　市町村立学校における新潟県教育支援システム(Tea Room)、県立学校における新潟県教育情報ネットワーク(NEIN)システム、Google Workspace for Education の利活用を図り、教材や指導案等の情報共有を通じた業務の効率化を支援する。

エ　研修の効果を検証するための方途

○　受講者アンケート等の実施

・　研修・講座が教職員の資質・能力の向上と県の教育課題の解決にどの程度有効であったか、受講者にアンケートを実施する。

・　アンケートの集約結果を基に考察及び改善案を提案し、次年度の研修・講座実施計画に反映させ、研修の一層の充実を図る。

・　教職員研修計画に関する意見を下記窓口で受け付ける。

【窓口】

新潟県教育庁総務課企画係　〒950-8570　新潟市中央区新光町４－１
TEL：025-280-5587
E-mail：ngt500010@pref.niigata.lg.jp

新潟県立教育センター　〒950-2144　新潟市西区曽和１００－１
TEL：025-263-1094
E-mail：ngt503010@pref.niigata.lg.jp

2　新潟県教員等育成指標について

（１）新潟県教員等育成指標の経緯

新潟県教育委員会では、「新潟県教育振興基本計画」に基づき、基本理念を「一人一人を伸ばす教育」、今後目指すひとづくりの姿を「ふるさとへの愛と誇りを胸に、夢や希望をもって粘り強く挑戦し、未来を切り拓いていける、たくましいひとづくり」とし、それを実現するための重要な施策の１つに「教職員の資質・能力の向上」を掲げています。

国においては、平成 29 年４月に「教育公務員特例法の一部を改正する法律」が施行され、教員等の資質の向上に関する指標を定めることとされました。これを受け、「学び続ける教員」として、本県の教員に必要と考える資質・能力を、キャリアステージに応じて明確にした指標により、教員自らが生涯にわたって、研修やＯＪＴ等を通じて資質・能力の向上を図られるよう、本県においても、「新潟県教員等育成指標」を平成 29 年 12 月に策定しました。

その後、ＩＣＴ、情報・教育データの利活用等に対応するため、ＩＣＴに関する項目を令和４年３月に追加し、令和５年２月に本県の教員に共通に求められる資質・能力を５つの柱で再整理しました。また令和６年 3 月に、新たに養護教諭・栄養教諭の育成指標を策定しました。

（２）育成指標の概要及び活用方法

育成指標は、各期における最終的に到達してほしい教員としての姿を示しています。しかし、画一的な教員像を求めるものではありません。全教員に求められる基礎的・基本的な資質・能力を確保し、各教員の長所や個性の伸長を図るために活用してください。育成指標に示されている全ての内容を、その期の中で達成しなければならないと気負う必要はありません。

また、本県では全ての校種で共通の育成指標を用います。校種によって求められる専門性は特有のものがありますが、新潟県の教員として、全校種に共通して求められる資質・能力の多くは共通しています。また、養護教諭、栄養教諭も児童生徒を指導するために専門領域以外の資質・能力の多くは共通しています。それぞれの校種や職種に応じて、実態に合わせて読み替えて活用してください。

（３）キャリアステージの区分

本県では、教員の採用から退職までの経験年数（キャリアステージ）に応じた区分を、「着任時」「第１期：基礎形成期」「第２期：能力伸長期」「第３期：能力充実期（ミドルリーダー含む）」としています。そして、それぞれのステージに応じて期待される姿を、以下のように定めています。

キャリアステージの区分

<table>
<tr><td rowspan="4">着任時（採用段階）</td><td>第１期</td><td>第２期</td><td colspan="2">第３期</td><td>管理職</td></tr>
<tr><td>基礎形成期</td><td>能力伸長期</td><td>能力充実期</td><td>ミドルリーダー</td><td rowspan="2">校長
副校長
教頭</td></tr>
<tr><td>１～５年目</td><td>６～12 年目</td><td colspan="2">13 年目以降</td></tr>
<tr><td>職務の遂行に必要な実践的指導力の基礎の確立</td><td>専門的知識・技能に基づく実践的指導力の向上</td><td colspan="2">学校(園)運営の参画に向けた実践的指導力の充実</td><td>信頼される学校経営の推進</td></tr>
<tr><td colspan="5">教諭指標（共通指標）</td><td>校長指標</td></tr>
</table>

（４）本県の教育課題と育成指標の柱（区分）、活用目的

変化の激しい時代において、本県でも教職員には以下のような様々な教育課題への対応が求められています。

《教育課題》

- ○　学習指導要領の改訂による教育課程・授業方法の改革
- ○　特別な教育的ニーズのある児童生徒の増加
- ○　いじめによる重大事案の発生や問題行動の増加
- ○　ＩＣＴを活用した効果的な授業実践や校務の効率化　等

これらの教育課題に対応するため、本県の教員に求められる資質・能力を校長指標、教諭指標（共通指標）、養護教諭指標、栄養教諭指標、いずれも５つの柱（区分）で整理しました。

育成指標《校長指標》（副校長、教頭等、他の管理職も参考とする）

人間性・識見	学び続ける姿勢と高い教育理念に基づき、広い視野で公教育及び学校を取り巻く社会的・文化的状況を把握し、自ら行動し、粘り強く職務に取り組み、未来を切り拓く児童生徒の確かな成長を促す
学校経営	学校経営方針の設定と達成、組織運営の整備、家庭・地域社会等との連携
学校教育の管理	教育課程の編成と管理、児童生徒の管理、予算・施設等の管理
教職員の管理・育成	勤務環境の管理、服務規律の確保、教職員の育成
危機管理	学校安全管理、学校情報管理

育成指標《教諭指標（共通指標）》（養護教諭・栄養教諭は、学習指導を専門領域に代える）

教員としての素養		崇高な使命感、教職への誇りと情熱、児童生徒への愛情 高い倫理観・人権感覚、法令や服務規律の遵守、責任感 学び続ける姿勢（理想の教師像、目指す授業、新たな教育課題の解決） コミュニケーション力 学級経営・学年経営、教職員間の連携・協働、家庭・地域社会等との連携、学校安全・危機管理
学習指導		授業構想、授業実践、評価・改善
	専門領域	【養護教諭】保健管理、保健教育等
		【栄養教諭】食に関する指導、栄養管理等
生徒指導		児童生徒理解、多様性理解、特別支援教育、いじめ等の課題への対応、進路指導及びキャリア教育
特別支援教育等		特別な配慮や支援を必要とする子供への対応
ＩＣＴ等		ＩＣＴや情報・教育データの利活用

【参考】　育成指標策定の経緯

指標策定等の経緯

平成 29 年４月	教育公務員特例法の一部を改正する法律の施行
平成 29 年９月	「新潟県教員等資質向上に関する連携協議会」（以下、「協議会」という。）を設置
	・平成 29 年度第１回協議会　指標の枠組みを検討
	・平成 29 年度第２回協議会　指標案を検討
平成 29 年 12 月	協議会での協議を踏まえ、指標を策定
平成 31 年２月	・平成 30 年度協議会　指標の活用状況について意見交換
令和４年３月	・令和　３年度協議会
	教諭指標（共通指標）、校長指標にＩＣＴに関する観点と項目の追加を検討
令和４年３月	協議会での協議を踏まえ、指標を改正
令和４年 12 月	・令和　４年度協議会
	教員等育成指標の改正（区分の再整理等）について検討
令和５年２月	協議会での協議を踏まえ、指標を改正
令和６年３月	協議会での協議を踏まえ、養護教諭・栄養教諭の指標を策定

協議会委員

※新潟県教員等資質向上に関する連携協議会設置要綱　（組織）第３条より

○校長及び教員の研修に協力する大学並びに当該校長及び教員の資質の向上に関係する大学の関係者
○公立の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の各校長会の代表者
○新潟県教育委員会の関係者
○その他新潟県教育委員会が必要と認める者

養護教諭･栄養教諭育成指標の策定について

養護教諭・栄養教諭育成指標

○教諭指標（共通指標）のうち、「学習指導」の部分を「専門領域」と変えて、養護・栄養教諭として求められる資質・能力を策定したもの。

【教諭指標（共通指標）指標の5区分】
①教員としての素養
②学習指導
③生徒指導
④特別支援教育等
⑤ＩＣＴ等

→

【養護･栄養教諭の指標の5区分】
①教員としての素養
②専門領域
③生徒指導
④特別支援教育等
⑤ＩＣＴ等

○専門領域の主な内容

(1) 養護教諭の育成指標
「専門領域」内の観点を職務５項目（保健管理、保健体育、健康相談及び保健指導、保健室経営、保健組織活動）とし、各キャリアステージにおいて求められる資質・能力を整理。

(2) 栄養教諭の育成指標
「専門領域」内の観点を職務２項目（食に関する指導、給食管理）とした上で項目を細分化し、各キャリアステージにおいて求められる資質・能力を整理。

新潟県　教員等育成指標

校長指標

区分	観　　点	項　　目
人間性・識見	学び続ける姿勢と高い教育理念に基づき、広い視野で公教育及び学校を取り巻く社会的・文化的状況を把握し、自ら行動し、粘り強く職務に取り組み、未来を切り拓く児童生徒の確かな成長を促す。	
学校経営	学校経営方針の設定と達成	国や県、市町村教育委員会の教育施策及び児童生徒の実態や保護者・地域社会の期待を把握する。
		時代や社会のニーズを踏まえて、学校の将来ビジョンを設定し、その具現化に向けて、教職員に具体的な計画や手立てを提示する。
	組織運営の整備	「チーム学校」として適材適所の人材活用を図り、教職員の役割や校内外の協力体制を明確にするとともに、適宜組織体制の見直しを行う。
		ICTの活用により校務処理の効率化と教育活動の質の向上を図る。
		特色ある学校づくりや開かれた学校づくりに向け、PDCAサイクルに基づき、計画的・効果的な教育活動を推進する。
	家庭・地域社会等との連携	保護者会や学校運営協議会での報告及び各種広報活動等により、学校教育活動の内容を地域等に周知する。
		関係機関や家庭・地域社会等と連携を図り、人的・物的資源を有効に活用する。
学校教育の管理	教育課程の編成と管理	地域や学校の実態を考慮し、カリキュラム・マネジメントの視点をもって「社会に開かれた教育課程」の実現を推進する。
		教育課程の編成方針について教職員を指導し、学校評価等の結果を用いて教育課程の実施状況を確認し、改善を図る。
	児童生徒の管理	児童生徒の健康及び安全を適正に管理し、事件や事故の未然防止に取り組む。
		いじめ等の事案や特別な支援を要する児童生徒への対応に関して、常に正確な情報収集に努め、迅速かつ適切な対応を行う。
	予算・施設等の管理	教育活動の質の向上に向けて、予算執行・文書管理・施設管理を適正に行う。
教職員の管理・育成	勤務環境の管理	教職員とのコミュニケーションを図り、信頼関係を築くとともに、同僚性の高い働きやすい職場づくりを行う。
		勤務時間等、勤務環境の管理、把握に努め、メンタルヘルス不調やハラスメント等の防止、多忙化解消に向けて、適切に対応する。
	服務規律の確保	学校における服務監督者として、教職員の日常の勤務状況等を把握し、個別指導を行うとともに、非違行為の根絶に向けて指導を徹底する。
		信頼される学校づくりに向けて、教職員の人権感覚の向上を図るとともに、保護者や地域社会等との対応について具体的に指導する。
	教職員の育成	一人一人の能力や適性を丁寧に把握し、キャリアステージに応じた役割を与えるとともに、職務状況を的確に評価し、教職員が主体的に資質・能力の向上を図るよう研修受講等について指導助言を行う。
		研修体制の組織化とOJTの推進を図るとともに、面談をとおして教職員の研修に対する意欲を高め、「学び続ける教員」を育成する。
危機管理	学校安全管理	「危機管理マニュアル」の見直し、改善に努め、学校事故の未然防止と事故発生時の組織的対応に取り組む。
	学校情報管理	教職員及び児童生徒の個人情報、学校ホームページ、校内ネットワーク、ソフトウェア等を適切に管理するとともに、個人情報漏洩防止のため、セキュリティ管理を徹底する。

新潟県　教員等育成指標

教諭指標（共通指標）

区分	観点		着任時（採用段階）	第1期	第2期	第3期	
				基礎形成期	能力伸長期	能力充実期	特にミドルリーダーに求めるもの※
				職務の遂行に必要な実践的指導力の基礎の確立	専門的知識・技能に基づく実践的指導力の向上	学校（園）運営の参画に向けた実践的指導力の充実	
				1～5年目	6～12年目	13年目以降	
教員としての素養	教育公務員としての崇高な使命を自覚し、教職への誇りと情熱、児童生徒への愛情をもつ。						
	高い倫理観、人権感覚をもち、法令や服務規律の遵守を徹底し、責任をもって自らの職務を果たす。						
	学び続けることの重要性について理解し、理想の教師像や目指す授業、新たな教育課題の解決に向けて常に努力し続ける。						
	学校運営の持続的な改善を支えられるよう、校務に積極的に参画し、組織の中で自らの役割を果たす。						
	教職員や児童生徒、保護者、地域住民等とのコミュニケーションを大切にしながら、周囲との信頼関係を構築する。						
	学校運営	学級経営・学年経営	学級担任の役割と職務内容及び、学校運営と組織編成の方針、校務分掌の内容を理解している。	教育目標を理解し、児童生徒の実態を踏まえ、学級内での良好な人間関係づくりに努め、組織的に活動できるよう指導する。	教育目標や学校の経営方針を踏まえ、同僚の教職員と連携を図りながら、積極的に学級・学年経営に参画する。	教育目標や学校の経営方針を踏まえ、同僚の教職員に適切な支援、助言を行いながら主体的に学級・学年経営を推進する。	学校運営について、創造的なビジョンの構想やプラン構築に参画し、教育活動を活性化する。
		教職員間の連携・協働	社会人として良識ある言動に努め、円滑な人間関係を築こうとしている。	他の教職員と積極的に関わり、疑問点や悩みを相談したり、共有したりしながら自己改善を進める。	互いの課題や悩みに気付き、支え合える環境をつくるとともに、経験の少ない教職員を積極的に支援する。	学校全体の教職員の特性を踏まえ、役割分担を調整するとともに、経験に応じた効果的な人材育成の環境を整える。	
		家庭や地域社会等との連携	家庭や地域社会等との連携の必要性と在り方を理解している。	家庭や地域社会等と積極的にコミュニケーションをとり、良好な関係を築く。	家庭や地域社会、関係機関等との関わりを深め、連携・協働して教育活動を行う。	家庭や地域社会、関係機関等からの要望等の情報収集に努め、連携・協働のネットワークを形成する。	
		学校安全、危機管理	危機管理の重要性とともに、未然防止や危険を察知した場合に、迅速かつ組織的に行動すること等の必要性を理解している。	いじめ対応、心のケア、アレルギー対応及びその他学校事故の未然防止と安全配慮義務について理解し、迅速かつ組織的に対応する。	緊急事態発生の対応について日頃から組織的な動きをイメージし、未然防止に努め、事故が起こったとき迅速かつ組織的に対応する。	緊急事態発生の対応について日頃から中核的な役割を担い、未然防止に努め、事故へ迅速かつ組織的に対応する。	
	授業構想		学習指導要領の目標と内容に沿って、児童生徒の実態に合った授業を行うことの重要性を理解している。	児童生徒の実態を把握した上で、単元を通して育む資質・能力とねらいを明確にした授業を立案する。	身近な生活や社会につながる授業や、児童生徒の主体的な学びを導く授業・単元の構想を立てる。	高い専門性を基に、周りにある教育資源や新しい指導方法を効果的に取り入れ、他の教員の模範となる授業を構想する。	

学習指導	授業実践	板書や発問等の基本的技術を身に付けるとともに、児童生徒の考えを引き出す課題を設定しようとしている。	主体的・対話的で深い学びの実現を図り、児童生徒が自ら課題を見つけ、解決していく授業を行う。	主体的・対話的で深い学びの視点から、各教科の専門的知識・技能を高め、児童生徒の学びを深める授業を行う。	主体的・対話的で深い学びを組織的に推進し、授業に関する適切な指導・助言を行う。	学校全体の学習上の諸問題を把握し、教育課程や授業づくりについて、小・中・高連携の視点をもち、組織的に校内研究を進める。
	評価・改善	目標に準拠した評価規準の設定や、活動に合った評価方法を用いて評価している。	学習評価の在り方を理解し、評価規準を用いて児童生徒の学習状況を把握し、指導を改善する。	学力向上や教科等の目標の視点をもち、日々の授業を振り返るとともに、他の教職員の授業を参観し、不断の授業改善を行う。	学力向上や授業評価、授業改善等の視点をもち、学年内や教科内の指導計画の改善を学校全体で行う。	
生徒指導	児童生徒理解、多様性理解	児童生徒一人一人の実態に沿った指導の重要性を理解している。 インクルーシブ教育システム等、多様性を尊重し、共生を図るための基本的な指導の在り方を理解している。	児童生徒と積極的にコミュニケーションを図るとともに、公平かつ受容的・共感的に関わる。 児童生徒の多様性を理解し、多様性を生かした教育活動を実践する。	児童生徒一人一人の心身の特性や状況、生活環境等を多面的に捉え、個に応じた指導・支援を行う。	教職員の多様な専門性を活用し、連携・協働して組織的に児童生徒の指導・支援を行う。	生徒指導を組織的・計画的に行うための長期的な見通しをもち、関係機関や小・中・高等との連携を図りながら、教職員に対して指導・助言をする。
	いじめ等の課題への対応	いじめや不登校等の背景にある要因の把握と課題解決に向けた迅速かつ組織的な指導・支援が重要であることを理解している。	日常的な観察や会話、アンケート調査、面談等をとおしていじめの早期発見と迅速かつ組織的な対応、不登校の未然防止に努める。	児童生徒が抱える課題や困難を分析し、いじめや不登校等の予防・解決に向けて迅速かつ組織的な対応による適切な指導・支援を行う。	いじめや不登校等の現状について常に情報を収集し、予防・解決に向けて迅速かつ組織的な対応による適切な指導や支援を行う。	
	進路指導及びキャリア教育	キャリア教育や進路指導の意義、児童生徒が自分らしい生き方を実現するための力を育成することの重要性を理解している。	児童生徒の夢や進路への思いを受け止め、率先してキャリア教育に取り組む。	キャリアカウンセリングを通して、児童生徒の進路や将来を見据えたキャリア教育を実践する。	小・中・高や外部機関との連携を図りながら、進路指導やキャリア教育の指導計画の整備に参画する。	
特別支援教育等	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	特別支援教育の基本的な指導・支援の考え方及び合理的配慮等の在り方について理解している。	個々の特別な教育的ニーズに応じて指導方法を工夫し、個別の指導計画等に基づいた指導を行う。	個別の指導計画及び個別の教育支援計画に基づいた支援が継続するよう、その評価・改善を適切に行う。	個別の教育支援計画等に基づき、必要に応じて関係機関との連携や活用を進め、組織的・継続的な支援を行う。	特別支援教育を組織的・計画的に行うために関係機関との連携を図りながら、教職員に対して指導・助言をする。
ＩＣＴ等	ICT や情報・教育データの利活用	ICT活用の意義を理解し、授業や校務等にICTを効果的に活用しようとしている。	「個別最適な学び」と、「協働的な学び」を一体的に充実させるとともに、情報活用能力（情報モラル等を含む）を育成するための授業実践等を行うことが出来る。また、校務等を円滑かつ効率的に処理する。			生徒及び教職員の情報活用能力の向上に向け自校の課題を把握し、課題解決のために組織的・計画的に校内研修を企画・立案し、必要に応じ指導・助言をする。

着任時:　着任時点で身に付けていてほしい資質・能力（大学等における教員養成の到達目標）
第１期～第３期:　各期において、最終的に到達してほしい資質・能力（到達目標）
※ミドルリーダーとは「役割」であり、年齢に縛られるものではない。

新潟県　教員等育成指標

養護教諭指標

区分	観点		着任時（採用段階）	第1期	第2期	第3期	
				基礎形成期	能力伸長期	能力充実期	特にミドルリーダーに求めるもの※
				職務の遂行に必要な実践的指導力の基礎の確立	専門的知識・技能に基づく実践的指導力の向上	学校（園）運営の参画に向けた実践的指導力の充実	
				1～5年目	6～12年目	13年目以降	
教員としての素養	教育公務員としての崇高な使命を自覚し、教職への誇りと情熱、児童生徒への愛情をもつ。						
	高い倫理観、人権感覚をもち、法令や服務規律の遵守を徹底し、責任をもって自らの職務を果たす。						
	学び続けることの重要性について理解し、理想の教師像や目指す子どもの姿、新たな教育課題の解決に向けて常に努力し続ける。						
	学校運営の持続的な改善を支えられるよう、校務に積極的に参画し、組織の中で自らの役割を果たす。						
	教職員や児童生徒、保護者、地域住民等とのコミュニケーションを大切にしながら、周囲との信頼関係を構築する。						
	学校運営	教職員間の連携・協働	社会人として良識ある言動に努め、円滑な人間関係を築こうとしている。	他の教職員と積極的に関わり、疑問点や悩みを相談したり、共有したりしながら自己改善を進める。	互いの課題や悩みに気付き、支え合える環境をつくるとともに、経験の少ない教職員を積極的に支援する。	学校全体の教職員の特性を踏まえ、役割分担を調整するとともに、経験に応じた効果的な人材育成の環境を整える。	学校運営について、創造的なビジョンの構想やプラン構築に参画し、教育活動を活性化する。
		家庭や地域社会等との連携	家庭や地域社会等との連携の必要性と在り方を理解している。	家庭や地域社会等と積極的にコミュニケーションをとり、良好な関係を築く。	家庭や地域社会、関係機関等との関わりを深め、連携・協働して教育活動を行う。	家庭や地域社会、関係機関等からの要望等の情報収集に努め、連携・協働のネットワークを形成する。	
		学校安全、危機管理	危機管理の重要性とともに、未然防止や危険を察知した場合に、迅速かつ組織的に行動すること等の必要性を理解している。	いじめ対応、心のケア、アレルギー対応及びその他学校事故の未然防止と安全配慮義務について理解し、迅速かつ組織的に対応する。	緊急事態発生の対応について日頃から組織的な動きをイメージし、未然防止に努め、事故が起こったとき迅速かつ組織的に対応する。	緊急事態発生の対応について日頃から中核的な役割を担い、未然防止に努め、事故へ迅速かつ組織的に対応する。	
専門領域	保健管理		学校保健安全法を理解し、救急処置、健康診断、疾病予防などの保健管理に関する基礎的知識と技能を習得している。	自校の実態や児童生徒の発達段階に応じた保健管理を適切に行う。	校内における保健管理の中心的役割を担い、児童生徒の健康課題の解決に向け、組織的に対応する。	児童生徒の健康管理能力の育成を行うとともに、保健管理が円滑に行われるよう、学校内外のコーディネーター的役割を果たす。	現代的健康課題を的確に把握し、組織マネジメント力を働かせながら学校保健活動を推進するとともに、校区等をはじめとする地域の教職員の資質向上に貢献する。
	保健教育		学習指導要領の目標と内容及び保健教育における養護教諭の役割を理解している。	教職員と連携し、児童生徒の実態を捉え、養護教諭の専門性を生かした保健教育を実践する。	単元構想や教材開発、授業改善に取り組むとともに、計画的・組織的に保健教育を推進する。	児童生徒の健康課題の解決に向けて、自校の教育課程編成に携わり、指導的立場で教科横断的な保健教育を推進する。	
	健康相談・保健指導		学校保健安全法による健康相談・保健指導の位置付け及び発達段階における健康課題とその対応について理解している。	健康相談・保健指導の基本的なプロセスを理解し、児童生徒の心身の健康課題に対して、教職員と連携して指導・支援を行う。	児童生徒の心身の健康課題を的確に捉え、校内外の組織と連携した健康相談・保健指導を行う。	健康課題解決に向け、教職員の対応力向上や支援体制の整備のためのコーディネーター的役割を果たす。	

	保健室経営	養護教諭の職務や役割を理解し、保健室の機能や経営に関する基礎的な知識を習得している。	学校教育目標や健康課題に応じた保健室経営計画を立案し、計画的に保健室経営を行う。	学校教育目標や学校保健目標の具現化に向けた保健室経営を組織的に行う。	学校運営に積極的に参画し、学校保健活動のセンター的役割を果たす保健室経営を展開する。	
	保健組織活動	保健組織活動の意義、学校・家庭・地域等の協力・連携の重要性を理解している。	自校の健康課題を把握し、関係者と連携しながら、積極的に保健組織活動に参画する。	自校の健康課題解決のため、関係者と連携しながら、保健組織活動を活性化するとともに、適切な評価・改善を行う。	学校、家庭、地域の関係機関等が連携・協働し、ネットワークを機能させながら、児童生徒の健康課題解決に向けた取組を実践する。	
生徒指導	児童生徒理解、多様性理解	児童生徒一人一人の実態に沿った指導の重要性を理解している。 インクルーシブ教育システム等、多様性を尊重し、共生を図るための基本的な指導の在り方を理解している。	児童生徒と積極的にコミュニケーションを図るとともに、公平かつ受容的・共感的に関わる。 児童生徒の多様性を理解し、多様性を生かした教育活動を実践する。	児童生徒一人一人の心身の特性や状況、生活環境等を多面的に捉え、個に応じた指導・支援を行う。	教職員の多様な専門性を活用し、連携・協働して組織的に児童生徒の指導・支援を行う。	生徒指導を組織的・計画的に行うための長期的な見通しをもち、関係機関や小・中・高等との連携を図りながら、教職員に対して指導・助言をする。
	いじめ等の課題への対応	いじめや不登校等の背景にある要因の把握と課題解決に向けた迅速かつ組織的な指導・支援が重要であることを理解している。	日常的な観察や会話、アンケート調査、面談等をとおしていじめの早期発見と迅速かつ組織的な対応、不登校の未然防止に努める。	児童生徒が抱える課題や困難を分析し、いじめや不登校等の予防・解決に向けて迅速かつ組織的な対応による適切な指導・支援を行う。	いじめや不登校等の現状について常に情報を収集し、予防・解決に向けて迅速かつ組織的な対応による適切な指導や支援を行う。	
	進路指導及びキャリア教育	キャリア教育や進路指導の意義、児童生徒が自分らしい生き方を実現するための力を育成することの重要性を理解している。	児童生徒の夢や進路への思いを受け止め、率先してキャリア教育に取り組む。	キャリアカウンセリングを通して、児童生徒の進路や将来を見据えたキャリア教育を実践する。	小・中・高や外部機関との連携を図りながら、進路指導やキャリア教育の指導計画の整備に参画する。	
特別支援教育等	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応	特別支援教育の基本的な指導・支援の考え方及び合理的配慮等の在り方について理解している。	個々の特別な教育的ニーズに応じて指導方法を工夫し、個別の指導計画等に基づいた指導を行う。	個別の指導計画及び個別の教育支援計画に基づいた支援が継続するよう、その評価・改善を適切に行う。	個別の教育支援計画等に基づき、必要に応じて関係機関との連携や活用を進め、組織的・継続的な支援を行う。	特別支援教育を組織的・計画的に行うために関係機関との連携を図りながら、教職員に対して指導・助言をする。
ICT等	ICT や情報・教育データの利活用	ICT活用の意義を理解し、授業や校務等にICTを効果的に活用しようとしている。	「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるとともに、情報活用能力(情報モラル等を含む)を育成するための授業実践等を行うことが出来る。また、校務等を円滑かつ効率的に処理する。			生徒及び教職員の情報活用能力の向上に向け自校の課題を把握し、課題解決のために組織的・計画的に校内研修を企画・立案し、必要に応じ指導・助言をする。

着任時:　着任時点で身に付けていてほしい資質・能力(大学等における教員養成の到達目標)
第1期～第3期:　各期において、最終的に到達してほしい資質・能力(到達目標)
※ミドルリーダーとは「役割」であり、年齢に縛られるものではない。

新潟県　教員等育成指標

栄養教諭指標

※学校栄養職員も準ずる

区分	観点		着任時（採用段階）	第1期	第2期	第3期	
				基礎形成期	能力伸長期	能力充実期	特にミドルリーダーに求めるもの※
				職務の遂行に必要な実践的指導力の基礎の確立	専門的知識・技能に基づく実践的指導力の向上	学校（園）運営の参画に向けた実践的指導力の充実	
				1～5年目	6～12年目	13年目以降	
教員としての素養	教育公務員としての崇高な使命を自覚し、教職への誇りと情熱、児童生徒への愛情をもつ。						
	高い倫理観、人権感覚をもち、法令や服務規律の遵守を徹底し、責任をもって自らの職務を果たす。						
	学び続けることの重要性について理解し、理想の教師像や目指す授業、新たな教育課題の解決に向けて常に努力し続ける。						
	学校運営の持続的な改善を支えられるよう、校務に積極的に参画し、組織の中で自らの役割を果たす。						
	教職員や児童生徒、保護者、地域住民等とのコミュニケーションを大切にしながら、周囲との信頼関係を構築する。						
	学校運営	教職員間の連携・協働	社会人として良識ある言動に努め、円滑な人間関係を築こうとしている。	他の教職員と積極的に関わり、疑問点や悩みを相談したり、共有したりしながら自己改善を進める。	互いの課題や悩みに気付き、支え合える環境をつくるとともに、経験の少ない教職員を積極的に支援する。	学校全体の教職員の特性を踏まえ、役割分担を調整するとともに、経験に応じた効果的な人材育成の環境を整える。	学校運営について、創造的なビジョンの構想やプランの構築に参画し、教育活動を活性化する。
		家庭や地域社会等との連携	家庭や地域社会等との連携の必要性と在り方を理解している。	家庭や地域社会等と積極的にコミュニケーションをとり、良好な関係を築く。	家庭や地域社会、関係機関等との関わりを深め、連携・協働して教育活動を行う。	家庭や地域社会、関係機関等からの要望等の情報収集に努め、連携・協働のネットワークを形成する。	
		学校安全、危機管理	危機管理の重要性とともに、未然防止や危険を察知した場合に、迅速かつ組織的に行動すること等の必要性を理解している。	いじめ対応、心のケア、アレルギー対応及びその他学校事故の未然防止と安全配慮義務について理解し、迅速かつ組織的に対応する。	緊急事態発生の対応について日頃から組織的な動きをイメージし、未然防止に努め、事故が起こったとき迅速かつ組織的に対応する。	緊急事態発生の対応について日頃から中核的な役割を担い、未然防止に努め、事故へ迅速かつ組織的に対応する。	
専門領域	食に関する指導	各教科等における指導	各教科の学習指導要領の目標と内容に沿って食に関する指導を行うことを理解し、教職員と連携する必要性を理解している。	児童生徒の実態に基づき、全体計画を立案し、教職員と連携し、食に関する指導を計画的に行う。	児童生徒の食生活の実態を踏まえ、教科等と関連させ、児童生徒の主体的な学びを導く効果的な指導を教職員と連携して行う。	高い専門性を生かし、周りにある教育資源や新しい指導方法を効果的に取り入れ、教職員と連携・協働して指導を推進し、学校全体で食に関する指導の評価及び改善を行う。	学校や地域の食に関する実態に基づき、課題解決のため、関係機関等と連携した食育推進を計画、実行し、専門的な立場から教職員への指導・助言を行う。
		給食の時間における指導	給食時間における日々の指導の重要性及び教職員と連携する必要性を理解している。	学校給食を生きた教材として、教職員と連携して、給食時間の指導を計画的に行う。	教科等と関連させた給食時間の指導を推進し、教職員と連携して、学年に応じた効果的な指導を行う。	地域の食文化や郷土料理の伝承等、地域の地場産物や資源を生かし、教職員や地域の関係者と連携・協働して実施する。計画、実施内容等の評価を学校全体で行い、改善する。	
		個別的な相談指導	栄養学等の基礎知識を有し、食に関する健康課題のある児童生徒への個別指導を行うことの重要性を理解している。	実態調査等から食に関する健康課題を有する児童生徒や保護者に対し、専門的な立場から教職員と連携し、適切な指導・助言を行う。校内の相談指導体制の整備に取り組む。	児童生徒の食に関する健康課題を総合的に判断し、個人の課題解決のため、教職員と連携して組織的に取り組むことで、効果的な指導・支援を行う。	児童生徒の個別の食に関する健康課題に応じた相談指導を校内の中心となって推進する。教職員や医療機関等と連携・協働して児童生徒の指導・支援を行い、学校全体でその成果を共有し、評価・改善を行う。	

	給食管理	栄養管理	学校給食の栄養管理に関する基礎・基本を理解し、日々更新される情報を学んでいる。	学校給食実施基準を理解し、学校給食摂取基準や食品構成に配慮しつつ、地場産物を活用し、魅力ある献立作成を計画的に行う。	児童生徒の実態や地域、学校の特色に応じた栄養管理を行う。 学校給食の調理技術を調理従事者に伝達し、技術の向上に取り組む。	児童生徒の課題解決に向けた栄養管理を行う。教科等と関連させた献立作成を行い、学校全体で計画の評価・改善を行う。調理技術の向上のため、調理従事者や近隣校の栄養教諭等へ指導・助言を行う。	
		衛生管理	食品衛生に関する基礎知識を有し、学校給食における衛生管理に関する事項の基礎・基本を理解している。	学校給食衛生管理基準を理解し、施設に合わせた衛生管理を行うため、調理従事者に対し、指導・助言を行う。	調理施設の衛生管理や作業工程等の課題を明確に示し、調理従事者に適切な指導・助言を行い、改善する。	食品衛生や学校給食に関する衛生管理に関し、常に新しい情報を習得し、校内及び地域で情報共有し、評価を行う。教職員と連携・協働し、改善する。	
生徒指導	児童生徒理解、多様性理解		児童生徒一人一人の実態に沿った指導の重要性を理解している。 インクルーシブ教育システム等、多様性を尊重し、共生を図るための基本的な指導の在り方を理解している。	児童生徒と積極的にコミュニケーションを図るとともに、公平かつ受容的・共感的に関わる。 児童生徒の多様性を理解し、多様性を生かした教育活動を実践する。	児童生徒一人一人の心身の特性や状況、生活環境等を多面的に捉え、個に応じた指導・支援を行う。	教職員の多様な専門性を活用し、連携・協働して組織的に児童生徒の指導・支援を行う。	生徒指導を組織的・計画的に行うための長期的な見通しをもち、関係機関や小・中・高等との連携を図りながら、教職員に対して指導・助言をする。
		いじめ等の課題への対応	いじめや不登校等の背景にある要因の把握と課題解決に向けた迅速かつ組織的な指導・支援が重要であることを理解している。	日常的な観察や会話、アンケート調査、面談等をとおしていじめの早期発見と迅速かつ組織的な対応、不登校の未然防止に努める。	児童生徒が抱える課題や困難を分析し、いじめや不登校等の予防・解決に向けて迅速かつ組織的な対応による適切な指導・支援を行う。	いじめや不登校等の現状について常に情報を収集し、予防・解決に向けて迅速かつ組織的な対応による適切な指導や支援を行う。	
	進路指導及びキャリア教育		キャリア教育や進路指導の意義、児童生徒が自分らしい生き方を実現するための力を育成することの重要性を理解している。	児童生徒の夢や進路への思いを受け止め、率先してキャリア教育に取り組む。	キャリアカウンセリングを通して、児童生徒の進路や将来を見据えたキャリア教育を実践する。	小・中・高や外部機関との連携を図りながら、進路指導やキャリア教育の指導計画の整備に参画する。	
特別支援教育等	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応		特別支援教育の基本的な指導・支援の考え方及び合理的配慮等の在り方について理解している。	個々の特別な教育的ニーズに応じて指導方法を工夫し、個別の指導計画等に基づいた指導を行う。	個別の指導計画及び個別の教育支援計画に基づいた支援が継続するよう、その評価・改善を適切に行う。	個別の教育支援計画等に基づき、必要に応じて関係機関との連携や活用を進め、組織的・継続的な支援を行う。	特別支援教育を組織的・計画的に行うために関係機関との連携を図りながら、教職員に対して指導・助言をする。
ＩＣＴ等	ICT や情報・教育データの利活用		ICT活用の意義を理解し、授業や校務等にICTを効果的に活用しようとしている。	「個別最適な学び」と、「協働的な学び」を一体的に充実させるとともに、情報活用能力（情報モラル等を含む）を育成するための授業実践等を行うことが出来る。また、校務等を円滑かつ効率的に処理する。			生徒及び教職員の情報活用能力の向上に向け自校の課題を把握し、課題解決のために組織的・計画的に校内研修を企画・立案し、必要に応じ指導・助言をする。

着任時：　着任時点で身に付けていてほしい資質・能力（大学等における教員養成の到達目標）
第１期～第３期：　各期において、最終的に到達してほしい資質・能力（到達目標）
※ミドルリーダーとは「役割」であり、年齢に縛られるものではない。

3　研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励及び育成指標の活用について

（1）概要

教員免許更新制の発展的解消に伴う新たな研修制度として、研修履歴の記録と当該履歴を活用した資質向上に関する指導助言（対話に基づく受講奨励）等の仕組みを導入するもの。

(2)　対象職員

公立の小中高等学校、中等教育学校及び特別支援学校等の校長及び教職員
※臨時的任用職員等は、研修履歴の記録は不要だが対話に基づく受講奨励は可能

(3)　研修履歴として記録する研修等

①研修実施者が実施する研修等（県教育委員会や県教育事務所、県立教育センターが主催する研修）……この冊子に掲載しているものは全て該当
②大学院修学休業により履修した大学院の課程等
③免許法認定講習及び認定通信教育による単位の修得
④市町村教育委員会や大学等が実施する研修等（職務研修（職専免研修含む。）として行われる研修）
⑤校内研修・研究等（校長が記録の対象となると判断した研修等）
⑥教職員が自主的に参加する研修等（校長が資質向上に資すると認める研修等）

(4)　研修を記録する方法等

各自が受講した研修について、学びの振り返りや受講奨励の一助のために、Plant に研修履歴を記録することとなります。

(5)　対話に基づく受講奨励時における育成指標の活用

対話に基づく受講奨励は、従来実施している人事評価に伴う期首・期末面談を活用することが想定されます。学校管理職等及び教職員は、面談の場を通じて、成長段階に応じて指標に定められた資質・能力がどれくらい身に付けられているかを確認・共有するほか、次年度以降の職能開発の目標を話し合うことなどが望ましいと言えます。

《具体的な場面と活用のための観点》

【期首面談の場において】

○　学校管理職等は、次の観点や過去の研修履歴の記録を活用した対話に基づく研修受講の奨励（情報提供や指導助言）を行うとよいでしょう。
　①　指標・教員研修計画や教職員個人の職責・経験・適性に照らした人材育成
　②　学校が目指す教育を進めるために必要な専門性・能力の確保等

○　教職員は、次の観点等を踏まえ、自らの資質・能力の向上につながる研修計画に関する目標設定を行うとよいでしょう。
　①　自らの専門職性を高めるための主体的な学びのマネジメント
　②　学校を支える力を獲得・強化する観点から自らの職能開発

【期末面談の場において】

○　学校管理職等は、当該年度の繁忙状況等を考慮した上での教職員個人の職能開発の参加状況、ＯＪＴや校内研修等の実施状況を踏まえ、研修履歴の記録を振り返りながら、今後の資質向上のための指導助言を行うとよいでしょう。

○　教職員は、研修履歴の記録を活用しつつ、ＯＪＴや校内研修、校外研修などによる学びの成果や自らの成長実感、今後の課題などを振り返るとよいでしょう。

(6)　その他育成指標の活用例

ア　日常のＯＪＴにおける活用

育成指標は、キャリア段階に応じて身に付けておくべき教員の資質・能力を示した「研鑽のガイドマップ」です。教員として成長していく上で、自身に必要な資質・能力を確認するとともに、次のステージへ進むための目標や研修テーマとするなど活用してください。具体的なＯＪＴにおける活用としては、次ページを参照願います。

イ　校内研修での活用

今後は、校内研修などの教職員同士の学び合いを通じた協働的な学びの機会の確保が想定されることから、校内研修の計画のための一助として育成指標を活用してください。

《校内研修での活用例》

【活用例１：初任者研修等】
それぞれの研修に応じた指標が定められていますので、校内における研修の中で目指すべき姿として活用してみましょう。

【活用例２：学年・学級経営・教科指導】
学年・学級経営、教科指導等の部会において、各課題を解決する上での取組とともに、必要となる資質・能力を高めるために、先輩教員から若手教員に自身の経験を語り伝える際の視点として活用してみましょう。

【活用例３：研究授業】
研究授業において、経験年数に応じた指導力の目標を研究主任や授業者が設定する等、授業改善の視点として活用してみましょう。

【活用例４：授業改善・学校運営】
教育活動や学校運営について設定した目標や教科で作成したシラバス等と指標とを照らし合わせ、自らの経験年数に求められる資質を確認するとともに教諭としての成長目標を設定してみましょう。また、組織における自己の役割を考えて、組織の改善につなげてみましょう。

※受講奨励の詳細は、『研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の手引き（令和６年３月新潟県教育委員会）』を参照

教諭指標（共通指標）のOJT活用例

区分	観点	第1期 基礎形成期 職務の遂行に必要な実践的指導力の基礎の確立 1～5年目	第2期 能力伸長期 専門的知識・技能に基づく実践的指導力の向上 6～12年目	第3期 能力充実期 学校（園）運営の参画に向けた実践的指導力の充実 13年目以降
教員としての素養	教育公務員としての崇高な使命を自覚し、教職への誇りと情熱、児童生徒への愛情をもつ。 高い倫理観、人権感覚をもち、法令や服務規律の遵守を徹底し、責任をもって自らの職務を果たす。 学び続けることの重要性について理解し、理想の教師像や目指す授業、新たな教育課題の解決に向けて常に努力し続ける。 学校運営の持続的な改善を支えられるよう、校務に積極的に参画し、組織の中で自らの役割を果たす。 教職員や児童生徒、保護者、地域住民等とのコミュニケーションを大切にしながら、周囲との信頼関係を構築する。 学校運営：学級経営・学年経営 教職員間の連携・協働 家庭や地域社会等との連携 学校安全、危機管理	●学年主任や指導教諭等からアドバイスを受けながら、児童生徒が互いのよさを認め合い、安心で安全な学校生活が送れる温かい学級づくりに取り組む。 ●校務分掌の部会等で、主任教諭や指導教員等から進行計画の立案や進捗状況の報告、振り返りなどの指導や助言を受けながら業務を遂行する。 ●学年や分掌部会等でテーマを決め、グループで相談したり、協議したりする。 ●保護者面談や学年PTA等の場面における、学年主任や他教員の対応の仕方について知識、理解を深める。	●学級づくりや学年運営について自校の重点課題を踏まえて、学年間や職員間で協力しながら、改善策について協議する。 ●学年や校務分掌の担当者として、適切な外部機関との情報共有を行ったり、外部機関との連携を図ったりする。 ●担当する校務分掌に関わって、重点課題や内容、業務の進め方について、若手教員に指示をする。 ●自校の教育課題を踏まえ、学年主任や校務分掌主任を補佐し、組織の一員として、課題解決のための具体的方策について提案する。	●自校の教育課題について、課題を明確にし、研修会等の機会をとおして、学級づくりや学年運営に関して適切に指導・助言する。 ●外部機関や異校種間連携に係る諸会議の進行、研究会等の企画や運営等を行う。 ●学校評価の目標の達成状況について、管理職や主幹教諭等の指導・助言を受けてまとめ、会議等で報告する。 ●校内研究や研修会等の司会を担当し、論点などの整理等を行う。
学習指導	授業構想 授業実践 評価・改善	●学年主任や指導教諭等、校内の教員の授業を参観し、教材や板書の仕方、発問等についての指導技術について参考にする。 ●学年や教科会等で自校の課題を見いだし、具体的な解決策について相談したり協議したりする。 ●校内研修において、研究授業の協議会等の中で、授業展開について質問したり、意見を述べる。	●校内研究の協議会等において、指導のねらいをを踏まえ、授業における児童生徒の実際の姿を基に積極的に発言する。 ●校内研究等において、校内の教員と「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業展開について実践をとおして意見交換する。 ●自分の得意な教科や分野、専門としている教科・領域について、実践をとおして若手教員に指導や助言を行う。	●校内の研究授業や研究会等で、積極的に提案授業を行う。 ●校内の教員の授業を定期的に観察し、指導のねらいに即して児童生徒の姿を基に指導・助言する。 ●自校の教科部会や校内研究等において、課題を踏まえながら、若手の教員に対して指導・助言を行う。 ●指導と評価が一体となった模範授業を実施し、自校全体の授業力を向上させる提案をする。
生徒指導	児童生徒理解、多様性理解 いじめ等の問題行動への対応 進路指導及びキャリア教育	●自校の生徒指導体制や生徒指導上の諸課題について、生徒指導主事や進路指導主任等から、アドバイスを受け指導改善に生かす。 ●学年部や生徒指導に関する研修等でテーマを決め、グループで相談したり、生徒指導に関する取組について協議したりする。 ●生活指導主任会等の中で、実態を踏まえた方策を提案したり、意見を述べたりする。	●日常の学校生活の実態から自校の生徒指導や進路指導上の課題に気付き、会議等で問題提起する。 ●他学年や他の学級の児童生徒の様子を観察し、生活指導上の課題について、情報共有したり、共に対応したりする。	●日頃から校内の教員とのコミュニケーションを図り、各学年の状況と課題を把握し、管理職や主幹教諭等に報告する。 ●児童生徒の行動観察や教員からの情報に基づき、自校の生徒指導・進路指導の課題を捉え、改善策を示す。 ●保護者や地域からの外部アンケート、保護者会等で出された課題を整理・集約して管理職や主幹教諭等に報告する。
特別支援等	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	●特別支援教育において、事例に基づいて指導の方法や内容を協議し、普段の授業改善に取り入れる。	●特別支援教育において、関係機関と共に事例検討を行い、支援等の一貫性をもたせ、将来に目を向けた授業改善を進める。	●特別支援教育において、実際に関係機関と連携したり、活用したりして、具体的な支援を実行していく。それとともに自立と社会参加を見据えた授業改善に取り組む。
ICT等	ICT や情報・教育データの利活用	●新潟県教育支援システムを活用し、授業案を参考にする。 ●授業におけるICT機器の活用について、積極的に取り組む。 ●学年主任や指導教諭等からアドバイスを受けながら、情報モラルを育成するための授業実践を行う。 ●校務のICT化について、自ら率先して取り組む。	●新潟県教育支援システムを活用し、授業案を参考にする。 ●授業におけるICT機器の活用について、積極的に取り組むとともに、活用が進んでいない他の教職員を支援する。 ●情報モラル指導について、学年間や職員間で協力しながら、改善策について協議する。 ●校務のICT化について、自ら率先して取り組むとともに、ICT化が進んでいない他の教職員を支援する。	●授業におけるICT機器の活用について、自校の重点課題を踏まえ、研修会等の機会をとおして、適切に指導・助言する。 ●情報モラル指導について、自校の重点課題を踏まえ、研修会等の機会をとおして、適切に指導・助言する。 ●校務のICT化について、自校の重点課題を踏まえ、研修会等の機会をとおして、適切に指導・助言する。

（７） 受講奨励における研修計画の活用の仕方

研修計画のレイアウトを変更し、より自分に適した研修を検索しやすいようになりました。これまで研修番号順に並んでいたものを、分類別に表示しています。

研修の詳細については、研修番号から p.26 から記載してある「（３）研修の目的・内容・方法等一覧表」で確認できます。管理職との受講奨励面談においても、ご活用ください。

研修が教科、領域別に分類され探しやすくなりました。

詳細は、26 ページから研修番号で確認できます。

体系	指標区分	分類	研修番号	研修コード	研修・講座名	対象
		国語	25	253010 - 025	子どもがワクワクする授業づくり講座　国語	小・中・特別支援学校教諭
			26	253010 - 026	教科リーダー育成講座（小・中・特）［1年次］国語	小・中・特別支援学校教諭
			27	251010 - 027 251020 - 027 251030 - 027	教科リーダー育成講座（小・中・特）［2年次］国語	小・中・特別支援学校教諭
			32	253010 - 032	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅰ（高等学校）国語	高等学校教諭
			33	253010 - 033	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅱ（高等学校）国語	高等学校教諭
			34	253010 - 034	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅰ（高等学校）国語	高等学校教諭
			35	253010 - 035	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅱ（高等学校）国語	高等学校教諭
			36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校）国語	高等学校教諭
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高）国語	高等学校教科研究員
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会　国語	高等学校・特別支援学校教諭
		社会	25	253010 - 025	子どもがワクワクする授業づくり講座　社会	小・中・特別支援学校教諭
			26	253010 - 026	教科リーダー育成講座（小・中・特）［1年次］社会	小・中・特別支援学校教諭
			27	251010 - 027 251020 - 027 251030 - 027	教科リーダー育成講座（小・中・特）［2年次］社会	小・中・特別支援学校教諭
		地理歴史・公民	32	253010 - 032	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅰ（高等学校）地理歴史・公民	高等学校教諭
			33	253010 - 033	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅱ（高等学校）地理歴史・公民	高等学校教諭
			34	253010 - 034	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅰ（高等学校）地理歴史・公民	高等学校教諭
			35	253010 - 035	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅱ（高等学校）地理歴史・公民	高等学校教諭
			36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校）地理歴史・公民	高等学校教諭
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高）地理歴史・公民	高等学校教科研究員
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会　地理歴史・公民	高等学校・特別支援学校教諭
			40	250050 - 040	成年年齢引き下げへの対応に関する研修会	高等学校教諭
門	研		25	253010 - 025	子どもがワクワクする授業づくり講座　算数・数学	小・中・特別支援学校教諭

32　**探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅰ（高等学校）**

研修コード 253010-032　キーワード（32、探究的な学び、Ⅰ）

目的

学習指導要領の趣旨と、本県高等学[illegible]ける各教科教育の実態を踏まえ、各教科の指導上の課題を明確化し[illegible]見方・考え方を働かせて探究する教科指導力の向上を図る。

内容等

【オンライン型（オンデマ[illegible]
◆講義
・授業を探究化する

備考

詳細は開催通知で確認すること。

日程　5月28日～2月27日（1日間）

申込期間　4月7日～2月20日

予定人数　制限なし

受講対象　高等学校教諭

研修属性　希望研修

研修形態　オンライン型（オンデマンド）

会場　受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体　県立教育センター

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		

研修コードやキーワードで、Plant上でも簡単に検索できます。

各キャリアステージに合わせて研修を設定しています。

４　令和７年度教職員研修一覧

(1) 令和７年度教職員研修計画の重点に対応した主な研修

▼重点の内容

１　個別最適な学びと協働的な学びの充実を通した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善

個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けたＩＣＴの積極的な活用を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図るための研修を実施する。

１人１台の学習端末や通信環境等の整備が整ったものの、学校間や教員間でＩＣＴ活用の意識やスキルに差が見られることから、ＧＩＧＡスクール構想の実現に向け、ＩＣＴ活用の習熟度に応じた効果的な研修を実施する。

探究的な学習を充実させるための教科研修を実施する。

▼関連する主な研修　　※（　）内：研修番号

- 個別最適・協働的な学びに向けた授業づくり講座Ⅰ・Ⅱ【新設】(No30,31)
- 探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅰ・Ⅱ【新設】(No32,33)
- 自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅰ・Ⅱ【新設】(No34,35)
- 教科教育専門監育成研修（継続）(No38)
- 教科横断的探究プロジェクト研修【新設】(No101)
- MetaMoJi ClassRoom基礎講座【新設】(No103)
- 生成ＡＩ活用講座【新設】(No108)
- ［新潟大学理学部連携］
  探究的な学びに向けた授業づくり講座（高等学校）数学【新設】(No110)

２　学校課題の多様化、複雑化、教職員の多忙化への対応

児童生徒のいじめ、不登校、ヤングケアラー、問題行動等、学校における課題は一層多様化、複雑化していることから、地域や専門機関と連携しながら組織的に対応するための研修を実施する。

教職員が研修時間を十分に確保できるようＩＣＴを活用した校務の効率化や働き方改革を推進するための研修を実施する。

▼関連する主な研修　　※（　）内：研修番号

- ヤングケアラー支援に関する教育・福祉関係機関合同研修会（継続）(No60)
- ゲートキーパー研修（拡充）(No83)
- みんなの特別支援教育講座（名称変更）(No93)
- 新採用教職員配置校管理職研修講座【新設】(No119)
- 食物アレルギー対応一般研修（継続）(No128)

３　経験や職位に応じた資質・能力の向上

経験豊かな教職員退職者の増加、教職員の多忙化や、少子化に伴う学校規模の縮小等により、ＯＪＴを含め教職員が学ぶ機会や時間の確保が難しくなっていることから、若手教職員の育成や中堅教諭等のミドルリーダーとしての専門性を高める基本研修の内容を更に発展させて実施する。

魅力ある学校づくりや、働き方改革を推進するため、管理職の組織マネジメント力の向上を図る。

協議に重点を置き、より実践的な研修を実施する。

▼関連する主な研修　　※（　）内：研修番号

- 基本研修（継続）
  （初任者研修、２年次研修、６年次研修、中堅教諭等資質向上研修）
- 養護教諭のための学校保健マネジメント講座（名称変更）(No122)
- 教科教育専門監育成研修（継続）［再掲］
- 教科横断的探究プロジェクト研修［再掲］
- 食物アレルギー対応一般研修［再掲］

４　その他　アントレプレナーシップ教育の推進

アントレプレナーシップ教育について階層別研修に組み込み理解を広めるとともに、教科等横断的・探究的視点を重視しながら、アントレプレナーシップ教育を実践するための研修を実施する。

▼関連する主な研修　　※（　）内：研修番号

- アントレプレナーシップ（起業家精神）を育むキャリア教育推進講座（継続）(No85)

※その他、基本研修(初任研、2年次研、6年次研及び中堅研)においてもアントレプレナーシップ研修を組み込んで実施。

（２） 研修・講座名、対象、研修主体等一覧表

ア　研修属性の略称

悉 ： 悉皆研修 … 採用年数等で受講必須の研修
指 ： 指名研修 … 役職や経験年数等により受講者を指名して行う研修
割 ： 割当研修 … 学校や地域又は役職を指定して行う研修
希 ： 希望研修 … 受講希望者を募集して行う研修

イ　研修主体の略称

総：総務課　義：義務教育課　高：高等学校教育課　保：保健体育課　生：生徒指導課　セ ： 教育センター

ウ　Plantによる研修講座の申込み等について

・個人のログインIDとパスワードを入力して「ログイン」する。
・画面上部の「研修検索」をクリックする。
・研修検索画面にて、目的の研修を検索し、「申込」ボタンをクリックする。
・所属の管理職等に申込んだ研修・講座を報告する。
・申込みした研修・講座の受講可否等を「研修申込状況」を確認する。

Plantログイン画面
https://plant.nits.go.jp/

・研修主体が「セ」の悉皆研修、指名研修は、県立教育センターで受講登録するので、申込不要である。
・別途、研修主体から申込みに関する案内がある場合は、その指示に従う。

エ　その他

・研修講座の内容については「掲載ページ」にて確認すること。
・中学校は中等教育学校（前期課程）教員、高等学校は中等教育学校（後期課程）教員を含む。
・研修番号にアンダーラインが付してある研修・講座は、分類ごとに分けて重複して記載している。

Ⅰ　基本研修

体系	キャリアステージ	分類	研修番号	研修コード	研修・講座名	対象	研修属性	研修主体	頁
Ⅰ 基本研修	第1期	初任者研修	1	253010 - 001	幼稚園等新規採用教員研修	幼稚園・幼稚園型認定こども園新規採用教諭	悉希	セ	26
			2	253010 - 002	初任者研修（小学校）	小学校新採用教諭	悉	セ	26
			3	253010 - 003	初任者研修（中学校）	中学校新採用教諭	悉	セ	26
			4	253010 - 004	初任者研修（高等学校）	高等学校新採用教諭	悉	セ	27
			5	253010 - 005	初任者研修（特別支援学校）	特別支援学校新採用教諭	悉	セ	27
			6	250070 - 006	新採用養護教諭研修	新採用養護教諭	悉	保セ	27
			7	250070 - 007	新採用等栄養教諭研修	新採用栄養教諭	悉	保セ	28
		教職２年次研修	8	253010 - 008	教職2年次研修（小・中・特）	小・中・特別支援学校教職経験2年目教諭	指	セ	28
			9	253010 - 009	教職2年次研修（高等学校）	高等学校教職経験2年目教諭	指	セ	28
			10	253010 - 010	教職2年次研修（養護教諭）	教職経験2年目養護教諭	指	セ	29
	第2期	教職６年次研修	11	253010 - 011	教職6年次研修（幼稚園）	幼稚園・幼稚園型認定こども園教職経験6年目教諭	指希	セ	29
			12	253010 - 012	教職6年次研修（小・中・特）	小・中・特別支援学校教職経験6年目教諭	悉	セ	29
			13	253010 - 013	教職6年次研修（高等学校）	高等学校教職経験6年目教諭	悉	セ	30
			14	253010 - 014	教職6年次研修(養護教諭)	教職経験6年目養護教諭	悉	セ	30
			15	250070 - 015	教職6年次研修(栄養教諭)	教職経験6年目栄養教諭	悉	保セ	30
	第3期	中堅教諭等資質向上研修	16	253010 - 016	中堅教諭等資質向上研修（幼稚園）	幼稚園・幼稚園型認定こども園教職経験13年目教諭	悉希	セ	31
			17	253010 - 017	中堅教諭等資質向上研修（小・中・特）	小・中・特別支援学校教職経験13年目教諭	悉	セ	31
			18	253010 - 018	中堅教諭等資質向上研修（高等学校）	高等学校教職経験13年目教諭	悉	セ	31
			19	253010 - 019	中堅教諭等資質向上研修（養護教諭）	教職経験13年目養護教諭	悉	セ	32
			20	250070 - 020	中堅教諭等資質向上研修（栄養教諭）	教職経験13年目栄養教諭	悉	保セ	32

Ⅱ　専門研修

１　課題別研修

体系	指標区分	分類	研修番号	研修コード	研修・講座名	対象	研修属性	研修主体	頁
1 課題別研修	教員としての素養	学級経営・学年経営	21	253010 - 021	みんながいきいき！学級づくり講座	教職2年目以降の幼・小・中・高・特別支援学校教員	希	セ	32
			160	253010 - 160	[第18回教育フォーラムアーカイブ配信] 分科会2「学級・ホームルーム経営」	小・中・高・特別支援学校教諭	希	セ	87
		学校安全、危機管理	22	250070 - 022	学校安全教育指導者研修会	小・中・高・特別支援学校教諭等	割	保	33
			23	250070 - 023	新潟県水泳プール安全管理講習会	小・中・高・特別支援学校教諭等	希	保	33
			24	250070 - 024	登山部顧問等安全登山講習会	高等学校教諭	希	保	33
			128	250070 - 128	食物アレルギー対応一般研修	小・中・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員	割	保	76

体系	指標区分	分類	研修番号	研修コード	研修・講座名	対象	研修属性	研修主体	頁
Ⅱ 専門研修 1 課題別研修	学習指導	国語	25	253010 - 025	子どもがワクワクする授業づくり講座　国語	小・中・特別支援学校の教職経験4年目または5年目教諭	希	セ	34
			26	253010 - 026	教科リーダー育成講座（小・中・特） [1年次]　国語	小・中・特別支援学校の教職経験7年目以降の教諭	希	セ	34
			27	251010 - 027 251020 - 027 251030 - 027	教科リーダー育成講座（小・中・特） [2年次]　国語	小・中・特別支援学校教諭	指	セ	34
			32	253010 - 032	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅰ （高等学校）　国語	高等学校教員	希	セ	36
			33	253010 - 033	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅱ （高等学校）　国語	高等学校教員	希	セ	36
			34	253010 - 034	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅰ （高等学校）　国語	高等学校教員	希	セ	37
			35	253010 - 035	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅱ （高等学校）　国語	高等学校教員	希	セ	37
			36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校）　国語	高等学校教諭	希	セ	37
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高等学校）　国語	高等学校教科研究員	指	高	38
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会　国語	高等学校・特別支援学校教諭	割	高	38
		社会 地理歴史 公民	25	253010 - 025	子どもがワクワクする授業づくり講座　社会	小・中・特別支援学校の教職経験4年目または5年目教諭	希	セ	34
			26	253010 - 026	教科リーダー育成講座（小・中・特） [1年次]　社会	小・中・特別支援学校の教職経験7年目以降の教諭	希	セ	34
			27	251010 - 027 251020 - 027 251030 - 027	教科リーダー育成講座（小・中・特） [2年次]　社会	小・中・特別支援学校教諭	指	セ	34
			32	253010 - 032	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅰ （高等学校）　地理歴史・公民	高等学校教員	希	セ	36
			33	253010 - 033	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅱ （高等学校）　地理歴史・公民	高等学校教員	希	セ	36
			34	253010 - 034	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅰ （高等学校）　地理歴史・公民	高等学校教員	希	セ	37
			35	253010 - 035	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅱ （高等学校）　地理歴史・公民	高等学校教員	希	セ	37
			36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校）地理歴史・公民	高等学校教諭	希	セ	37
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高等学校）　地理歴史・公民	高等学校教科研究員	指	高	38
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会　地理歴史・公民	高等学校・特別支援学校教諭	割	高	38
			40	250050 - 040	成年年齢引き下げへの対応に関する研修会	高等学校教諭	割	高	39
		算数・数学	25	253010 - 025	子どもがワクワクする授業づくり講座　算数・数学	小・中・特別支援学校の教職経験4年目または5年目教諭	希	セ	34
			26	253010 - 026	教科リーダー育成講座（小・中・特） [1年次]　算数・数学	小・中・特別支援学校の教職経験7年目以降の教諭	希	セ	34
			27	251010 - 027 251020 - 027 251030 - 027	教科リーダー育成講座（小・中・特） [2年次]　算数・数学	小・中・特別支援学校教諭	指	セ	34
			33	253010 - 033	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅱ （高等学校）　数学	高等学校教員	希	セ	36
			34	253010 - 034	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅰ （高等学校）　数学	高等学校教員	希	セ	37
			35	253010 - 035	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅱ （高等学校）　数学	高等学校教員	希	セ	37
			36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校）　数学	高等学校教諭	希	セ	37
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高等学校）　数学	高等学校教科研究員	指	高	38
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会　数学	高等学校・特別支援学校教諭	割	高	38
			110	253010 - 110	[新潟大学理学部連携] 探究的な学びに向けた授業づくり講座（高等学校）数学	高等学校・中学校数学教員	希	セ	69
		理科	25	253010 - 025	子どもがワクワクする授業づくり講座　理科	小・中・特別支援学校の教職経験4年目または5年目教諭	希	セ	34
			26	253010 - 026	教科リーダー育成講座（小・中・特） [1年次]　理科	小・中・特別支援学校の教職経験7年目以降の教諭	希	セ	34
			27	251010 - 027 251020 - 027 251030 - 027	教科リーダー育成講座（小・中・特） [2年次]　理科	小・中・特別支援学校教諭	指	セ	34
			41	253010 - 041	小学校理科基礎講座	小学校教諭	指	セ	39
			42	253010 - 042	理科授業力向上講座	小・中学校教諭	希	セ	39
			32	253010 - 032	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅰ （高等学校）　理科	高等学校教員	希	セ	36
			33	253010 - 033	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅱ （高等学校）　理科	高等学校教員	希	セ	36
			34	253010 - 034	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅰ （高等学校）　理科	高等学校教員	希	セ	37
			35	253010 - 035	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅱ （高等学校）　理科	高等学校教員	希	セ	37
			36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校）理科	高等学校教諭	希	セ	37
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高等学校）　理科	高等学校教科研究員	指	高	38
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会　理科	高等学校・特別支援学校教諭	割	高	38
			43	253010 - 043	先端科学技術活用講座	高等学校教員	希	セ	39 40
		保健体育	36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校）　保健体育	高等学校教諭	希	セ	37
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高等学校）　保健体育	高等学校教科研究員	指	高	38
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会　保健体育	高等学校・特別支援学校教諭	割	高	38
			44	253010 - 044	保健教育実践講座	小・中・高・特別支援学校教諭・養護教諭	指	セ	41
						小・中・高・特別支援学校教諭・養護教諭	希	セ	42
			45	250070 - 045	体育・保健体育指導力向上研修	小・中・高等学校体育担当教諭、指導主事	指	保	42

体系	指標区分	分類	研修番号	研修コード	研修・講座名	対象	研修属性	研修主体	頁
Ⅱ 専門研修 1 課題別研修	学習指導	保健体育	46	250070 - 046	体育・保健体育指導力向上研修伝達講習会	小・中・高等学校体育担当教諭	割	保	42
			47	250070 - 047	新潟県柔道安全指導研修会	小・中・高等学校体育担当教諭	希	保	43
		芸術	36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校） 芸術	高等学校教諭	希	セ	37
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高等学校） 芸術	高等学校教科研究員	指	高	38
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会 芸術	高等学校・特別支援学校教諭	割	高	38
		外国語	25	253010 - 025	子どもがワクワクする授業づくり講座 外国語	小・中・特別支援学校の教職経験4年目または5年目教諭	希	セ	34
			26	253010 - 026	教科リーダー育成講座（小・中・特） [1年次] 外国語	小・中・特別支援学校の教職経験7年目以降の教諭	希	セ	34
			27	251010 - 027 251020 - 027 251030 - 027	教科リーダー育成講座（小・中・特） [2年次] 外国語	小・中・特別支援学校教諭	指	セ	34
			48	253010 - 048	小学校外国語実践講座	小学校の外国語または外国語活動担当教諭	割	セ義	43
			49	250040 - 049	小学校英語専科教員情報交換会	小学校英語専科教諭	指	義	43
			50	250040 - 050	中学校英語科主任研修	中学校英語担当教諭	割	義	44
			51	250050 - 051	英語発信力育成研修（高等学校）	高等学校の英語担当教諭	割	高	44
			52	250050 - 052	英語ディベート・ディスカッション指導実践講座	高等学校の英語担当教諭	割	高	44
			32	253010 - 032	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅰ （高等学校） 外国語	高等学校教員	希	セ	36
			33	253010 - 033	探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅱ （高等学校） 外国語	高等学校教員	希	セ	36
			34	253010 - 034	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅰ （高等学校） 外国語	高等学校教員	希	セ	37
			35	253010 - 035	自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅱ （高等学校） 外国語	高等学校教員	希	セ	37
			36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校） 外国語	高等学校教諭	希	セ	37
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高等学校） 外国語	高等学校教科研究員	指	高	38
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会 外国語	高等学校・特別支援学校教諭	割	高	38
		技術・家庭	28	253010 - 028	3年間を見通した技術分野パワーアップ講座	中学校技術・家庭科（技術分野）担当教員※ただし、中学校技術・家庭科（技術分野）免許状を所有する教員に限る。	指	セ	35
			36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校） 家庭	高等学校教諭	希	セ	37
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高等学校） 家庭・福祉	高等学校教科研究員	指	高	38
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会 家庭・福祉	高等学校・特別支援学校教諭	割	高	38
			99	253010 - 099	プログラミング教育講座	中・特別支援学校教員、高等学校教員	希	セ	65
		情報	36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校） 情報	高等学校教諭	希	セ	37
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高等学校） 情報	高等学校教科研究員	指	高	38
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会 情報	高等学校・特別支援学校教諭	割	高	38
			99	253010 - 099	プログラミング教育講座	中・特別支援学校教員、高等学校教員	希	セ	65
		農業・水産	36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校） 農業・水産	高等学校教諭	希	セ	37
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高等学校） 農業・水産	高等学校教科研究員	指	高	38
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会 農業・水産	高等学校・特別支援学校教諭	割	高	38
		工業	36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校） 工業	高等学校教諭	希	セ	37
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高等学校） 工業	高等学校教科研究員	指	高	38
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会 工業	高等学校・特別支援学校教諭	割	高	38
		商業	36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校） 商業	高等学校教諭	希	セ	37
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高等学校） 商業	高等学校教科研究員	指	高	38
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会 商業	高等学校・特別支援学校教諭	割	高	38
		道徳	25	253010 - 025	子どもがワクワクする授業づくり講座 道徳	小・中・特別支援学校の教職経験4年目または5年目教諭	希	セ	34
			26	253010 - 026	教科リーダー育成講座（小・中・特） [1年次] 道徳	小・中・特別支援学校の教職経験7年目以降の教諭	希	セ	34
			27	251010 - 027 251020 - 027 251030 - 027	教科リーダー育成講座（小・中・特） [2年次] 道徳	小・中・特別支援学校教諭	指	セ	34
			53	253010 - 053	豊かな心をはぐくむ道徳教育講座	小・中・特別支援学校教員	希	セ	45
			54	250040 - 054	道徳教育推進研修	県教育委員会指導主事等	割	義	45
			55	250040 - 055	道徳教育推進協議会	小・中学校 校長等	割	義	45
			56	250040 - 056	道徳教育パワーアップ研究協議会	小・中・高等・中等教育・特別支援学校教諭、校長、教頭、市町村教委指導主事等	割	義	46
		授業力向上	29	253010 - 029	単元デザイン講座（理論編）	小・中・高・特別支援学校教員	希	セ	35
			30	253010 - 030	個別最適・協働的な学びに向けた授業づくり講座Ⅰ （理論編）	小・中・高・特別支援学校教員	希	セ	35
			31	253010 - 031	個別最適・協働的な学びに向けた授業づくり講座Ⅱ （実践編）	小・中・高・特別支援学校教員	希	セ	36
			101	250050 - 101	教科横断的探究プロジェクト研修	高等学校教諭	割	高セ	66
		教育課程	36	253010 - 036	教科別ICT活用研修（高等学校） 総則、総合的な探究の時間、特別活動	高等学校教諭	希	セ	37
			37	250050 - 037	教科研究員研修会（高等学校） 総則、総合的な探究の時間、特別活動	高等学校教科研究員	指	高	38
			38	250040 - 038	教科教育専門監育成研修	小・中学校教諭	指	義	38
			39	250050 - 039	各教科等研究協議会 総則、総合的な探究の時間、特別活動	高等学校・特別支援学校教諭	割	高	38
		免許外教科	57	250040 - 057	免許外教科担当教員研修会	中学校教諭	割	義	46
	生徒指導	児童生徒理解、多様性理解	58	250040 - 058	外国につながる児童生徒の日本語指導講座	小・中・特別支援学校教諭、市町村教委指導主事、日本語指導担当者	希	義	46
			59	250090 - 059	生徒指導基幹研修	教諭、指導主事等	割	生	47
			60	250090 - 060	ヤングケアラー支援に関する教育・福祉関係機関合同研修会	小・中・高・特別支援学校教諭のほか、市町村教育委員会や児童相談所等関係機関の職員	希	生	47
			61	253010 - 061	感情の理解と社会性を育む生徒指導講座	幼・小・中・高・特別支援学校教諭・養護教諭	希	セ	47
			62	253010 - 062	チーム学校で進める協働的な教育相談講座	小・中・高・特別支援学校教諭・養護教諭	希	セ	48

体系	指標区分	分類	研修番号	研修コード	研修・講座名	対象	研修属性	研修主体	頁
Ⅱ 専門研修 1 課題別研修	生徒指導	児童生徒理解、多様性理解	63	250040 - 063	人権教育、同和教育現地研修 (小・中学校)	小・中学校教諭、管理職	希	義	48
			64	250040 - 064	人権教育、同和教育指導者研修会 (小・中学校)	小・中学校児童生徒支援加配教員	指	義	48
			65	250040 - 065	人権教育、同和教育主任等研修会 (小・中学校)	人権教育、同和教育主任等	割	義	49
			66	250050 - 066	人権教育、同和教育現地研修会 (小・中・高等学校)	小・中・高等学校教諭	割	高	49
			67	250040 - 067	人権教育、同和教育連絡協議会 (小・中学校)	小・中学校児童生徒支援加配教員・校長、 市町村教育委員会指導主事	指	義	49
			68	250040 - 068	同和教育研究集会	小・中・高等・特別支援学校教諭、校長、教頭、 市町村教育委員会指導主事等	希	義	50
			69	250050 - 069	人権教育、同和教育研修会(高等学校)	高等学校教員	割	高	50
			70	250050 - 070	人権教育、同和教育指導者研修会 (高等学校)	高等学校長、高等学校副校長・教頭	割	高	50
			71	250050 - 071	人権教育、同和教育担当者会議 (高等学校)	高等学校教員	割	高	51
		いじめ等の問題行動への対応	72	253010 - 072	生徒指導上の諸課題に関する対応力向上研修	小・中・高・特別支援学校副校長、教頭	割	セ生	51
						幼稚園・こども園副園長、教頭	希	セ生	51
			73	250090 - 073	管理職対象いじめ対策研修会	高等学校・県立特別支援学校 校長	悉	生	52
			74	250090 - 074	いじめ見逃しゼロ・不登校対応研修	小・中・義務教育学校・市立特別支援学校管理職、教諭 県立中等教育学校前期課程・特別支援学校管理職、教諭	悉	生	52
			75	250070 - 075	薬物乱用防止教育指導者研修会	小・中・高・特別支援学校教諭、養護教諭等	希	保	52
			76	250090 - 076	生徒指導に係る加配教員研修会	小・中・義務教育学校の生徒指導に係る加配教員、 市町村教育委員会指導主事等	割	生	53
			77	250090 - 077	「多様な学び」に関する関係機関代表者会議	教育支援センター指導員、市町村教育委員会指導主事、 不登校加配教員、民間団体関係者等	指	生	53
			78	250090 - 078	高等学校等生徒指導連絡協議会	高等学校教諭	指	生	53
			79	250090 - 079	児童生徒の自殺予防に関する普及啓発協議会	小・中・高等学校・特別支援学校・教諭・養護教諭等	割希	生	54
			80	250090 - 080	自殺予防に係る研修会	高等学校管理職・教諭・養護教諭等	割希	生	54
			81	250090 - 081	いじめ・不登校対策に関する研修会	高等学校・県立特別支援学校等担当教員	指	生	54
			82	253010 - 082	「いじめ」の理解と対応講座	小・中・高・特別支援学校　校長等、教諭等、実習助手、 寄宿舎指導員、養護教諭、栄養教諭	希	セ	55
			83	253010 - 083	ゲートキーパー研修	小・中・高・特別支援学校　校長等、教諭等、実習助手、 寄宿舎指導員、養護教諭、栄養教諭	希	セ	55
		進路指導及びキャリア教育	84	250040 - 084	キャリア教育指導者研修会	小・中・高等学校教諭　市町村教育委員会指導主事	希	義	56
			85	253010 - 085	アントレプレナーシップ(起業家精神)を育むキャリア教育推進講座	小・中・特別支援・高等学校　教員 (キャリア教育担当者が望ましい)	希	セ	56
			86	250050 - 086	アントレプレナーシップ教育研修会(高等学校)	高等学校教諭	割	高	56
	特別支援教育等	特別な配慮や支援を必要とする子供への対応	87	253010 - 087	新任特別支援学級担任教員研修	初めて特別支援学級を担任する小・中学校教諭	指	セ	57
			88	253010 - 088	特別支援教育コーディネーター研修	小・中・高・特別支援学校教諭、養護教諭	指	セ	57
			89	250040 - 089	適切な合理的配慮の提供の在り方に関する研修	特別支援学校の校長、教頭	割	義	57
			90	250050 - 090	日本語指導を必要とする帰国・外国人生徒の支援に関する研修	日本語指導が必要な生徒が在籍している高等学校の校長・副校長・教頭・教諭	割	高	58
			91	253010 - 091	通級指導等担当研修(言語障害)	小学校教諭	指	セ	58
					通級指導等担当研修(発達障害)	小・中・高・特別支援学校教諭	指	セ	58
					通級指導等担当研修(難聴)	小・中・特別支援学校教諭	指	セ	59
			92	250040 - 092	言語障害・難聴通級指導教室担当者育成研修	言語障害・難聴通級指導教室担当教員(〇通登録教員)	指	義	59
			93	253010 - 093	みんなの特別支援教育講座	幼・小・中・高・特別支援学校　校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭	希	セ	59 60
			94	250040 - 094	県立特別支援学校学校看護師医療的ケア研修会	県立特別支援学校学校看護師	悉	義	60
			95	253010 - 095	障害のある子どもの学びを広げるICT活用講座	幼・小・中・高・特別支援学校　校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭	希	セ	61
			96	253010 - 096	子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座 (高等学校)	幼・小・中・高・特別支援学校　校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭	希	セ	62 63
			97	253010 - 097	子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座 (小・中学校)	幼・小・中・高・特別支援学校　校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭	希	セ	63 64
			98	253010 - 098	子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座 (特別支援学校)	幼・小・中・高・特別支援学校　校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭	希	セ	64 65
			160	253010 - 160	[第18回教育フォーラムアーカイブ配信] 分科会1「特別支援教育」	小・中・高・特別支援学校教員	希	セ	87
	ICT等	ICTや情報・教育データの利活用	99	253010 - 099	プログラミング教育講座	中・特別支援学校教員、高等学校教員	希	セ	65
			100	253010 - 100	Google Workspace for Education基礎講座	小・中・高・特別支援学校教員	希	セ	65
			102	253010 - 102	ロイロノート・スクール基礎講座	小・中・高・特別支援学校教員	希	セ	66
			103	253010 - 103	MetaMoJi ClassRoom基礎講座	小・中・高・特別支援学校教員	希	セ	66
			104	253010 - 104	校内ICT活用促進講座Ⅰ(理論編)	小・中・高・特別支援学校教員	希	セ	67
			105	253010 - 105	校内ICT活用促進講座Ⅱ(実践編)	小・中・高・特別支援学校教員	希	セ	67
			106	253010 - 106	探究学習に活かすデータサイエンス講座Ⅰ	中・高・特別支援学校教員	希	セ高	67
			107	253010 - 107	探究学習に活かすデータサイエンス講座Ⅱ	中・高・特別支援学校教員	希	セ高	68
			108	253010 - 108	生成AI活用講座	中・高・特別支援学校教員	希	セ	68
			109	250010 - 109	校務ICT基礎講座	中・高・特別支援学校教員	希	総	68
	大学連携講座		110	253010 - 110	[新潟大学理学部連携] 探究的な学びに向けた授業づくり講座(高等学校)数学	高等学校・中学校数学教員	希	セ	69

2　職務別研修

体系	分類	研修番号	研修コード	研修・講座名	対象	研修属性	研修主体	頁
Ⅱ 専門研修 2 職務別研修	校長	111	250050 - 111	校長研修会	高等学校長	割	高	69
		112	253010 - 112	小・中・特別支援学校新任校長、幼稚園新任園長研修	小・中・特別支援学校新任校長	指	セ	69
					市町村立及び私立幼稚園新任園長	希	セ	70
		113	253010 - 113	高等学校新任校長研修	高等学校新任校長	指	セ	70
	教頭	114	250050 - 114	副校長・教頭研修会	高等学校副校長・教頭	割	高	70
		115	253010 - 115	幼・小・中・特別支援学校新任教頭研修	小・中・特別支援学校新任教頭	指	セ	71
					市町村立及び私立幼稚園教頭・副園長、教頭・副園長の職がない場合はそれに準ずる職に今年度新たに就いた教諭	希	セ	71
		116	253010 - 116	高等学校新任教頭研修	高等学校新任教頭	指	セ	71
	管理職	117	253010 - 117	学校管理職マネジメント研修（幼・小・中・特別支援学校）	小・中・特別支援学校　校長・副校長・教頭	指	セ	72
					市町村立及び私立幼稚園　園長・副園長・教頭	希	セ	72
		118	253010 - 118	学校管理職マネジメント研修（高等学校等）	高等学校・中等教育学校（前期課程の教頭を除く）の管理職、高等特別支援学校の校長	指	セ	72
		119	250040 - 119	新採用教職員配置校管理職研修講座	小学校・中学校・特別支援学校・義務教育学校の校長・副校長・教頭	指	義	73
		120	250070 - 120	食物アレルギー対応体制研修（高等学校）	高等学校管理職	割	保	73
		161	250070 - 161	全県学校安全・保健体育講座	小・中・高・特別支援学校管理職、担当指導主事・担当者	指	保	88
	養護教諭	121	253010 - 121	養護教諭健康相談講座	小･中･高･特別支援学校養護教諭	希	セ	73
		122	253010 - 122	養護教諭のための学校保健マネジメント講座	小・中・高・特別支援学校養護教諭	指	セ	74
					小・中・高・特別支援学校養護教諭	希		
	栄養教諭 学校栄養職員	123	250070 - 123	食育運営研修会	小･中・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、管理職、市町村教育委員会担当職員	希	保	74
		124	250070 - 124	中堅教諭等資質向上研修（学校栄養職員）	職務経験13年目学校栄養職員	悉	保	75
		151	250070 - 151	学校給食運営研修会	小･中・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、管理職、市町村教育委員会担当職員	希	保	84
	主任、主幹等教諭	125	250050 - 125	教務主任研修会	高等学校教務主任	割	高	75
		126	250050 - 126	進路指導改善協議会	高等学校進路指導主事	割	高	75
		127	253010 - 127	小･中・特別支援学校新任主幹教諭研修	小･中・特別支援学校新任主幹教諭	指	セ	76
		128	250070 - 128	食物アレルギー対応一般研修	小･中・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員	割	保	76
		129	250040 - 129	60歳以降の服務勤務研修講座	小･中・特別支援学校60歳以上の教諭	指	義	76
	事務職員	130		学校事務職員新規採用者研修	新規採用学校事務職員（市町村立学校）	悉	義	77
		131		学校事務職員主事キャリア（5年目）研修	経験5年目の学校事務職員（市町村立学校）	悉	義	77
		132		学校事務職員新任主任研修	主任に昇任した学校事務職員（市町村立学校）	悉	義	77
		133		学校事務職員新任主査研修	主査に転任した学校事務職員（市町村立学校）	悉	義	78
		134		学校事務職員新任事務主幹研修	事務主幹に昇任した学校事務職員（市町村立学校）	悉	義	78
		135		学校事務共同実施関係者研修（全県推進協議会含む）	共同実施関係者	希	義	78
	実習助手	136	253009 - 136	新潟県立高等学校実習助手初任者研修	新規採用実習助手	指	高	79
		137	253010 - 137	実習助手教育一般研修	高等学校・特別支援学校職務経験6年目実習助手	指	セ	79
		138	253010 - 138	実習助手専門研修	高等学校・特別支援学校職務経験13年目実習助手	指	セ	79
		139	250050 - 139	理科実習助手実技講習（教科）	高等学校理科実習助手	希	高	80
		140	250050 - 140	新潟県立理科実習助手教員資格認定講座	高等学校理科実習助手	希	高	80
		141	250050 - 141	産業教育実習助手資質向上事業	高等学校専門教科実習助手	割	高	80
	寄宿舎指導員	142	253010 - 142	寄宿舎指導員教育一般研修	特別支援学校職務経験6年目寄宿舎指導員	指	セ	81
		143	253010 - 143	寄宿舎指導員専門研修	特別支援学校職務経験13年目寄宿舎指導員	指	セ	81
					特別支援学校寄宿舎指導員	割	セ	
		144		寄宿舎主任指導員資格認定講座	職務経験14年目以上または36歳以上寄宿舎指導員	希	義	82
	学校技術員 介助員 司書	145		学校技術員（農務）研修会（県立学校）	学校技術員（農務）	希	総	82
		146		介助員研修会（県立特別支援学校）	介助員	希	総	82
		147		司書研修会（県立学校）	司書	希	総	83
	ＡＬＴ	148	250050 - 148	県立学校配置ALT研修会	県立学校配置ALT	指	高	83
		149	250050 - 149	県立学校配置ALT春季指導力向上研修	県立学校配置ALT	指	高	83
		150	250050 - 150	外国語指導助手(ALT)の指導力等向上研修	県雇用ALT、市町村雇用ALT、日本人英語担当教員	指	高	84
	給食運営職員	151	250070 - 151	学校給食運営研修会	小･中・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、管理職、市町村教育委員会担当職員	希	保	84
	幼稚園教員	152	250040 - 152	幼保小合同研修会	幼・保・小・特別支援学校・行政担当教職員	希	義	84
		153	250040 - 153	幼保小オンライン研修	幼・保・小・特別支援学校・行政担当教職員	希	義	85
		154	250040 - 154	架け橋期のコーディネーター専門研修	行政担当教職員	希	義	85
		155	250040 - 155	幼児教育推進リーダーフォローアップ研修	幼・保・小・特別支援学校・行政担当教職員	希	義	85
	臨時職員	156	250040 - 156	公立義務教育諸学校臨時職員研修	臨時職員	悉	義	86
	その他	123	250070 - 123	食育運営研修会	小･中・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、管理職、市町村教育委員会担当職員	希	保	74
		128	250070 - 128	食物アレルギー対応一般研修	小･中・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員	割	保	76
		151	250070 - 151	学校給食運営研修会	小･中・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、管理職、市町村教育委員会担当職員	希	保	84
		157	250070 - 157	がん教育指導者研修会	小･中･高･特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭、管理職、指導主事	希	保	86

Ⅲ　実践力向上研修等

体系	分類	研修番号	研修コード	研修・講座名	対象	研修属性	研修主体	頁
Ⅲ	その他	158		実践力向上研修	研修を希望する公立学校園の教職員 （新潟市立の学校園は除く）	希	セ	86
		159		指導力ステップアップ研修		指	セ義高	87
		160	253010 - 160	[第18回教育フォーラムアーカイブ配信] 分科会1「特別支援教育」	小・中・高・特別支援学校教員	希	セ	87
			253010 - 160	[第18回教育フォーラムアーカイブ配信] 分科会2「学級・ホームルーム経営」	小・中・高・特別支援学校教員	希	セ	87

（３） 研修の目的・内容・方法等一覧表

1 幼稚園等新規採用教員研修

研修コード 253010-001　キーワード（1、新規採用、幼稚園）

日程
4月1日～3月31日（9日間）

申込期間
申込不要

予定人数
50人

目的
幼稚園教育のスタートにあたり、聴講、演習、協議、参観等をとおして、職務の遂行に必要な事項の習得とともに、幼稚園教員としての使命感を養い、幼稚園教員としての使命感を養い、幼稚園教員としての使命感を養い

4 初任者研修（高等学校）

研修コード 253010-004　キーワード（4、初任者、高等学校）

日程
4月1日～3月31日（22日間）

申込期間
申込不要

予定人数
69人

目的
本県における学校教育の現状と課題について理解を深めるとともに、教員としての実践的指導力と使命感を養い、幅広い知見の習得を図る。

受講対象
高等学校新採用教諭

研修属性
悉皆研修

内容等
教育一般研修（4日）：本県の教育課題、社会人としての礼法と接遇、学級経営の基礎 他
教科指導研修（4日）：学習指導要領の解説、教材研究 他
生徒指導研修（2日）：生徒理解と対応、教育相談 他
情報教育研修（1日）：メディアリテラシー教育、授業におけるICT活用 他
体験活動研修（3日）：レクリエーション活動、探究活動のためのデザイン思考 他
他校種研修（2日）：中学校・特別支援学校における授業参観、研究協議 他
全員公開授業（4日）：授業計画・実施、実践発表・協議 他
社会奉仕体験活動（2日）：社会福祉施設における社会奉仕体験 他

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○					

5 初任者研修（特別支援学校）

研修コード 253010-005　キーワード（5、初任者、特別支援）

日程
4月1日～3月31日（11日間）

申込期間
申込不要

予定人数
60人

目的
本県における特別支援教育の現状や課題、指導の在り方について理解を深めるとともに、教員としての実践的指導力と使命感を養い、幅広い知見の習得を図る。

受講対象
特別支援学校新採用教諭

研修属性
悉皆研修

内容等
ガイダンス（1日）：教員の心構え、服務・勤務、体験発表、協議 他
特別支援教育研修（1日）：障害のある児童生徒の理解と指導 他
学習指導研修（2日）：講話、講義、授業参観、協議 他
教育方法研修（1日）：特別支援学校の授業づくり 他
生徒指導研修（4日）：児童生徒理解と対応、教育相談 他
体験研修（1日）：地域でのボランティア体験活動
集団活動研修（1日）：レクリエーション体験活動、校種別情報交換 他

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
県立教育センター、教育事務所、市町村教育委員会

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○					

6 新採用養護教諭研修

研修コード 250070-006　キーワード（6、新採用、養護教諭）

日程
4月1日～3月31日（10日間）

申込期間
申込不要

予定人数
30人

目的
学校保健に関する専門的知識、健康相談、生徒指導上の養護教諭の役割等について、聴講、演習、協議をとおして研修を深め、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見の習得を図る。

受講対象
新採用養護教諭

研修属性
悉皆研修

内容等
ガイダンス（1日）：教員の心構え、学校保健活動の進め方の協議 他
授業研修協力校研修（2日）：保健室経営の実際、保健教育の授業参観 他
特別支援学校参観（1日）：講話、授業参観、研究協議 他
専門研修（3日）：養護教諭の職務、学校における救急処置の実際 他
健康相談研修（2日）：児童生徒の話の聴き方、効果的な事例検討 他
集団活動研修（1日）：レクリエーション体験活動、校種別情報交換 他

研修形態
集合型

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
保健体育課、県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○					

7 新採用等栄養教諭研修

研修コード 250070-007　キーワード（7、新採用、栄養教諭）

日程
4月1日～3月31日（12日間）

申込期間
申込不要

予定人数
2人

目的
食育、給食管理及び生徒指導上の栄養教諭の役割等について、聴講、演習、協議をとおして研修を深め、実践力と使命感を養う。

受講対象
新採用栄養教諭

研修属性
悉皆研修

内容等
【新採用】
専門研修（3日）、集団活動研修（1日）、
食育研修（4日）、給食管理・食育研修協力校研修（4日）
【任用替え】
専門研修（3日）、食育研修（4日）

研修形態
集合型、オンライン型（オンデマンド）

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
保健体育課、県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○					

8 教職2年次研修（小・中・特）

研修コード 253010-008　キーワード（8、2年次、小・中・特）

日程
4月1日～3月31日（3日間）

申込期間
申込不要

予定人数
355人

目的
教職経験2年目教諭に対し、主体的な計画による研修を1年間実施することで、教科指導力、学級経営力及び生徒指導力等の実践的指導力を養い、自身のキャリアステージを考え、主体的に学び合い、学び続ける教師としての基盤を養う。

受講対象
小・中・特別支援学校教職経験2年目教諭

研修属性
指名研修

内容等
教育方法研修（1日）：ICT活用、授業改善に向けた講義・グループ協議 他
学級経営研修（2日）：学級経営に関する講義・グループ協議 他

研修形態
集合型、オンライン型（オンデマンド）

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○					

9 教職2年次研修（高等学校）

研修コード 253010-009　キーワード（9、2年次、高等学校）

日程
6月2日、10月27日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
50人

目的
教職経験2年目教諭に対し、学級経営に関する研修を実施することにより、学級担任としての資質・能力の向上を図り、併せて教科指導力の充実を図る。

受講対象
高等学校教職経験2年目教諭

研修属性
指名研修

内容等
・ 本県高等学校教育の最新の動向や学級経営上の課題についての理解を深める講義
・ 学級経営及び教科指導における実践的指導力の向上を目指した演習・協議
・ 授業実践の成果の発表と改善に向けた意見交換

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○					

10 教職2年次研修（養護教諭）

研修コード 253010-010　キーワード（10、2年次、養護教諭）

日程
6月13日、8月22日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
30人

目的
教職経験2年目養護教諭に対し、保健室経営及び保健教育の授業に関する研修を実施することにより、養護教諭としての資質・能力の向上を図る。

受講対象
教職経験2年目養護教諭

研修属性
指名研修

内容等
・ 保健室経営や保健教育の授業の現状と課題について理解を深める講義
・ 保健室経営や保健教育の授業に関する具体的な手立てを考える協議・演習

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○					

11 教職6年次研修（幼稚園）

研修コード 253010-011　キーワード（11、6年次、幼稚園）

日程
7月4日、11月13日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
20人

目的
幼児一人一人の発達課題に即した保育を行うために、カウンセリングマインドを生かした保育の専門技術について、聴講、演習、実践報告及び協議等をとおして習得し、指導力向上を図る。

受講対象
幼稚園・幼稚園型認定こども園教職経験6年目教諭

研修属性
指名研修
希望研修

内容等
・ カウンセリングマインドを生かした保育についての講義
・ 幼児の発達と理解についての講義
・ 幼児理解のための方策（グループ協議）と実践（自園）

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
幼稚園等の申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○				

12 教職6年次研修（小・中・特）

研修コード 253010-012　キーワード（12、6年次、小・中・特）

日程
4月1日～3月31日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
340人

目的
本県の学校教育の課題や生徒指導上の諸問題について理解を深め、それに基づいた自己研修計画の作成、校内での実践、成果の発表と意見交換をとおして、実践的な指導力を高める。

受講対象
小・中・特別支援学校教職経験6年目教諭

研修属性
悉皆研修

内容等
・ 本県の学校教育の課題や生徒指導上の諸問題についての理解を深める講義・演習
・ 自己研修計画の作成と、計画に沿った校内における実践
・ 自己研修報告書をもとにした成果の発表と意見交換

研修形態
集合型、オンライン型（オンデマンド）

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○				

13 教職6年次研修（高等学校）

研修コード 253010-013　キーワード（13、6年次、高等学校）

日程
6月17日、11月11日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
8人

目的
本県高等学校教育の現状と課題を踏まえ、生徒指導における実践的指導力の向上を図るとともに、人権教育、同和教育及び特別支援教育についての理解を深める。また、教科指導においても、生徒理解に基づく個に応じた指導・支援を実現する実践的指導力の向上を図る。

受講対象
高等学校教職経験6年目教諭

研修属性
悉皆研修

内容等
・ 本県高等学校教育の現状と課題を踏まえ、生徒指導における実践的指導力の向上を図るための講話、講義、演習。
・ 人権教育、同和教育及び特別支援教育についての理解を深める講義、演習。
・ 個に応じた指導・支援を実現する実践的指導力の向上を図るための実践、発表・協議。

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○				

14 教職6年次研修(養護教諭)

研修コード 253010-014　キーワード（14、6年次、養護教諭）

日程
5月16日、10月6日～10月17日（期間内の0.5日）、12月5日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
30人

目的
本県の健康相談上の課題や特別支援教育について理解し、それに基づいた自己研修計画の作成、校内での実践、成果の発表と意見交換をとおして、実践的な指導力を高める。

受講対象
教職経験6年目養護教諭

研修属性
悉皆研修

内容等
・ 本県の健康相談上の課題や特別支援教育について理解を深める講義
・ 自己研修計画の作成と、計画に沿った校内における実践
・ 自己研修報告書をもとにした成果の発表と意見交換

研修形態
集合型、オンライン型（オンデマンド）

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○				

15 教職6年次研修(栄養教諭)

研修コード 250070-015　キーワード（15、6年次、栄養教諭）

日程
専門研修8月28日・29日、食育研修5月12日、7月25日、1月16日、2月6日（6日間）

申込期間
申込不要

予定人数
1人

目的
本県における学校教育の課題や食育、給食管理について講義・演習をとおして理解を深め、実践的な指導力を高める。

受講対象
教職経験6年目栄養教諭

研修属性
悉皆研修

内容等
◆講義、演習・協議、実践発表
学校における食育、衛生管理、栄養管理、授業研修、食物アレルギー対応

研修形態
集合型

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
保健体育課、県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○				

16 中堅教諭等資質向上研修（幼稚園）

研修コード 253010-016　キーワード（16、中堅、幼稚園）

日程
4月1日～3月31日（5日間）

申込期間
申込不要

予定人数
20人

目的
中堅教員としての役割を果たすため、個々の能力、適性等に応じ、得意分野・個性の伸長を図るとともに、本県の教育課題の理解と園運営に参画する資質・能力の向上を図る。また、社会体験研修をとおして社会的視野を広げるとともに、特別支援教育についての理解を深める。

受講対象
幼稚園・幼稚園型認定こども園教職経験13年目教諭

研修属性
悉皆研修
希望研修

内容等
全体研修（2日）：特別支援教育、人権教育、同和教育、実践・報告・協議　他
社会体験研修（1日）：療育体験、児童発達支援センターにおける発達相談　他
保育専門研修（1日）：情報モラルと著作権、ICTを活用した資料作成　他
コース別研修（1日）：幼児の健康管理、幼保小接続、実践・報告・協議　他

研修形態
集合型

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
幼稚園等の申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○			

17 中堅教諭等資質向上研修（小・中・特）

研修コード 253010-017　キーワード（17、中堅、小・中・特）

日程
4月1日～3月31日（8日間）

申込期間
申込不要

予定人数
281人

目的
個々の能力や適性等に応じ、教員としての専門性の向上を図るとともに、校内において中堅教員としての役割を果たすため、本県の教育課題の理解と学校運営に参画する資質・能力及び教科指導における授業力の向上を図る。また、いじめ・不登校への対応などを含めた生徒理解・生徒指導についての専門的知識と技能を身に付ける。

受講対象
小・中・特別支援学校教職経験13年目教諭

研修属性
悉皆研修

内容等
全体研修（1.5日）：本県の教育課題の理解、中堅研修の意義と心構え　他
学習指導研修（4日）：学習指導課題についての発表・協議、授業参観　他
コース別研修（2.5日）：校内組織を動かし課題解決を図る実践についての協議、発表　他

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○			

18 中堅教諭等資質向上研修（高等学校）

研修コード 253010-018　キーワード（18、中堅、高等学校）

日程
4月1日～3月31日（8日間）

申込期間
申込不要

予定人数
65人

目的
個々の能力や適性等に応じ、教員としての専門性の向上を図るとともに、校内において中堅教員としての役割を果たすため、本県の教育課題の理解と学校運営に参画する資質・能力及び教科指導における授業力の向上を図る。また、いじめ・不登校への対応などを含めた生徒理解・生徒指導についての専門的知識と技能を身に付ける。

受講対象
高等学校教職経験13年目教諭

研修属性
悉皆研修

内容等
全体研修（1.5日）：本県の教育課題の理解、中堅研修の意義と心構え　他
学習指導研修（4日）：学習指導課題についての発表・協議、授業公開、授業参観　他
コース別研修（2.5日）：校内組織を動かし課題解決を図る実践、発表・協議　他

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○			

19 中堅教諭等資質向上研修（養護教諭）

研修コード 253010-019　キーワード（19、中堅、養護教諭）

日程
4月1日～3月31日（8日間）

申込期間
申込不要

予定人数
20人

目的
学校教育の課題や学校の管理運営、教育実践上の諸問題について理解を深めるとともに、養護教諭としての専門的知識、指導力を高め、中堅養護教諭としての資質の向上と執務の充実を図る。

受講対象
教職経験13年目養護教諭

研修属性
悉皆研修

内容等
全体研修（1.5日）：本県の教育課題の理解、養護教諭が行う実践研究の進め方　他
専門研修（1日）：保健管理と学校環境衛生、最新医療情報　他
健康相談研修（1日）：児童生徒の心の健康、学校体制で行う健康相談　他
関係機関研修（1日）：関係機関との行動連携のあり方　他
コース別研修（3.5日）：学校保健マネジメント、課題別研修、実践発表　他

研修形態
集合型、オンライン型（オンデマンド）

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○			

20 中堅教諭等資質向上研修（栄養教諭）

研修コード 250070-020　キーワード（20、中堅、栄養教諭）

日程
4月1日～3月31日（8日間）

申込期間
申込不要

予定人数
12人

目的
中堅栄養教諭として指導的役割を担うことができるように、高度な専門的知識や技能を習得し、指導力を向上させるとともに、個々の能力・適性に応じ得意分野や個性を伸ばし、食育を推進する企画力、実行力、調整力を養成する。

受講対象
教職経験13年目栄養教諭

研修属性
悉皆研修

内容等
◆講義、演習・協議、実践発表
学校における食育、衛生管理、栄養管理、授業研修、食物アレルギー対応

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
保健体育課、県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○			

21 みんながいきいき！学級づくり講座

研修コード 253010-021　キーワード（21、学級経営）

日程
6月2日、10月27日（2日間）

申込期間
4月7日～4月14日

予定人数
40人

目的
学習指導要領の趣旨を実現する土台となる学級経営について、自己の実践を見直し、工夫・改善することをとおして学級経営の力量の向上を図る。

受講対象
教職2年目以降の幼・小・中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
講義、演習
・ 講義「ウェルビーイングを高める学級づくり」
　上越教育大学　教授 赤坂 真二
・ 講義「子どもも大人も明日も行きたい学級づくり」
　教え方の学校　代表 渡辺 道治
・ 自己の学級経営における課題と解決の方策（実践・報告・協議）

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
幼稚園の申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		

22 学校安全教育指導者研修会

研修コード 250070-022　キーワード（22、学校安全、指導者研修）

日程
6月頃（集合型：下越地区対象）（1日間）

申込期間
5月～6月中

予定人数
68人

目的
小・中・高・特別支援学校の学校安全教育指導者の養成を行い、学校における安全教育の充実に資する。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教諭等

研修属性
割当研修

内容等
講義、演習
・学校事故及び交通事故の実態について
・防犯教育について
・防災教育について
・学校安全の現状と課題について

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
指定された会場

研修主体
保健体育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	○

23 新潟県水泳プール安全管理講習会

研修コード 250070-023　キーワード（23、水泳、プール、安全、安全管理）

日程
上越会場5月、中越会場5月、下越会場5月 （3日間）

申込期間
4月7日～18日

予定人数
160人

目的
学校のプールにおける事故を未然に防止するために、安全管理の内容と方法について施設管理者・水泳指導者等を対象とした講習会を実施する。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教諭等

研修属性
希望研修

内容等
講義、実技
・プールの維持・管理と事故防止
・水難事故の防止
・水上安全法（救命救急法、AED）

研修形態
集合型

会場
地区ごとに指定された会場

研修主体
保健体育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

24 登山部顧問等安全登山講習会

研修コード 250070-024　キーワード（24、登山部、安全登山）

日程
7月7日（1日間）

申込期間
6月中

予定人数
35人

目的
那須雪崩事故をはじめとした過去の遭難事故事例及びその発生原因、また、応急処置やスポーツ事故・外傷・障害の防止に関する知識等の理解を深めることで指導力向上を図る。

受講対象
高等学校教諭

研修属性
希望研修

内容等
講義、演習
・登山の基礎知識について
・登山計画の立案について
・登山活動中の留意事項について

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
保健体育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

25 子どもがワクワクする授業づくり講座

研修コード 253010-025　キーワード（25、ワクワク、授業づくり）

日程
1班（刈羽会場）7月2日、9月18日、10月15日
2班（県セン会場）7月1日、9月19日、10月14日（3日間）

申込期間
4月7日～5月30日

予定人数
48人

目的
学習指導要領の趣旨を踏まえ、ねらいに迫るための指導計画の作成や学習指導の工夫・改善を通して授業力向上を図る。

受講対象
小・中・特別支援学校の教職経験4年目または5年目教諭

研修属性
希望研修

内容等
（研修1日目）【集合型】
◆講義「授業改善における現状と課題」
◆発表・協議「教科指導の課題」
（研修2日目）【集合型】
◆講義「学習指導要領の趣旨を実現する教科指導の具体」
◆発表・協議「学習指導案の検討（単元指導の構想まで）」
（研修3日目）【集合型】
◆発表・協議「学習指導案の検討」

研修形態
集合型

会場
地区ごとに指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
別途Googleフォームで教科選択あり。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○					

26 教科リーダー育成講座（小・中・特）[1年次]

研修コード 253010-026　キーワード（26、教科リーダー、1年次）

日程
5月28日、7月11日、9月～11月上旬のうち3日、12月8日（6日間）

申込期間
4月7日～4月25日

予定人数
48人

目的
学習指導要領の趣旨を踏まえた授業づくりについての講義や校種・教科別グループ協議、勤務校での研究を通して、教科の目標を具現化する授業研究に取り組んで教科指導力の向上を図り、地域・校種での教科指導のリーダーを育成する。

受講対象
小・中・特別支援学校の教職経験7年目以降の教諭

研修属性
希望研修

内容等
（研修1日目）【集合型】
◆講義「学習指導要領の趣旨を実現する教科指導」、◆発表・協議「研究テーマの構想」
（研修2日目）【集合型】
◆講義「学習指導要領の趣旨を実現する教科指導の具体」、◆発表・協議「研究授業の学習指導案」
（研修3～5日目）【集合型】◆研究授業、協議　※研究授業1日、授業参観2日
（研修6日目）【オンライン（ライブ）型】
◆発表・協議「実践の成果」

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○	○		

27 教科リーダー育成講座（小・中・特）[2年次]

研修コード 253010-027　キーワード（27、教科リーダー、2年次）

日程
事務所から指定された日（4日間）

申込期間
申込不要

予定人数
29人

目的
1年次の研修の成果を生かし、授業公開、授業参観を通して、受講者の教科リーダーとしての資質・能力の向上を図る。

受講対象
小・中・特別支援学校教諭

研修属性
指名研修

内容等
・本研修は、1年次の研修を受けて、授業実践を中心に研修を進めます。2回以上の研究授業と、1回以上の授業参観を行い、各教科のリーダーとしての資質・能力の向上を図る。日程・内容の詳細は、各教育事務所によって変わる。

研修形態
集合型

会場
受講者勤務校、他の指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○	○		

28 3年間を見通した技術分野パワーアップ講座

研修コード 253010-028　キーワード（28、技術・家庭、技術、技術分野）

日程
7月28日、29日（いずれか1日）（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
85人

目的
学習指導要領の趣旨を踏まえた、中学校3年間を見通した指導計画を作成するとともに、実践発表及び演習を通して、技術分野の指導力向上を図る。

受講対象
中学校技術・家庭科（技術分野）担当教員※ただし、中学校技術・家庭科（技術分野）免許状を所有する教員に限る。

研修属性
指名研修

内容等
◆講義「学習指導要領の趣旨を実現するための技術・家庭科（技術分野）の指導」
◆実践発表「3年間を見通した年間指導計画の立案について」
◆発表・協議「3年間を見通した年間指導計画の検討」
◆演習「『Micro:bit』と『Scratch』を使用した計測・制御におけるプログラミング演習」

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

29 単元デザイン講座（理論編）

研修コード 253010-029　キーワード（29、単元デザイン、主体的、対話的、深い学び、ICT）

日程
6月2日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月20日

予定人数
制限なし

目的
ICTを含め多様な学習活動を取り入れて「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた単元構成をつくり、実践することをとおして、全校的な授業改善の推進体制をつくることのできる中核的教員を育成する。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義
「『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けて」【NITS動画】
◆演習
「主体的・対話的で深い学びの実現を図る単元デザイン構想」【動画】

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

30 個別最適・協働的な学びに向けた授業づくり講座Ⅰ（理論編）

研修コード 253010-030　キーワード（30、個別最適、協働的、ICT）

日程
6月2日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月20日

予定人数
制限なし

目的
ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業づくりに向けた具体的構想を立てるとともに、一人一台端末を用いたICT機器の効果的な活用方法について理解を深める。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義
「個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり　理論編」【動画】
◆講義
「個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり　実践編」【動画】

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

31 個別最適・協働的な学びに向けた授業づくり講座Ⅱ（実践編）

研修コード 253010-031　キーワード（31、個別最適、協働的、ICT）

日程
10月31日（1日間）

申込期間
4月7日～8月29日

予定人数
40人（集合型）
60人（オンライン型（ライブ））

目的
ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業づくりへの具体的構想を立てるとともに、一人一台端末を用いた効果的なICT機器の活用力の向上を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義・演習
「個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくり」
◆協議
「個別最適な学びと協働的な学びを実現するICTを活用した授業づくりに向けて」
こちらの研修の申込みには「30 個別最適・協働的な学びに向けた授業づくり講座Ⅰ（理論編）」を受講修了している必要がある。

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
県立教育センター、受講者勤務校（Zoom）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

32 探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅰ（高等学校）

研修コード 253010-032　キーワード（32、探究的な学び、Ⅰ）

日程
5月28日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月20日

予定人数
制限なし

目的
学習指導要領の趣旨と、本県高等学校における各教科教育の実態を踏まえ、各教科の指導上の課題を明確化し、教科の見方・考え方を働かせて探究する教科指導力の向上を図る。

受講対象
高等学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義 【オンライン型（オンデマンド）】・授業を探究化する
【国語】講義「漢文教材を探究化する」【動画】／國學院大学 准教授 青木 洋司
【地理歴史・公民】講義「歴史資料を用いた探究的な学びの授業デザイン」【動画】／広島大学 准教授 池尻 良平
【理科】講義「探究的な学びに変える！教科横断・アイディア講座」【動画】／東京理科大学 教授 興治 文子
【外国語】講義「外国語科授業における探究的な学び－生徒が主体的に取り組む授業を目指して－」【動画】／文教大学 教授 阿野 幸一

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		

33 探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅱ（高等学校）

研修コード 253010-033　キーワード（33、探究的な学び、Ⅱ）

日程
6月27日、11月28日（いずれか1日）（1日間）

申込期間
4月7日～10月24日

予定人数
50人

目的
学習指導要領の趣旨と、本県高等学校における各教科教育の実態を踏まえ、各教科の指導上の課題を明確化し、教科別グループ協議等をとおしてその課題解決に取り組み、教科の見方・考え方を働かせて探究する教科指導力の向上を図る。

受講対象
高等学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆協議
・授業を探究的な学びに改善する。

本講座の受講者は、以下の講座を、第1回は6月25 日（水）、第2回は11 月26 日（水）までに受講修了した方に限る。
・国語、地理歴史・公民、理科、外国語「探究的な学びに向かう！授業アイディア講座Ⅰ（高等学校）」
・数学「探究的な学びに向けた授業づくり講座（高等学校）数学［新潟大学理学部連携］）

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		

34 自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅰ（高等学校）

研修コード 253010-034　キーワード（34、単元デザイン、Ⅰ）

日程
5月28日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月20日

予定人数
制限なし

目的
学習指導要領の趣旨と、本県高等学校における各教科教育の実態を踏まえ、各教科の指導上の課題を明確化し、指導と評価の計画に基づく単元構想力の向上を図る。

受講対象
高等学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義 【オンライン型（オンデマンド）】 ・指導と評価の計画から授業を構想する
【国語】講義「漢文教材の単元デザインに向けて」／國學院大学 准教授 青木 洋司、【地理歴史・公民】講義「問いや評価から考える歴史授業の単元デザイン」／広島大学 准教授 池尻 良平、【数学】講義「探究的な学びを促すための単元計画ー指導と評価の一体化ー」／東京学芸大学 准教授 成田 慎之介、【理科】講義「自ら学びに向かう！単元デザイン講座」／東京理科大学 教授 興治 文子、【外国語】講義「外国語における単元デザインについてー単元ゴールとしての言語活動へ向かう授業づくりー」／文教大学 教授 阿野 幸一

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		

35 自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅱ（高等学校）

研修コード 253010-035　キーワード（35、単元デザイン、Ⅱ）

日程
6月30日、12月1日（いずれか1日）（1日間）

申込期間
4月7日～10月24日

予定人数
50人

目的
学習指導要領の趣旨と、本県高等学校における各教科教育の実態を踏まえ、各教科の指導上の課題を明確化し、教科別グループ協議等をとおしてその課題解決に取り組み、指導と評価の計画に基づく元構想力の向上を図る。

受講対象
高等学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆協議
・評価から単元をデザインして授業を構想する。

本講座の受講者は、「自ら学びに向かう！単元デザイン講座Ⅰ（高等学校）」を、第1回は6月27 日（金）、第2回は11 月28 日（金）までに受講修了した方に限る。

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		

36 教科別ICT活用研修（高等学校）

研修コード 253010-036　キーワード（36、教科別ICT）

日程
1日目：6月20日～8月10日のうちの1日
2日目：それぞれの学校で1日（2日間）

申込期間
4月7日～5月9日

予定人数
制限なし

目的
生徒1人につき1台の端末が整備された環境における学習指導の一層の充実に向け、必要な技能の向上を図る。

受講対象
高等学校教諭

研修属性
希望研修

内容等
（研修1日目）【オンライン型（オンデマンド、期間指定）】
・ICT機器整備に係る方針等 他
・自校における1人1台端末を活用した授業のアイデア 他
（研修1日目）【勤務校（授業実践）】
・各教科におけるICTを活用した授業実践、報告書提出

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		

37 教科研究員研修会（高等学校）

研修コード 0050-037　　キーワード（37、教科研究員）

日程
第1回：5月20日
5月～10月（10月までに各教科4回）（4日間）

申込期間
申込不要

予定人数
45人

目的
新潟県高等学校教育水準の向上を図るため、学習指導要領における各教科等の指導上の問題点について研究し、本県高等学校教育の一層の充実を目指す。

受講対象
高等学校教科研究員

研修属性
指名研修

内容等
◆講義：研究目的と年間計画
◆演習：学習指導要領の研究

研修形態
集合型

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○	○		

38 教科教育専門監育成研修

研修コード 250040-038　　キーワード（38、教科教育、専門監育成）

日程
4月～3月（2年間）（6日間）

申込期間
申込不要

予定人数
12人

目的
地域の教科リーダー、授業力向上のアドバイザーとして他の職員を指導する力を育成する。
2年間の研修後、教科教育専門監として、勤務地域及び全県的な学力向上に寄与するための実践力を育成する。

受講対象
小・中学校教諭

研修属性
指名研修

内容等
（研修1日目）【集合型】　研修計画の立案
（研修2日目）【2年次受講者所属校】 授業力向上研修会（協議会及び研修講座）の運営
（研修3日目）【所属校等】 各自の研修計画に基づくスキルアップ研修
（研修4日目・5日目）【所属校及び1年次受講者所属校】 研究授業及び研修講座（1回）・研究協議・実践のまとめ作成
（研修6日目）【所属校等（Zoom）】 研修の振り返り、全体協議、教科部会

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
研修期間2年（人数は単年度分）

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○	○		

39 各教科等研究協議会

研修コード 0050-039　　キーワード（39、研究協議会）

日程
11月（教科等別に実施）（1日間）

申込期間
10月中

予定人数
1460人

目的
高等学校学習指導要領についての研究協議及び研究発表を行うことで、各校における教育課程の編成・実施に資するとともに、高等学校教育の改善充実を図る。

受講対象
高等学校・特別支援学校教諭

研修属性
割当研修

内容等
◆講義、実践発表、研究協議
各学校における教育課程実施上の具体的な諸問題について研究協議及び研究発表

研修形態
オンライン型（ライブ）

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○	○		

40 成年年齢引き下げへの対応に関する研修会

研修コード 250050-040　キーワード（40、成年年齢、引き下げ）

日程
8月（1日間）

申込期間
7月中

予定人数
90人

目的
政治的教養、消費者教育及び法教育に係る指導方法等に関する研修会を実施することをとおして、指導力の向上を図る。

受講対象
高等学校教諭

研修属性
割当研修

内容等
◆講演、講義、協議
・政治的教養に関する講義
・公職選挙法等の関係法令に関する講義及び協議
・消費者教育に関する講義及び協議
・法教育に関する講義

研修形態
オンデマンド型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

41 小学校理科基礎講座

研修コード 253010-041　キーワード（41、小学校、理科基礎）

日程
6月7日、11月15日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
8人

目的
基礎的・基本的な観察・実験の実習を行い、観察・実験の技能及び理科指導力の向上を図る。

受講対象
小学校教諭

研修属性
指名研修

内容等
◆講義：理科授業の在り方
上越教育大学・山田貴之教授による令和型授業の在り方に関わる講義
◆協議：教員も児童も楽しめる、観察や実験を生かした理科授業
児童だけでなく、教員自身も楽しめる授業について、具体例を挙げながらの協議
◆実習：基礎的・基本的な観察・実験
6月は生物・地学分野、11月は物理・化学分野の実習。

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○					

42 理科授業力向上講座

研修コード 253010-042　キーワード（42、理科授業力、向上）

日程
各ブロック1日、計2日実施（2日間）

申込期間
4月7日～5月9日

予定人数
32人

目的
小・中学校教員の理科授業力の向上を図り、各学校の研修及び地域での理科教育に中核的な役割を果たす教員を育成する。

受講対象
小・中学校教諭

研修属性
希望研修

内容等
◆授業参観：小・中合同授業研修
理科センター協力員による、師範授業を参観する。
◆協議：指導方法改善に関わる協議
参観した授業について協議する。
◆指導・助言：主体的・対話的で深い学びを図る指導
授業全般、協議会を受け、担当の大学教授より指導・助言をもらう。

研修形態
集合型

会場
県内2ブロック

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○	○		

43 先端科学技術活用講座1

研修コード 253010-043　キーワード（43、先端科学、活用講座1）

日程
6月12日（1日間）

申込期間
4月7日～5月9日

予定人数
5人

目的
科学技術系の上級学校に進学する生徒を増加させ次代を担う人材を育成するため、高等学校教員に対して、先端的な科学技術に関する観察・実験の実習、授業等での活用方法についての協議を大学等と連携して実施し、指導力の向上を図る。

受講対象
高等学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、実習、演習・協議
「テーマ：AIやVRを活用する医学教育ツールで、実践的な学習法を経験しましょう」
・講師より「診療現場での実習の際、本学では、バーチャルリアリティによる仮想空間上で、3DCGを用いて診療手技を実践形式で学習できるコンテンツやAIを活用する学習ツールを開発しています。これらのツールの開発過程をご紹介して、実際に体験いただきます。そして、皆様の現場で役立つAIやVRを活用する教育ツールのアイディアを共有してみましょう。」

研修形態
集合型

会場
新潟大学医学部

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

43 先端科学技術活用講座2

研修コード 253010-043　キーワード（43、先端科学、活用講座2）

日程
7月25日（1日間）

申込期間
4月7日～5月9日

予定人数
5人

目的
科学技術系の上級学校に進学する生徒を増加させ次代を担う人材を育成するため、高等学校教員に対して、先端的な科学技術に関する観察・実験の実習、授業等での活用方法についての協議を大学等と連携して実施し、指導力の向上を図る。

受講対象
高等学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、実習、演習・協議
「テーマ：微化石から読み解く過去の地球環境変動」
・講師より「地質学では、過去の地球上で形成された堆積物や化石などを対象に、特に時間軸を重視して、対象から地球の歴史を引き出します。本講座では、地球表層で進行する堆積作用・生物作用を記録する堆積岩と微化石を取り扱う分野の基礎から最先端について学びます。また、実際の微化石の観察や模型を用いた実習を行い、理解を深めます。」

研修形態
集合型

会場
新潟大学理学部

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

43 先端科学技術活用講座3

研修コード 253010-043　キーワード（43、先端科学、活用講座3）

日程
8月29日（1日間）

申込期間
4月7日～5月9日

予定人数
5人

目的
科学技術系の上級学校に進学する生徒を増加させ次代を担う人材を育成するため、高等学校教員に対して、先端的な科学技術に関する観察・実験の実習、授業等での活用方法についての協議を大学等と連携して実施し、指導力の向上を図る。

受講対象
高等学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、実習、演習・協議
「テーマ：ケアに生かすリフレクソロジーの効果」
・講師より「このリフレクソロジーは、多くの障がいのある子ども（重症心身障がい児）が、より安楽に過ごせるように実施し、効果を見出しました。この効果を血流測定やサーモグラフィーによって、科学的に明らかにすることを試みました。今回の研修では、リフレクソロジストに指導してもらいながら、実際に体験していただきます。」

研修形態
集合型

会場
新潟薬科大学

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

43 先端科学技術活用講座4

研修コード 253010-043　キーワード（43、先端科学、活用講座4）

日程
10月24日（1日間）

申込期間
4月7日～5月9日

予定人数
5人

目的
科学技術系の上級学校に進学する生徒を増加させ次代を担う人材を育成するため、高等学校教員に対して、先端的な科学技術に関する観察・実験の実習、授業等での活用方法についての協議を大学等と連携して実施し、指導力の向上を図る。

受講対象
高等学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、実習、演習・協議
「テーマ：エネルギーの視点から考える原子力・放射線とこれからのエネルギー問題」
・講師より「当講座では、私たちの生活とは切っても切れないエネルギー問題と、原子力・放射線を含めたゼロカーボンエネルギーについて基礎から学びます。また、これからのエネルギーミックスについて、グループワーク（ゲーム）等を通じて理解を深めます。」

研修形態
集合型

会場
長岡技術科学大学

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

43 先端科学技術活用講座5

研修コード 253010-043　キーワード（43、先端科学、活用講座5）

日程
11月21日（1日間）

申込期間
4月7日～5月9日

予定人数
5人

目的
科学技術系の上級学校に進学する生徒を増加させ次代を担う人材を育成するため、高等学校教員に対して、先端的な科学技術に関する観察・実験の実習、授業等での活用方法についての協議を大学等と連携して実施し、指導力の向上を図る。

受講対象
高等学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、実習、演習・協議
「テーマ：揺れる大地の謎を解く ～地震と地盤災害の科学～」
・講師より「2024年1月1日に発生した能登半島地震は新潟から150km以上離れた能登半島の先端で発生しました。本研修講座では高校レベルの物理の知識を用いて、地震が発生してから離れた場所で被害をもたらすまでのメカニズムをご説明します。また実験から、建物の形状や地盤の特性によって、どのように揺れが異なるのかを体験していただきます。」

研修形態
集合型

会場
長岡技術科学大学

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

44 保健教育実践講座

研修コード 253010-044　キーワード（44、保健教育、実践講座）

日程
1日目：6月24日、2日目：9月19日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
3人

目的
保健の授業実践における自己の課題を明確にし、学習指導要領の趣旨を踏まえて単元構成や学習指導の工夫・改善に取り組むことにより授業力の向上を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教諭、養護教諭

研修属性
指名研修

内容等
◆講義、実践発表、講義・演習
（研修1日目）【集合型】
講義「新潟県保健教育の現状と課題」
講義・演習「学習指導要領を踏まえた保健の授業づくり」
（研修2日目）【集合型】
講義・演習「保健教育における主体的・対話的で深い学び」
協議「保健教育指導案検討」

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		

44 保健教育実践講座

研修コード 253010-044　キーワード（44、保健教育、実践講座）

日程
1日目：6月24日、2日目：9月19日（2日間）

申込期間
4月7日～4月11日

予定人数
17人

目的
保健の授業実践における自己の課題を明確にし、学習指導要領の趣旨を踏まえて単元構成や学習指導の工夫・改善に取り組むことにより授業力の向上を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教諭・養護教諭

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、実践発表、講義・演習
（研修1日目）【集合型】
講義「新潟県保健教育の現状と課題」
講義・演習「学習指導要領を踏まえた保健の授業づくり」
（研修2日目）【集合型】
講義・演習「保健教育における主体的・対話的で深い学び」
協議「保健教育指導案検討」

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		

45 体育・保健体育指導力向上研修

研修コード 250070-045　キーワード（45、保健体育、指導力向上）

日程
5月15日～17日（3日間）

申込期間
申込不要

予定人数
4人

目的
発達段階のまとまりや校種の接続を踏まえ、子どもの体力の向上に資する指導方法について、指導者として必要な知識や技術の習得を図る。本研修内容を踏まえた講習会の講師として指導助言を行うことができる資質や能力の向上を図る。

受講対象
小・中・高等学校体育担当教諭、指導主事

研修属性
指名研修

内容等
◆講義、実技、研究協議
・小学校「幼児の運動遊び」「体づくり運動系」「表現運動系」「陸上運動系」「水泳運動系」「保健」
・中学校・高等学校「器械運動」「球技（ゴール型）」「体つくり運動」「武道（剣道柔道）」「ダンス」「保健」

研修形態
集合型

会場
スポーツ庁

研修主体
保健体育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

46 体育・保健体育指導力向上研修伝達講習会

研修コード 250070-046　キーワード（46、体力向上、伝達講習）

日程
7月下旬～11月（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
600人

目的
発達段階のまとまりや校種の接続を踏まえ、子どもの体力の向上に資する指導方法について必要な知識や技術を習得し、体育指導者としての資質能力の向上を図る。

受講対象
小・中・高等学校体育担当教諭

研修属性
割当研修

内容等
◆講義、実技
・小学校・中学校・高等学校
・伝達種目は、中央研修を受講した種目

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校

研修主体
保健体育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

47 新潟県柔道安全指導研修会

研修コード 250070-047　キーワード（47、柔道、安全指導）

日程
10月～11月（1日間）

申込期間
10月中

予定人数
30人

目的
柔道指導の充実を図り、安全を確保することを目的とし、保健体育科教員及び外部指導者（柔道）等の技術及び安全における専門的な知識の習得を図る。

受講対象
小・中・高等学校体育担当教諭

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、実技
・事故防止のポイントについての講義
・柔道指導のポイントについての講義
・実技研修

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
保健体育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		○

48 小学校外国語実践講座

研修コード 253010-048　キーワード（48、小学校、外国語）

日程
6月6日、9月～11月（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
80人

目的
小学校における外国語指導の課題を踏まえ、講義、グループ協議、研究授業等をとおして外国語教育の一層の推進と指導者の育成を図る。

受講対象
小学校の外国語または外国語活動担当教諭

研修属性
割当研修

内容等
（研修1日目）【集合型】
・学習指導要領の趣旨を実現する教科指導
・教師の英語力の向上
・各校の課題解決に向けて
（研修2日目）【集合型（公開授業実施校）】
・公開授業参観、協議

研修形態
集合型

会場
県立教育センター、指定された会場

研修主体
県立教育センター、義務教育課

備考
申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○				

49 小学校英語専科教員情報交換会

研修コード 250040-049　キーワード（49、小学校、英語専科）

日程
上越・中越・下越地区ごとに年間2回実施する（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
未定

目的
小学校英語専科教員としての業務等について情報交換を行い、勤務校における業務の効率化と指導の充実を図る。

受講対象
小学校英語専科教諭

研修属性
指名研修

内容等
◆小学校外国語活動及び外国語科の指導方法と評価
◆業務に関する情報交換

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○				

50 中学校英語科主任研修

研修コード 250040-050　キーワード（50、中学校、英語科主任）

日程
1日目5月、
2日目10月～11月（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
83人

目的
生徒の英語力の向上を目指し、チーム英語科として組織的に新学習指導要領の趣旨に沿った学習が展開できるよう校内の指導体制の整備と指導力の向上を図る。

受講対象
中学校英語担当教諭

研修属性
割当研修

内容等
（研修1日目）
・県の課題の共通理解
・協議（授業改善、評価の在り方等）
（研修2日目）
・授業公開、研究協議、校内指導体制の整備と確認

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○			

51 英語発信力育成研修（高等学校）

研修コード 250050-051　キーワード（51、英語発信力、高等学校）

日程
12月16日（1日間）

申込期間
11月1日～12月1日

予定人数
90人

目的
生徒の英語発信力を育成する実践的な指導力向上を図る。

受講対象
高等学校の英語担当教諭

研修属性
割当研修

内容等
◆「話すこと」「書くこと」のパフォーマンステストの効果的な実施に関する研修
◆英語4技能5領域を育成する指導と評価の一体化に関する研修

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
				○		

52 英語ディベート・ディスカッション指導実践講座

研修コード 250050-052　キーワード（52、ディベート、ディスカッション）

日程
9月3日（1日間）

申込期間
8月1日～8月22日

予定人数
75人

目的
新学習指導要領「論理・表現Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」におけるディベート、ディスカッションの指導力向上を図る。

受講対象
高等学校の英語担当教諭

研修属性
割当研修

内容等
◆指導力向上のための講義、演習

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
				○		

53 豊かな心をはぐくむ道徳教育講座

研修コード 253010-053　キーワード（53、豊かな心、道徳教育）

日程
9月10日（1日間）

申込期間
4月7日～5月9日

予定人数
40人

目的
講義及び演習をとおして、他人を思いやる心などの豊かな人間性の育成を目指し、道徳科の指導や評価の在り方について改善を図る。

受講対象
小・中・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◇道徳教育の更なる充実を目指して～道徳科の授業づくりと評価～
「考え、議論する道徳」の根本について迫り、そこから更なる充実を目指すにはどうすればよいか、具体例を挙げながら講義を行う。それをどう評価するかについても、演習を交えて習得する。

研修形態
集合型

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

54 道徳教育推進研修

研修コード 250040-054　キーワード（54、道徳教育、推進）

日程
11月5日～7日（3日間）

申込期間
9月中

予定人数
2人

目的
道徳教育に関する諸課題の改善に向けて専門的知見を習得し、校長のリーダーシップの下、組織的な取組を推進する力、学校や当該地域の教職員の専門性向上を推進する力を育む。

受講対象
県教育員会指導主事等

研修属性
割当研修

内容等
・道徳教育のマネジメントについて
・特別の教科 道徳の指導と評価
・道徳科の指導・助言の在り方
・特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育

研修形態
オンライン型（ライブ）

会場
受講者勤務校等（Zoom）

研修主体
義務教育課

備考
教職員支援機構

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○			

55 道徳教育推進協議会

研修コード 250040-055　キーワード（55、道徳教育、推進協議）

日程
6月上旬、1月下旬（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
10人

目的
「考え、議論する道徳」への授業改善を図るため、研修機会を充実させ、道徳教育の充実及び学習指導要領の趣旨を踏まえた学校・地域の特色ある道徳教育を推進する。

受講対象
小・中学校 校長等

研修属性
割当研修

内容等
・よりよい生き方を実践する力を育む道徳教育の推進
・道徳教育パワーアップ研究協議会をはじめとした研修計画
・研究推進校での公開授業や研究協議等を通じた道徳科の授業改善
・道徳科を要とした学校の教育活動全体での道徳教育の一層の充実

研修形態
オンライン型

会場
受講者勤務校等(Zoom)

研修主体
義務教育課

備考
文部科学省から委託を受けた研究推進校及び県教育委員会が参加

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	○

56 道徳教育パワーアップ研究協議会

研修コード 250040-056　キーワード（56、道徳教育、パワーアップ）

日程
10月29日（1日間）

申込期間
6月中

予定人数
200人

目的
道徳教育の推進について研究協議を行い、県内の小・中・義務教育・中等教育・特別支援・高等学校における道徳教育の充実に資する。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教諭、校長、教頭、市町村教委指導主事等

研修属性
割当研修

内容等
・道徳教育の充実
・「特別の教科　道徳」
・校種間交流

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
県立教育センター、他の指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
文科省委託事業

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○	○	○	○

57 免許外教科担当教員研修会

研修コード 250040-057　キーワード（57、免許外、研修会）

日程
7月（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
100人

目的
中学校において免許外教科を担当する教員に対し、基本的な指導内容や効果的な指導方法について研修を行い、指導力の向上と教育活動の充実に資する。

受講対象
中学校教諭

研修属性
割当研修

内容等
・教科教育法
・教科研究と指導案作成
・教材の開発
・教科の指導法の工夫（実技研修、指導案作成）

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
各事務所で実施

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○			

58 外国につながる児童生徒の日本語指導講座

研修コード 250040-058　キーワード（58、日本語指導講座）

日程
3回実施（時期は未定）（3日間）

申込期間
6月～7月

予定人数
20人

目的
年々増加している外国人児童生徒等の生活支援や学習指導に当たる教育委員会や教員等を支援するため、受入れ体制の整備や指導力の向上を図る。

受講対象
小・中・特別支援学校教諭、市町村教委指導主事、日本語指導担当者

研修属性
希望研修

内容等
・新潟県の現状と課題
・日本語指導、支援等に関する講義
・相談会
・まとめ

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○	○	○	○

59 生徒指導基幹研修

研修コード 250090-059　キーワード（59、生徒指導、基幹研修）

日程
7月7～11日（5日間）

申込期間
5月中

予定人数
若干名

目的
生徒指導又は教育相談を担当する教員等に対し、不登校、いじめ等の問題行動、児童虐待等の生徒指導上の今日的課題について、最新の知見や全国的動向、研究成果、対応方策に関する必要な知識等を習得させる。

受講対象
教諭、指導主事等

研修属性
割当研修

内容等
・生徒指導の在り方と規範意識の醸成
・生徒指導事例研究
・児童虐待の理解と対応
・不登校への対応
・いじめ問題への対応

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
生徒指導課

備考
教職員支援機構

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
				○		

60 ヤングケアラー支援に関する教育・福祉関係機関合同研修会

研修コード 250090-060　キーワード（60、ヤングケアラー）

日程
8月中～下旬（予定）（1日間）

申込期間
7月中

予定人数
300人

目的
ヤングケアラー支援に係る学校での気づきの体制及び教育機関と福祉関係機関が連携した支援体制の強化を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教諭のほか、市町村教育委員会や児童相談所等関係機関の職員

研修属性
希望研修

内容等
・学識経験者等による講演
・実践発表、報告等

研修形態
オンライン型（ライブ）

会場
受講者勤務校（Zoom）

研修主体
生徒指導課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	○

61 感情の理解と社会性を育む生徒指導講座

研修コード 253010-061　キーワード（61、感情の理解、社会性）

日程
5月28日、10月31日（2日間）

申込期間
4月7日～4月18日

予定人数
24人

目的
児童生徒が自分の感情を理解し適切に表現する力を育てるとともに、人間関係の基礎をなす社会的能力を育成するために、実践的指導力の向上を図る。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校教諭、養護教諭

研修属性
希望研修

内容等
（研修1日目）【オンライン型（ライブ）】
・ソーシャルエモーショナルラーニングSEL（社会性と情動の学習）とは
・感情力を育てるSEL教育の実際
・SELプログラムの指導案づくり
（研修2日目）【集合型】
・感情力を育てる指導
・社会情動的スキルの育成
・感情表現の指導

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		

62 チーム学校で進める協働的な教育相談講座

研修コード 253010-062　キーワード（62、チーム学校、教育相談）

日程
6月13日、6月30日、10月3日、11月25日（4日間）

申込期間
4月7日～5月2日

予定人数
24人

目的
生徒指導上の諸課題に対して、組織的な対応を充実させるため、初動段階でのアセスメント、各専門家・校外機関との連携、ケース会議等の運営等に関する専門的な知識・技術の習得と実践力の向上を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教諭、養護教諭

研修属性
希望研修

内容等
（研修1日目）【集合型】
・チーム学校で進める教育相談、児童生徒と共にある面接相談、面接相談Ⅰ
（研修2日目）【集合型】
・不登校・いじめの早期発見と対応、外部機関との連携①、面接相談Ⅱ
（研修3日目）【集合型】
・教師のための保護者と創る学校『交渉術』、外部機関との連携②、面接相談Ⅲ
（研修4日目）【集合型】
・児童生徒の心の健康と精神症状の理解、解決志向アプローチで進める教育相談

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		

63 人権教育、同和教育現地研修（小・中学校）

研修コード 250040-063　キーワード（63、人権教育、同和教育、現地等）

日程
8月上旬（1日間）

申込期間
7月

予定人数
40人

目的
現地研修を通じて、知識を身に付けるだけでなく、差別の現実と向き合うことで、人権について学び、人権教育、同和教育指導者としての資質能力の向上を図る。

受講対象
小・中学校教諭、管理職

研修属性
希望研修

内容等
・現地フィールドワーク

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

64 人権教育、同和教育指導者研修会（小・中学校）

研修コード 250040-064　キーワード（64、人権教育、同和教育、指導者）

日程
5月下旬（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
20人

目的
人権教育、同和教育に関する国内外の動向や、県の重要施策についての理解を深め、人権教育、同和教育指導者としての資質能力の向上を図る。

受講対象
小・中学校児童生徒支援加配教員

研修属性
指名研修

内容等
・人権教育、同和教育の推進
・児童生徒の学習指導と生徒指導に対する取組
・差別の実態に学ぶ
・かかわる同和教育の推進

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○	○		

65 人権教育、同和教育主任等研修会（小・中学校）

研修コード 250040-065　キーワード（65、人権教育、同和教育、主任等）

日程
7月～8月（義・高）（1日間）

申込期間
5月中

予定人数
200人

目的
学校における人権教育、同和教育の一層の推進を図るため、人権教育、同和教育主任等の資質能力の向上を図る。

受講対象
人権教育、同和教育主任等

研修属性
割当研修

内容等
・人権教育、同和教育の推進上の主任の役割
・推進上の課題と解決策の検討
・校内研修の計画と運営

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○	○		

66 人権教育、同和教育現地研修会（小・中・高等学校）

研修コード 250050-066　キーワード（66、人権教育、同和教育、現地等）

日程
10月～11月（3日間）

申込期間
9月～10月

予定人数
61人

目的
被差別地区等を視察し、被差別体験を聞くことにより、差別の実態についての認識を深め、人権教育、同和教育の指導者としての資質能力の向上を図る。

受講対象
小・中・高等学校教諭

研修属性
割当研修

内容等
・人権教育、同和教育の現状と課題
・被差別体験を聞く
・差別の現実に学ぶ

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

67 人権教育、同和教育連絡協議会（小・中学校）

研修コード 250040-067　キーワード（67、人権教育、同和教育、連絡協議会）

日程
4月中旬（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
40人

目的
学校における人権教育、同和教育を組織的計画的に推進するため、児童生徒支援加配教員の資質能力の向上を図る。

受講対象
小・中学校児童生徒支援加配教員・校長、市町村教育委員会指導主事

研修属性
指名研修

内容等
・人権教育、同和教育の推進上の加配教員の役割
・推進の方策
・校内研修の計画

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○	○	○	○

68 同和教育研究集会

研修コード 250040-068　キーワード（68、同和教育、研究集会）

日程
7月31日（1日間）

申込期間
7月中

予定人数
1000人

目的
「かかわる同和教育」の実践を参加者と論議し検証するとともに、県内の様々な実践にふれ、人権教育、同和教育への認識や実践力を高め、その実践を次世代に継承する契機とする。

受講対象
小・中・高等・特別支援学校教諭、校長、教頭、市町村教育委員会指導主事等

研修属性
希望研修

内容等
・人権確立をめざす教育の創造
・児童生徒の自主的な活動と学習の保障
・進路・学力保障
・人権確立をめざすまちづくり

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
県同教事業

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	○

69 人権教育、同和教育研修会（高等学校）

研修コード 0050-069　キーワード（69、人権教育、同和教育、教育研修会）

日程
11月7日（1日間）

申込期間
10月7日～10月24日

予定人数
100人

目的
高等学校における人権教育、同和教育の一層の推進を図るため、研修を通じて人権教育、同和教育の理解を深める。

受講対象
高等学校教員

研修属性
割当研修

内容等
・人権教育、同和教育の現状と課題
・講演「人権教育、同和教育の現状と課題」
・情報交換

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

70 人権教育、同和教育指導者研修会（高等学校）

研修コード 0050-070　キーワード（70、人権教育、同和教育、指導者）

日程
9月中（1日間）

申込期間
8月中

予定人数
30人

目的
高等学校における人権教育、同和教育の一層の推進を図るため、情報交換及び研究協議を通じて人権教育、同和教育の指導者としての識見を高める。

受講対象
高等学校長・副校長・教頭

研修属性
割当研修

内容等
・人権教育、同和教育の現状と課題
・講演「人権教育、同和教育の現状と課題」
・情報交換

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

71 人権教育、同和教育担当者会議（高等学校）

研修コード 250050-071　キーワード（71、人権教育、同和教育、担当者）

日程
5月23日（1日間）

申込期間
4月22日～5月13日

予定人数
90人

目的
高等学校における人権教育、同和教育の一層の推進を図るため、情報交換及び研究協議を通じて実践的指導力の向上を図る。

受講対象
高等学校教員

研修属性
割当研修

内容等
・人権教育、同和教育の現状と課題
・講演「人権教育、同和教育の現状と課題」
・情報交換

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

72 生徒指導上の諸課題に関する対応力向上研修

研修コード 253010-072　キーワード（72、生徒指導、対応力向上）

日程
1日目：7月23日～8月21日、
2日目：8月22日（2日間）

申込期間
4月7日～5月23日

予定人数
210人

目的
いじめ、不登校、ヤングケアラー、情報モラル等の現状と課題について理解を深め、校種を超えてその対応策について話し合うことをとおして、問題解決に向けた組織的対応力の向上を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校副校長、教頭

研修属性
割当研修

内容等
（研修1日目）【オンライン型（オンデマンド）】
・講義「いじめの現状と課題」
・講義「不登校の現状と課題」
・講義「ヤングケアラーの現状と課題」
・講義「情報モラルの現状と課題」
（研修2日目）【オンライン型（ライブ）】
・協議「各校の課題予防的生徒指導の取組①②」

研修形態
オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
受講者勤務校

研修主体
県立教育センター、生徒指導課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

72 生徒指導上の諸課題に関する対応力向上研修

研修コード 253010-072　キーワード（72、生徒指導、対応力向上）

日程
1日目：7月23日～8月21日、
2日目：8月22日（2日間）

申込期間
－

予定人数
30人

目的
いじめ、不登校、ヤングケアラー、情報モラル等の現状と課題について理解を深め、校種を超えてその対応策について話し合うことをとおして、問題解決に向けた組織的対応力の向上を図る。

受講対象
幼稚園・こども園副園長、教頭

研修属性
希望研修

内容等
（研修1日目）【オンライン型（オンデマンド）】
・講義「いじめの現状と課題」
・講義「不登校の現状と課題」
・講義「ヤングケアラーの現状と課題」
・講義「情報モラルの現状と課題」
（研修2日目）【オンライン型（ライブ）】
・協議「各校の課題予防的生徒指導の取組①②」

研修形態
オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
受講者勤務校

研修主体
県立教育センター、生徒指導課

備考
幼稚園・こども園の申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

73 管理職対象いじめ対策研修会

研修コード 250090-073　キーワード（73、管理職、いじめ対策）

日程
6月下旬（予定）（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
106人

目的
組織としての適切な対応が求められるいじめ事案に対し、マネジメントを行なう立場である管理職を対象に、いじめの認知もれや重大事態発生の防止等に関する理解を促し、組織的対応力の向上を図る。

受講対象
高等学校・県立特別支援学校 校長

研修属性
悉皆研修

内容等
・いじめ問題・事例等に関する講義
・いじめの組織的対応についての協議・演習

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
生徒指導課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

74 いじめ見逃しゼロ・不登校対応研修

研修コード 250090-074　キーワード（74、いじめ見逃しゼロ）

日程
5月27日～29日（3日間）

申込期間
5月中

予定人数
1079人

目的
不登校、いじめ等問題行動の解消及び未然防止に向けて、生徒指導と特別活動の関連を図った取組等に関する知見を深めることで、生徒指導担当教員の指導力及び実践力の向上を図る。

受講対象
小・中・義務教育学校・市立特別支援学校管理職、教諭 県立中等教育学校前期課程・特別支援学校管理職、教諭

研修属性
悉皆研修

内容等
・新潟県の生徒指導の現状と課題
（いじめの定義の正しい理解）
・「いじめ重大事態の調査に関するガイドライン」の解説
・「新潟県いじめ対応総合マニュアル」等の活用
・校内教育支援センターモデル校事業実践発表

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（Zoom）

研修主体
生徒指導課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
				○	○	○

75 薬物乱用防止教育指導者研修会

研修コード 250070-075　キーワード（75、薬物、薬物乱用、薬物乱用防止）

日程
12月9日（1日間）

申込期間
10月中

予定人数
150人

目的
青少年による薬物事犯の急激な増加や低年齢化が大きな社会問題や健康問題となっている。本県の児童生徒が薬物に対する正しい認識と適切な行動がとれるよう、薬物乱用防止教育の充実に資するため、指導者を対象とした研修会を開催する。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教諭、養護教諭等

研修属性
希望研修

内容等
・薬物乱用防止教育の現状と課題
・学校薬剤師としての取組、実践
・薬物犯罪の現状と対策について
・県が実施する薬物乱用防止啓発事業について

研修形態
オンライン型（ライブ）

会場
受講者勤務校（Zoom）

研修主体
保健体育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

76 生徒指導に係る加配教員研修会

研修コード 250090-076　キーワード（76、生徒指導、加配）

日程
各地区の案内による（1日間）

申込期間
各地区の案内による

予定人数
123人

目的
生徒指導に係る加配教員を対象に、加配教員の役割、生徒指導の現状と取組等についての情報交換等を通して、加配教員としての指導力・対応力の向上を図る。

受講対象
小・中・義務教育学校の生徒指導に係る加配教員、市町村教育委員会指導主事等

研修属性
割当研修

内容等
・生徒指導の現状と課題、県の取組
・加配教員の役割、業務の進捗状況
・不登校やいじめ等の対応の在り方　他

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
生徒指導課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

77 「多様な学び」に関する関係機関代表者会議

研修コード 250090-077　キーワード（77、多様な学び、代表者会議）

日程
6月下旬、11月中旬の2回（2日間）

申込期間
5～6月、10～11月

予定人数
155人

目的
不登校児童生徒の多様な学びの在り方について、関係機関の代表者等による情報交換及び協議を通して、学校と関係機関の連携を強化する。

受講対象
教育支援センター指導員、市町村教育委員会指導主事、不登校加配教員、民間団体関係者等

研修属性
指名研修

内容等
・県内の不登校児童生徒の現状と課題
・「はつらつ体験塾」の取組
・教育支援センター、市町村教育委員会の実践発表
・民間団体による実践発表
・学校と関係団体のグループ協議

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
指定された会場

研修主体
生徒指導課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		○

78 高等学校等生徒指導連絡協議会

研修コード 250090-078　キーワード（78、高等学校、生徒指導）

日程
6月19日（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
93人

目的
高等学校等の生徒指導上の課題について幅広い知識と態度および技能を身に付け、その資質や指導力の向上を図る。

受講対象
高等学校教諭

研修属性
指名研修

内容等
・当面する生徒指導上の課題等
・生徒指導上の課題等に関するグループ協議、情報交換

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
生徒指導課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○	○		

79 児童生徒の自殺予防に関する普及啓発協議会

研修コード 250090-079　キーワード（79、自殺予防、生徒指導）

日程
7月4日（1日間）

申込期間
6月6日～6月20日

予定人数
300人

目的
＜文部科学省共催による北陸ブロック会場として開催予定＞
児童生徒の自殺予防等に関する対応について周知するとともに、講義、演習等を通じて基礎的、実践的な知識を深め、各学校、地域における児童生徒の自殺予防等に資する取組を推進する。

受講対象
小・中・高等学校・特別支援学校・教諭・養護教諭等

研修属性
割当研修
希望研修

内容等
・自殺予防に関する文部科学省の行政説明
・自殺予防に関する講義

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
県立教育センター

研修主体
生徒指導課

備考
文部科学省主催

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○	○	○	

80 自殺予防に係る研修会

研修コード 250090-080　キーワード（80、自殺予防、研修会）

日程
6月（予定）（1日間）

申込期間
5～6月

予定人数
100人

目的
自殺予防の取組強化のために、自殺予防に係る教職員の知識等の向上、校内における自殺予防に係る共通認識の形成と強化を図る。

受講対象
高等学校管理職・教諭・養護教諭等

研修属性
割当研修
希望研修

内容等
・自殺予防に関する理解と対応等
・RAMPSの使い方等に関する説明等

研修形態
オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
受講者勤務校（Zoom）

研修主体
生徒指導課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
				○	○	○

81 いじめ・不登校対策に関する研修会

研修コード 250090-081　キーワード（81、いじめ・不登校対策）

日程
5月14日（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
120人

目的
いじめ防止対策推進法、いじめ防止基本方針等に基づく対応、重大事態への対応について留意すべき点を考察することで、いじめの防止および適切な対応に関する資質の向上を図る。学校組織としての不登校対策、効果的な未然防止の取組に関する体制づくりを研修する。

受講対象
高等学校・県立特別支援学校等担当教員

研修属性
指名研修

内容等
＜オンライン型＞
・法令等に基づく対応
・重大事態への対応
・不登校の未然防止への取組

研修形態
オンライン型

会場
受講者勤務校（Zoom）

研修主体
生徒指導課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○	○		

82 「いじめ」の理解と対応講座

研修コード 253010-082　キーワード（82、いじめ、理解と対応）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの定義等に関するガイドラインについて理解するとともに、具体的な場面を挙げながら、いじめの理解やとらえ方について理解を深め、いじめの早期発見の対応やかかわり方等を学び、対応力の向上を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校 校長等、教諭等、実習助手、寄宿舎指導員、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
【オンライン型（オンデマンド）】
・いじめのとらえ方と予防 【NITS動画】
　講師 日本大学 教授 藤平 敦
・いじめの早期発見のために【動画】
　講師 上越教育大学いじめ・生徒指導研究研修センター長 高橋 知己

＊校内教職員研修として活用できる。

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

83 ゲートキーパー研修1

研修コード 253010-083　キーワード（83、ゲートキーパー）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
児童生徒の自殺における原因や危険因子、特徴、背景といった現状を踏まえ、自殺の危険の高い児童生徒の見きわめ方、支援の実際や支え方、これからの自殺予防教育の方向性について理解する。

受講対象
小・中・高・特別支援学校 校長等、教諭等、実習助手、寄宿舎指導員、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
【オンライン型（オンデマンド）】
①基礎編【NITS動画】
・自殺予防（前編）
・自殺予防（後編）
講師 関西外国語大学 教授 新井 肇

＊校内教職員研修として活用できる。

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

83 ゲートキーパー研修2

研修コード 253010-083　キーワード（83、ゲートキーパー）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
児童生徒の自殺における原因や危険因子、特徴、背景といった現状を踏まえ、自殺の危険の高い児童生徒の見きわめ方、支援の実際や支え方、これからの自殺予防教育の方向性について理解する。

受講対象
小・中・高・特別支援学校 校長等、教諭等、実習助手、寄宿舎指導員、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
【オンライン型（オンデマンド）】
②個人スキル編【NITS動画】
・ゲートキーパー研修《個人スキル編1》
・ゲートキーパー研修《個人スキル編2》
講師 いのち支える自殺対策推進センター子ども・若者自殺対策室 松田 芳明

＊校内教職員研修として活用できる。

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

84 キャリア教育指導者研修会

研修コード 250040-084　キーワード（84、キャリア教育、指導者研修、アントレプレナーシップ）

日程
1月（1日間）

申込期間
12月

予定人数
100人

目的
市町村教育委員会のキャリア教育担当指導主事や小・中・義務教育・特別支援学校のキャリア教育担当者が、「キャリア教育」に関する取組について理解を深め、キャリア教育の在り方を考える。

受講対象
小・中・高等学校教諭　市町村教育委員会指導主事

研修属性
希望研修

内容等
・学習指導要領で目指されているキャリア教育の理解
・キャリア教育の充実に向けた実践事例
・アントレプレナーシップ教育に関する事例紹介

研修形態
オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
受講者勤務校（Zoom）

研修主体
義務教育課

備考
市町村教委担当者は参加

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○	○	○	○

85 アントレプレナーシップ（起業家精神）を育むキャリア教育推進講座

研修コード 253010-085　キーワード（85、アントレプレナーシップ、アントレ、起業家精神、キャリア教育）

日程
6月26日（1日間）

申込期間
4月7日～5月23日

予定人数
35人

目的
キャリア教育を担当する教員が、アントレプレナーシップ教育について理解するとともに現状や課題を把握し、各学校における指導に生かす具体的方法を学ぶとともに、各校におけるキャリア教育で育む資質能力を整理し、キャリア教育の計画の見直しを図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教員（キャリア教育担当者が望ましい）

研修属性
希望研修

内容等
・講義・演習「キャリア教育で育むアントレプレナーシップ（起業家精神）」
　立命館小学校　教諭 正頭 英和
・実践発表「アントレプレナーシップ教育の実際」
　先進的な取組を行っている学校による発表
・協議「アントレプレナーシップ教育の実施計画」
　校種・地域に分かれて協議する。

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

86 アントレプレナーシップ教育研修会（高等学校）

研修コード 250050-086　キーワード（86、アントレ）

日程
11月28日（1日間）

申込期間
11月5日～19日

予定人数
120人

目的
アントレプレナーシップ教育について理解するとともに現状や課題を把握し、各学校における指導に生かす具体的方法を学ぶ。

受講対象
高等学校教諭

研修属性
割当研修

内容等
講義、講演、実施報告

研修形態
オンライン型

会場
受講者勤務校（Zoom）

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		

87 新任特別支援学級担任教員研修

研修コード 253010-087　キーワード（87、新任、特別支援）

日程
1日目：4月24日～5月23日、2日目：9月9日、9月11日、3日目：11月12日、14日、18日、20日（3日間）

申込期間
申込不要

予定人数
260人

目的
特別支援学級に関する法令に基づき、在籍児童生徒に合わせた教育課程を編成し実施することについて、「特別支援学級ガイドライン」を活用しながら理解を深めるとともに、様々な障害についての知識と障害特性に応じた指導方法について講義や演習を行い、新たに特別支援学級を担任する教員の資質・能力の向上を図る。

受講対象
初めて特別支援学級を担任する小・中学校教諭

研修属性
指名研修

内容等
（研修1日目）【オンライン型（オンデマンド）】
・講義：特別支援学級の教育について、障害特性の理解と支援、個別の教育支援計画と個別の指導計画、自立活動の指導
・実践発表：小学校・中学校特別支援学級の指導の実際
（研修2日目）【オンライン型（ライブ）】
・実践発表・協議：自立活動における目標設定と支援について
（研修3日目）【集合型】
・実践発表・協議：自立活動の実践

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
各教育委員会からの受講該当者調査を基にセンターが指名するため申込不要

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		○

88 特別支援教育コーディネーター研修

研修コード 253010-088　キーワード（88、特別支援、コーディネーター）

日程
5月9日、6月10日、7月25日、4日目：12月1日、12月4日（4日間）

申込期間
申込不要

予定人数
89人

目的
特別支援教育の推進のため、特別支援教育コーディネーターの役割、校内の組織的取組等に係る講義・発表・研究協議等を通して、特別支援教育コーディネーターとしての資質・能力の向上を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教諭、養護教諭

研修属性
指名研修

内容等
（研修1日目）【集合型】
講義：特別支援教育コーディネーター概論、本県の特別支援教育の現状と課題、協議
（研修2日目）【オンライン型（ライブ）】
講義：アセスメントを活用した配慮や支援の実際、実践発表
（研修3日目）【オンライン型（ライブ）】
講義：保護者との協働をするために、福祉制度の理解と利用
（研修4日目）【集合型】
講義：自立と社会参加に向けた支援と課題、実践発表および協議

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
各教育委員会等からの受講該当者調査を基にセンターが指名するため申込不要

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○	○		

89 適切な合理的配慮の提供の在り方に関する研修

研修コード 250040-089　キーワード（89、合理的配慮）

日程
校長 9月上旬（1日）、教頭 7月上旬（1日）（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
75人

目的
特別支援教育のセンター的機能を担っている特別支援学校の校長・教頭に対して、適切な合理的配慮の提供の在り方についての研修を行い、理解促進を図る。

受講対象
特別支援学校の校長、教頭

研修属性
割当研修

内容等
・学校における合理的配慮の考え方の実際
・具体的な相談要請に対する検討

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
校長 9月上旬（1日）教頭 7月上旬（1日）

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

90 日本語指導を必要とする帰国・外国人生徒の支援に関する研修

研修コード 250050-090　キーワード（90、日本語指導、支援）

日程
6月11日（1日間）

申込期間
5月中

予定人数
20人

目的
日本語指導を必要とする生徒に対する指導・支援のあり方、校内組織づくり、関係機関との連携について、研修を通じて教員の指導力の向上、学校支援体制の強化を図る。

受講対象
日本語指導が必要な生徒が在籍している高等学校の校長・副校長・教頭・教諭

研修属性
割当研修

内容等
・外部講師による講義
・指導力向上のための講義、演習
・情報交換

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
				○	○	

91 通級指導等担当研修（言語障害）

研修コード 253010-091　キーワード（91、通級指導、言語障害）

日程
4月18日～5月16日、4月25日、10月10日（3日間）

申込期間
申込不要

予定人数
90人

目的
通級による指導の教育課程の編成、個別の指導計画の作成、指導方法等について講義と協議をとおして理解を深め、通級指導（教室）担当教員としての専門性の向上を図る。

受講対象
小学校教諭

研修属性
指名研修

内容等
（研修1日目）【オンライン型（オンデマンド）】
・講義：通級指導教室の経営、自立活動の指導、自立活動シートの作成について
（研修2日目）【集合型】
・講義・演習：言語障害通級指導の実際①②、協議
（研修3日目）【集合型】
・講義：言語通級児への指導
・実践発表：言語障害通級児への指導について
・協議

研修形態
集合型、オンライン型（オンデマンド）

会場
指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
各教育委員会等からの受講該当者調査及び経験年数等に応じてセンターが指名するため申込不要

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		○

91 通級指導等担当研修（発達障害）

研修コード 253010-091　キーワード（91、通級指導、発達障害）

日程
4月18日～5月16日、4月22日、10月24日（3日間）

申込期間
申込不要

予定人数
90人

目的
通級による指導の教育課程の編成、個別の指導計画の作成、指導方法等について講義と協議をとおして理解を深め、通級指導（教室）担当教員としての専門性の向上を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教諭

研修属性
指名研修

内容等
（研修1日目）【オンライン型（オンデマンド）】
・講義：通級指導教室の経営、自立活動の指導、自立活動シートの作成について
（研修2日目）【オンライン型（ライブ）】
・実践発表：発達障害通級指導の実際、協議
（研修3日目）【集合型】
・講義：発達通級児への指導
・実践発表：発達通級児への指導について
・協議

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
各教育委員会等からの受講該当者調査及び経験年数等に応じてセンターが指名するため申込不要

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		○

91 通級指導等担当研修（難聴）

研修コード 253010-091　キーワード（91、通級指導、難聴）

日程
4月18日～5月16日、4月25日、10月29日（3日間）

申込期間
申込不要

予定人数
90人

目的
通級による指導の教育課程の編成、個別の指導計画の作成、指導方法等について講義と協議をとおして理解を深め、通級指導（教室）担当教員としての専門性の向上を図る。
難聴児に関わる知識と障害特性に応じた指導方法等についての講義や演習を行い、難聴特別支援学級を担任する教員としての専門性の向上を図る。

受講対象
小・中・特別支援学校教諭

研修属性
指名研修

内容等
（研修1日目）【オンライン型（オンデマンド）】
・講義：通級指導教室の経営、自立活動の指導、自立活動シートの作成について
（研修2日目）【集合型】
・講義・演習：難聴の理解と指導の実際①②、協議
（研修3日目）【集合型】
・講義：難聴児への指導
・実践発表：難聴児への指導について
・協議

研修形態
集合型、オンライン型（オンデマンド）

会場
指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
各教育委員会等からの受講該当者調査及び経験年数等に応じてセンターが指名するため申込不要

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		○

92 言語障害・難聴通級指導教室担当者育成研修

研修コード 250040-092　キーワード（92、言語障害、難聴、通級）

日程
未定（6日間）

申込期間
申込不要

予定人数
未定(6)

目的
言語障害・難聴通級指導教室担当教員（○通登録教員）に対し、担当者としての専門的事項について、講義と演習を通して研修を行い、資質能力の向上を図る。

受講対象
言語障害・難聴通級指導教室担当教員（○通登録教員）

研修属性
指名研修

内容等
・言語障害・難聴通級指導の理論と実際
・通級指導教室運営上の留意点

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○			

93 みんなの特別支援教育講座A

研修コード 253010-093　キーワード（93、特別支援教育、発達障害）

日程
5月8日～10月31日（1日間）

申込期間
4月7日～10月30日

予定人数
制限なし

目的
学習面や行動面に困難を抱える子どもへの支援について理解を深め、学校園での適切な指導支援や関係機関との連携等の在り方について学び、特別支援教育を推進するための体制づくりに向けた資質能力の向上を図る。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
・講義：子どもの“これから”を見据えた特別支援教育
神戸女子大学 教授 田中 裕一

＊校内教職員研修として活用できる。

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

93 みんなの特別支援教育講座B

研修コード 253010-093　キーワード（93、特別支援教育、発達障害）

日程
5月8日～10月31日（1日間）

申込期間
4月7日～10月30日

予定人数
制限なし

目的
学習面や行動面に困難を抱える子どもへの支援について理解を深め、学校園での適切な指導支援や関係機関との連携等の在り方について学び、特別支援教育を推進するための体制づくりに向けた資質能力の向上を図る。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
・講義：特別支援教育の視点を活かした授業づくり
明星大学 教授 小貫 悟

＊校内教職員研修として活用できる。

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

93 みんなの特別支援教育講座C

研修コード 253010-093　キーワード（93、特別支援教育、発達障害）

日程
9月25日（1日間）

申込期間
4月7日～8月8日

予定人数
60人

目的
学習面や行動面に困難を抱える子どもへの支援について理解を深め、学校園での適切な指導支援や関係機関との連携等の在り方について学び、特別支援教育を推進するための体制づくりに向けた資質能力の向上を図る。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
・講義・演習：発達障害のある子どもの理解と支援
国立特別支援教育総合研究所 主任研究員 北村 拓也
・実践発表：支援の充実を目指した校内体制づくり
・講義・演習：事例検討の意義と理解

＊Cコース（集合型）はAコースやBコース（オンデマンド型）と合わせて受講することが望ましい。

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

94 県立特別支援学校学校看護師医療的ケア研修会

研修コード 250040-094　キーワード（94、看護師、医療的ケア）

日程
夏期休業中、冬期休業中（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
33人

目的
学校看護師の資質能力の向上を図り、医療的ケアに係る知識や技能の向上を図る。

受講対象
県立特別支援学校学校看護師

研修属性
悉皆研修

内容等
・医療的ケアの現状と課題
・医療的ケアに係る基本的な手技
・医療的ケアの実施体制

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
システムは利用せず、申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

95 障害のある子どもの学びを広げるICT活用講座A

研修コード 253010-095　キーワード（95、障害のある子ども、ICT活用）

日程
7月1日～8月29日（1日間）

申込期間
4月7日～8月22日

予定人数
制限なし

目的
障害のある子どもの学びを広げるためのICT機器やICT教材の活用方法について理解を深める。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
・講義：障害のある子どもの学びを広げるICT活用
香川大学　教授　坂井　聡

※校内教職員研修として活用できる。

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

95 障害のある子どもの学びを広げるICT活用講座B

研修コード 253010-095　キーワード（95、障害のある子ども、ICT活用）

日程
8月26日（1日間）

申込期間
4月7日～6月27日

予定人数
制限なし

目的
障害のある子どもの学びを広げるためのICT機器やICT教材の活用方法について理解を深める。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
・実践発表・協議：ICTを活用した授業づくり
（指導・講評）香川大学　教授　坂井　聡

※1台端末から複数受講可
※ライブ（実践発表編）は、オンデマンド（講義編）と併せての受講が望ましい。
※校内教職員研修として活用できる。

研修形態
オンライン型（ライブ）

会場
受講者勤務校（Zoom）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

95 障害のある子どもの学びを広げるICT活用講座C

研修コード 253010-095　キーワード（95、障害のある子ども、ICT活用）

日程
7月1日～8月29日（1日間）

申込期間
4月7日～8月22日

予定人数
制限なし

目的
障害のある子どもの学びを広げるためのICT機器やICT教材の活用方法について理解を深める。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
・講義：合理的配慮とICT活用
東京農工大学　客員教授　河野　俊寛

※校内教職員研修として活用できる。

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

95 障害のある子どもの学びを広げるICT活用講座D

研修コード 253010-095　キーワード（95、障害のある子ども、ICT活用）

日程
8月28日（1日間）

申込期間
4月7日～6月27日

予定人数
制限なし

目的
障害のある子どもの学びを広げるためのICT機器やICT教材の活用方法について理解を深める。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
・実践発表・協議：ICTを活用した読み書き支援
（指導・講評）東京農工大学　客員教授　河野　俊寛

※1台端末から複数受講可
※ライブ（実践発表編）は、オンデマンド（講義編）と併せての受講が望ましい。
※校内教職員研修として活用できる。

研修形態
オンライン型（ライブ）

会場
受講者勤務校（Zoom）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

96 子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座（高等学校）1

研修コード 253010-096　キーワード（96、教育的ニーズ、高等学校）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
高等学校における子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進するうえで、基本的内容を理解するとともに、発達障害等の特性や、校内支援体制についての知識を学び、特別な配慮や支援を必要とする子供への対応力の向上を図る。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
①発達障害教育コース【オンライン型（オンデマンド）】
高等学校における発達障害のある生徒の指導・支援
高等学校における合理的配慮
高等学校における特別支援教育に関する研修及び授業研究の進め方

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

96 子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座（高等学校）2

研修コード 253010-096　キーワード（96、教育的ニーズ、高等学校）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
高等学校における子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進するうえで、基本的内容を理解するとともに、発達障害等の特性や、校内支援体制についての知識を学び、特別な配慮や支援を必要とする子供への対応力の向上を図る。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
②校内における支援コース【オンライン型（オンデマンド）】
高等学校における校内支援体制づくり
高等学校における特別な配慮を要する生徒への進路指導

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

96 子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座（高等学校）3

研修コード 253010-096　キーワード（96、教育的ニーズ、高等学校）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
高等学校における子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進するうえで、基本的内容を理解するとともに、発達障害等の特性や、校内支援体制についての知識を学び、特別な配慮や支援を必要とする子供への対応力の向上を図る。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
③合理的配慮コース【オンライン型（オンデマンド）】
高等学校に求められる合理的配慮と基礎的環境整備
障害者の権利に関する条約（障害者権利条約）
児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

97 子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座（小・中学校）1

研修コード 253010-097　キーワード（97、教育的ニーズ、小・中学校）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
小・中学校における子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進するうえで、基本的内容を理解するとともに、様々な障害の特性や、校内支援体制についての知識を学び、特別な配慮や支援を必要とする子供への対応力の向上を図る。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
①特別支援学級担任コース【オンライン型（オンデマンド）】
特別支援学級の教育について
障害のある児童生徒に対する指導と評価
自立活動

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

97 子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座（小・中学校）2

研修コード 253010-097　キーワード（97、教育的ニーズ、小・中学校）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
小・中学校における子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進するうえで、基本的内容を理解するとともに、様々な障害の特性や、校内支援体制についての知識を学び、特別な配慮や支援を必要とする子供への対応力の向上を図る。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
②通常の学級担任コースA【オンライン型（オンデマンド）】
特別支援教育総論
通常の学級における個々の子供への指導や支援
発達障害のある子供の通常の学級における支援

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

97 子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座（小・中学校）3

研修コード 253010-097　キーワード（97、教育的ニーズ、小・中学校）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
小・中学校における子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育を推進するうえで、基本的内容を理解するとともに、様々な障害の特性や、校内支援体制についての知識を学び、特別な配慮や支援を必要とする子供への対応力の向上を図る。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
③通常の学級担任コースB【オンライン型（オンデマンド）】
特別支援教育全般～多様な学びの場～
合理的配慮と環境整備
多様な学びの支援

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

98 子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座（特別支援学校）1

研修コード 253010-098　キーワード（98、教育的ニーズ、特別支援学校）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
特別支援学校における子供の教育的ニーズに応じた教育を推進するうえで、基本的内容を理解するとともに、様々な障害の特性や、校内支援体制、センター的機能等についての知識を学び、特別な配慮や支援を必要とする子供への対応力の向上を図る。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
①教育体制コース【オンライン型（オンデマンド）】
特別支援学校の教育について
自立活動の指導について
特別支援学校の地域におけるセンター的機能

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

98 子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座（特別支援学校）2

研修コード 253010-098　キーワード（98、教育的ニーズ、特別支援学校）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
特別支援学校における子供の教育的ニーズに応じた教育を推進するうえで、基本的内容を理解するとともに、様々な障害の特性や、校内支援体制、センター的機能等についての知識を学び、特別な配慮や支援を必要とする子供への対応力の向上を図る。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
②教育実践コース【オンライン型（オンデマンド）】
特別支援教育におけるICTの活用
インクルーシブ教育システムにおける交流及び共同学習
重複障害のある子どものコミュニケーション
強度行動障害の理解

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

98 子供の教育的ニーズに応じた特別支援教育講座（特別支援学校）3

研修コード 253010-098　キーワード（98、教育的ニーズ、特別支援学校）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
特別支援学校における子供の教育的ニーズに応じた教育を推進するうえで、基本的内容を理解するとともに、様々な障害の特性や、校内支援体制、センター的機能等についての知識を学び、特別な配慮や支援を必要とする子供への対応力の向上を図る。

受講対象
幼・小・中・高・特別支援学校校長等、教諭等、寄宿舎指導員、実習助手、養護教諭、栄養教諭

研修属性
希望研修

内容等
③教科指導コースA【オンライン型（オンデマンド）】
知的障害教育における各教科等を合わせた指導
視覚障害教育における教科等の指導とキャリア教育・職業教育
肢体不自由教育の実際

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は実施要項で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

99 プログラミング教育講座

研修コード 253010-099　キーワード（99、プログラミング）

日程
9月26日（1日間）

申込期間
4月7日～7月31日

予定人数
40人

目的
中学校・高等学校における、プログラミング教育を育む資質・能力や学習指導の内容について理解し、指導力の向上を図る。
中学校、高等学校におけるプログラミング教育の演習を通して、プログラミング教育を推進する人材を育成する。

受講対象
中・特別支援学校教員、高等学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義・演習「生成AIを活用したプログラミング」
◆演習（中学校グループ、高等学校グループに分かれて実施）
・中学校：「Micro:bit」を使用したプログラミング
・高等学校：AIを利用したプログラミング

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

100 Google Workspace for Education基礎講座

研修コード 253010-100　キーワード（100、Google、ICT）

日程
5月8日（1日間）

申込期間
4月7日～4月17日

予定人数
20人

目的
Google Workspace for Educationのサービスについて、初級者を対象に、講義・演習をとおして、基礎的な知識・技能の習得を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義・演習「Google Workspace for Education 基礎」
Google Classroom を中心に、Google Workspace for Education の基本的な機能と授業での活用方法を学ぶ。クラスルームの作成や課題の配信、提出物の管理、フィードバックの方法など、実際の授業で役立つ操作を解説する。演習形式で、実践的なスキルを身につける。（初心者の方でも安心して参加できる内容）

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

101 教科横断的探究プロジェクト研修

研修コード 250050-101　キーワード（101、教科横断、STEAM教育、文理融合、探究）

日程
未定（1日間）

申込期間
4月4日～5月31日

予定人数
30人

目的
各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育であるSTEAM教育の推進に向けて、探究的な学びの質を高めるための、指導力の向上を図る。

受講対象
高等学校教員

研修属性
割当研修、希望研修

内容等
外部指導者による講義、グループ協議等

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
高等学校教育課、県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○	○		

102 ロイロノート・スクール基礎講座

研修コード 253010-102　キーワード（102、ロイロノート）

日程
5月13日（1日間）

申込期間
4月7日～4月28日

予定人数
20人

目的
ロイロノート・スクールのサービスについて、講義・演習をとおして、基礎的な知識と技能の習得を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
講義・演習「ロイロノート・スクール 基礎」
ロイロノートの基本操作から授業への具体的な活用方法まで、演習形式で学ぶ。実際の授業を想定した体験を通して、ICTを活用した効果的な授業設計のヒントを得られる内容である。

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

103 MetaMoJi ClassRoom基礎講座

研修コード 253010-103　キーワード（103、MetaMoJi ClassRoom）

日程
7月1日（1日間）

申込期間
4月7日～6月17日

予定人数
20人

目的
MetaMoJi ClassRoom のサービスについて、初級者を対象に講義・演習をとおして、基礎的な知識と技能の習得を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
講義・演習「MetaMoJi ClassRoom 基礎」
MetaMoJi ClassRoom の基本的な操作方法から授業での活用方法までを学ぶ内容である。実際の授業を想定した演習形式で、ICTを活用した効果的な指導方法のヒントを得る演習を行う。

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

104 校内ICT活用促進講座Ⅰ（理論編）

研修コード 253010-104　キーワード（104、ICT、理論編）

日程
6月2日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
授業におけるICTの効果的な活用方法について理解を深めるとともに、校内ICT研修の企画・運営や他の職員をサポートするための資質の向上を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義「学校におけるICT活用の現状と課題」
高等学校教育課指導主事
◆講義・演習「校内におけるICTの効果的な活用方法について」
上越教育大学附属中学校 教諭 大崎　貢
◆講義「授業におけるICT活用 ～校内研修の改善～」
熊本市教育センター 主任指導主事 前田 康裕
※講師の所属・職名は動画作成当時のもの。

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
ICT担当者でなくとも受講可能。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

105 校内ICT活用促進講座Ⅱ（実践編）

研修コード 253010-105　キーワード（105、ICT、実践編）

日程
6月25日（1日間）

申込期間
4月7日～6月4日

予定人数
30人

目的
授業におけるICTの効果的な活用方法について理解を深めるとともに、校内ICT研修の企画・運営や他の職員をサポートするための具体的方策を考察する。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
協議「校内におけるICT活用の現状と課題等について」

※令和6年度または7年度の「校内ICT活用促進講座Ⅰ（理論編）」の受講修了者が対象。今年度、Ⅰ（理論編）を受講する者は、6月16日（月）までに受講修了すること。

研修形態
オンライン型（ライブ）

会場
受講者勤務校（Zoom）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

106 探究学習に活かすデータサイエンス講座Ⅰ

研修コード 253010-106　キーワード（106、データサイエンス、探究、分析、総合、地理、数学、理科、情報、統計、データ、活用）

日程
8月5日（1日間）

申込期間
4月7日～6月27日

予定人数
30人

目的
データの収集、分析、エビデンスに基づいた説明など、課題解決の手法等について理解を深め、探究活動を促進するための指導力向上を図る。

受講対象
中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
ArcGISを使用したデータサイエンス教育について
・ArcGISとは
・全国の学校での探究学習等での活用事例
・ArcGISのを使用した演習をとおして使用方法を学ぶ

ArcGIS

Exploratoryを使用したデータの分析演習（基礎編）
・アンケートデータを題材にして分析の基礎を学ぶ

Exploratory

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター、高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

107 探究学習に活かすデータサイエンス講座Ⅱ

研修コード 253010-107　キーワード（107、データサイエンス、探究、分析、総合、数学、情報、理科、統計、データ、活用）

日程
8月6日（1日間）

申込期間
4月7日～6月27日

予定人数
40人

目的
データの収集、分析、エビデンスに基づいた説明など、課題解決の手法等について理解を深め、探究活動を促進するための指導力向上を図る。

受講対象
中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
Exploratoryを使用したデータの分析演習（応用編）
「探究学習に活かすデータサイエンス講座Ⅰ」を受講してからが望ましい。

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター、高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

108 生成AI活用講座

研修コード 253010-108　キーワード（108、生成AI、AI、探究、総合、情報）

日程
7月30日（1日間）

申込期間
4月7日～6月20日

予定人数
40人

目的
生成AIの基本概念を理解し、校務や授業での活用方法を学ぶ。
また、生成AIを利用して授業の質を向上させる方法を探る。

受講対象
中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆生成AIのしくみ
◆学校現場での利用について
・教職員の効果的な校務での利用方法
・学習活動での効果的な利用方法
◆実践ワークショップ

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

109 校務ICT基礎講座

研修コード 253010-109　キーワード（109、NEIN、Google、セキュリティポリシー、ICT）

日程
5月29日（1日間）

申込期間
4月～5月

予定人数
制限なし

目的
NEINの構成や学校で扱うICT機器及びシステム、アプリケーション、情報セキュリティ等に関する基礎的事項について理解を深め、ICT活用の基盤となる知識を有する教員を育成する。機器の運用やシステム、アプリケーションの設定等について校内で相談し合える関係作りを奨励し、ICT活用の一層の推進を目指す。

受講対象
中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
NEIN体系（回線及びシステムの構成）
NEINに接続するデバイスの運用管理
各種システムのアカウント設定及び管理
情報セキュリティポリシーの遵守
学校事例紹介、課題協議

研修形態
オンライン型（ライブ）

会場
受講者勤務校（Zoom）

研修主体
総務課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

110

［新潟大学理学部連携］探究的な学びに向けた授業づくり講座（高等学校）数学

研修コード 253010-110　キーワード（110、数学、探究、オンデマンド、高校）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～1月30日

予定人数
制限なし

目的
学習指導要領の趣旨と、本県高等学校数学教育の実態を踏まえ、新潟大学理学部と連携し、高大接続や学力向上につながる授業の在り方について、探究的な学びを通じた教科指導力の向上を図る。

受講対象
高等学校・中学校数学教員

研修属性
希望研修

内容等
◆高等学校数学の探究的な学びに向けた授業提案
・県内の高等学校数学教諭と新潟大学教授等で作成した数学の探究的な学びに向けた授業提案
◆講座作成に関わる協力者
新潟大学理学部教授等
羽鳥　理、田中　環、小島　秀雄、三浦　毅、大井　志穂
高等学校教諭
西條　和久、佐藤　喜昭、堀越　康裕

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

111

校長研修会

研修コード 250050-111　キーワード（111、校長研修）

日程
9月5日（1日間）

申込期間
7月～8月

予定人数
90人

目的
学習指導要領が着実に実施されるようにするため、高等学校学習指導要領に関する趣旨・内容及び生徒の学習評価の在り方について理解を深めるとともに、各校における新学習指導要領が目指す理念の実現方策について研究協議を行う。

受講対象
高等学校長

研修属性
割当研修

内容等
◆講義、研究協議
◆学習指導要領に関する研修
◆各校における取組をもとに協議

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

112

小・中・特別支援学校新任校長、幼稚園新任園長研修

研修コード 253010-112　キーワード（112、新任校長、新任園長）

日程
5月21日、7月24日～8月29日、10月2日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
120人

目的
特色ある学校づくりを進めるため、学校経営における組織マネジメントの考え方や、危機管理の在り方について理解を深め、校園長としての資質・能力の向上を図る。

受講対象
小・中・特別支援学校新任校長

研修属性
指名研修

内容等
（研修1日目）【集合型】令和7年5月21日（水）
Web会議システムを活用し、上越、中越、下越、佐渡地区の4会場同時開催
◆講話、講義、演習・協議
（研修2日目前半）【オンライン型（オンデマンド）】受講期間：令和7年7月24日（木）～8月29日（金）
◆講義「教職員のメンタルヘルス」【動画】
（研修2日目後半）【オンライン型（ライブ）】令和7年10月2日（木）
◆協議「教職員が育つ学校運営2」

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
県立教育センター、他の指定された会場、受講者勤務校（Zoom）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

112 小・中・特別支援学校新任校長、幼稚園新任園長研修

研修コード 253010-112　キーワード（112、新任校長、新任園長）

日程
5月21日、7月24日～8月29日、10月2日（2日間）

申込期間
－

予定人数
制限なし

目的
特色ある学校づくりを進めるため、学校経営における組織マネジメントの考え方や、危機管理の在り方について理解を深め、校園長としての資質・能力の向上を図る。

受講対象
市町村立及び私立幼稚園新任園長

研修属性
希望研修

内容等
（研修1日目）【集合型】令和7年5月21日（水）
Web会議システムを活用し、上越、中越、下越、佐渡地区の4会場同時開催
◆講話、講義、演習・協議
（研修2日目前半）【オンライン型（オンデマンド）】受講期間：令和7年7月24日（木）～8月29日（金）
◆講義「教職員のメンタルヘルス」【動画】
（研修2日目後半）【オンライン型（ライブ）】令和7年10月2日（木）
◆協議「教職員が育つ学校運営2」

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
県立教育センター、他の指定された会場、受講者勤務校（Zoom）

研修主体
県立教育センター

備考
幼稚園の申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

113 高等学校新任校長研修

研修コード 253010-113　キーワード（113、高等学校、新任校長）

日程
5月16日、10月10日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
12人

目的
特色ある学校づくりを進めるため、高等学校教育における今日的な課題、組織マネジメントの考え方や危機管理の在り方について総合的に理解を深め、校長としての資質・能力の向上を図る。

受講対象
高等学校新任校長

研修属性
指名研修

内容等
（研修1日目）令和7年5月16日（金）
◆「本県高等学校教育の現状と課題」
◆「今必要とされる生徒指導の在り方について」
◆「学校経営の実際ー働き方改革の取組ー」 等
（研修2日目）令和7年10月10日（金）
◆「リーダーシップとマネジメントー民間企業の組織経営ー」
◆「危機対応研修」 等

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

114 副校長・教頭研修会

研修コード 250050-114　キーワード（114、副校長・教頭研修）

日程
11月25日（1日間）

申込期間
10月中

予定人数
120人

目的
学習指導要領について理解を深めるとともに、令和7年度新潟県高等学校入学者選抜事務について周知徹底を図り、厳正な入学者選抜に資する。

受講対象
高等学校副校長・教頭

研修属性
割当研修

内容等
◆講義、説明、グループ協議
学習指導要領に関する研修
高等学校入学者選抜に関する研修

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

115 幼・小・中・特別支援学校新任教頭研修

研修コード 253010-115　キーワード（115、新任教頭）

日程
5月14日、7月24日～8月29日、10月7日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
90人

目的
校園長の補佐役としての教頭の在り方と組織マネジメントについて理解を深め、学校・園を活性化していくための教頭としての資質・能力の向上を図る。

受講対象
小・中・特別支援学校新任教頭

研修属性
指名研修

内容等
（研修1日目）【集合型】令和7年5月14日（水）
Web会議システムを活用し、上越、中越、下越、佐渡地区の4会場同時開催
◆講話、講義、演習・協議
（研修2日目前半）【オンライン型（オンデマンド）】令和7年7月24日（木）～8月29日（金）
◆講義「教職員のメンタルヘルス」【動画】
（研修2日目後半）【オンライン型（ライブ）】令和7年10月7日（火）
◆協議「学校運営の現状と課題2」

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
県立教育センター、他の指定された会場、受講者勤務校（Zoom）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

115 幼・小・中・特別支援学校新任教頭研修

研修コード 253010-115　キーワード（115、新任教頭）

日程
5月14日、7月24日～8月29日、10月7日（2日間）

申込期間
－

予定人数
制限なし

目的
校園長の補佐役としての教頭の在り方と組織マネジメントについて理解を深め、学校・園を活性化していくための教頭としての資質・能力の向上を図る。

受講対象
市町村立及び私立幼稚園教頭・副園長、教頭・副園長の職がない場合はそれに準ずる職に今年度新たに就いた教諭

研修属性
希望研修

内容等
（研修1日目）【集合型】令和7年5月14日（水）
Web会議システムを活用し、上越、中越、下越、佐渡地区の4会場同時開催
◆講話、講義、演習・協議
（研修2日目前半）【オンライン型（オンデマンド）】令和7年7月24日（木）～8月29日（金）
◆講義「教職員のメンタルヘルス」【動画】
（研修2日目後半）【オンライン型（ライブ）】令和7年10月7日（火）
◆協議「学校運営の現状と課題2」

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
県立教育センター、他の指定された会場、受講者勤務校（Zoom）

研修主体
県立教育センター

備考
幼稚園の申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

116 高等学校新任教頭研修

研修コード 253010-116　キーワード（116、高等学校、新任教頭）

日程
5月23日、10月17日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
18人

目的
教頭としての職務と、本県高等学校教育の今日的な課題、組織マネジメントの考え方を生かした学校経営の在り方等について総合的に理解を深め、教頭としての資質・能力の向上を図る。

受講対象
高等学校新任教頭

研修属性
指名研修

内容等
（研修1日目）令和7年5月23日（金）
◆「本県高等学校教育の現状と課題」
◆「今必要とされる生徒指導の在り方について」
◆「働き方改革に向けた教頭の役割について」 等
（研修2日目）令和7年10月17日（金）
◆「組織づくりについて」
◆「特別支援教育の推進」 等

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

117 学校管理職マネジメント研修（幼・小・中・特別支援学校）

研修コード 253010-117　キーワード（117、マネジメント、幼・小・中・特）

日程
9月24日～10月24日（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
1060人

目的
特色ある学校づくりを進めるため、学校経営における、組織マネジメントの考え方や危機管理の在り方等について理解を深め、管理職としての資質・能力の向上を図る。

受講対象
小・中・特別支援学校校長・副校長・教頭

研修属性
指名研修

内容等
【オンライン型（オンデマンド）】
◆講話「開講にあたって」
義務教育課長
◆講義「本県義務教育の今日的課題」
義務教育課管理主事
◆講義「特別支援教育について」
常葉大学 特任教授 笹森 洋樹

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

117 学校管理職マネジメント研修（幼・小・中・特別支援学校）

研修コード 253010-117　キーワード（117、マネジメント、幼・小・中・特）

日程
9月24日～10月24日（1日間）

申込期間
－

予定人数
制限なし

目的
特色ある学校づくりを進めるため、学校経営における、組織マネジメントの考え方や危機管理の在り方等について理解を深め、管理職としての資質・能力の向上を図る。

受講対象
市町村立及び私立幼稚園の園長・副園長・教頭

研修属性
希望研修

内容等
【オンライン型（オンデマンド）】
◆講話「開講にあたって」
義務教育課長
◆講義「本県義務教育の今日的課題」
義務教育課管理主事
◆講義「特別支援教育について」
常葉大学 特任教授 笹森 洋樹

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
幼稚園の申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

118 学校管理職マネジメント研修（高等学校等）

研修コード 253010-118　キーワード（118、マネジメント、高等学校）

日程
7月18日～8月29日（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
192人

目的
特色ある学校づくりを進めるため、学校経営における組織マネジメントの考え方等について総合的に理解を深め、管理職としての資質・能力の向上を図る。

受講対象
高等学校・中等教育学校（前期課程の教頭を除く）の管理職、高等特別支援学校の校長

研修属性
指名研修

内容等
【オンライン型（オンデマンド）】
◆講義「教職員のメンタルヘルスと管理職の対応」
福利課 健康管理係
◆講義「特別支援教育の推進について」
常葉大学 特任教授 笹森 洋樹

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

119 新採用教職員配置校管理職研修講座

研修コード 250040-119　キーワード（119、新採用教職員配置校管理職）

日程
5月15日、11月27日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
未定

目的
管理職自らが新採用教職員の業務や心身の状況を確認しながら、サポートしていくために必要な配慮事項や指導事項について知見を得ることで、新採用教職員の力量形成を図る。

受講対象
小学校・中学校・特別支援学校・義務教育学校の校長・副校長・教頭

研修属性
指名研修

内容等
◆講義、協議
◆実践発表と情報交換

研修形態
オンライン型（ライブ）

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

120 食物アレルギー対応体制研修（高等学校）

研修コード 250070-120　キーワード（120、食物アレルギー）

日程
7月～2月（1日間）

申込期間
7月～2月

予定人数
制限なし

目的
県立高校における食物アレルギー事故を防ぎ、生徒が安全・安心な学校生活を送るため、各学校の組織体制づくりを支援する。
食物アレルギー対応委員会の設置推進を支援する。

受講対象
高等学校管理職

研修属性
割当研修

内容等
◆講義、講演
具体的な事故防止策、食物アレルギー発症時の対応周知
食物アレルギー対応委員会の設置推進について

研修形態
オンデマンド

会場
受講者勤務校（オンライン研修）

研修主体
保健体育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
					○	

121 養護教諭健康相談講座

研修コード 253010-121　キーワード（121、養護教諭、健康相談）

日程
9月5日、10月22日（2日間）

申込期間
4月7日～8月22日

予定人数
20人

目的
多様化する児童生徒の心の問題に的確に対応するため、講義及び演習をとおして保健室における健康相談に必要な専門的知識の習得と相談技術の向上を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校養護教諭

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、協議、演習
（研修1日目）【集合型】
講義「児童生徒の心の健康と精神症状の理解」
講義・演習「心理的問題を抱える児童生徒への理解と対応」
（研修2日目）【集合型】
講義・演習「健康相談の進め方」

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		

122 養護教諭のための学校保健マネジメント講座

研修コード 253010-122　キーワード（122、養護教諭、ミドルリーダー）

日程
10月28日、10月29日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
10人

目的
現代的健康課題についての専門的知識と、ミドルリーダーとして課題の解決に向けて組織に働き掛ける力（マネジメント力）を身に付け、学校や地域において中核的な役割を果たす養護教諭を育成する。

受講対象
小・中・高・特別支援学校養護教諭

研修属性
指名研修

内容等
◆講義、実践発表、演習
（研修1日目）【集合型】
講義「養護教諭ミドルリーダーの役割」・「学校保健マネジメント」
演習「健康相談における学校保健マネジメント」
（研修2日目）【集合型】
演習「学校・地域におけるミドルリーダーの役割」
講義「学校・地域の中核となるために」

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
				○		

122 養護教諭のための学校保健マネジメント講座

研修コード 253010-122　キーワード（122、養護教諭、ミドルリーダー）

日程
10月28日、10月29日（2日間）

申込期間
4月7日～9月19日

予定人数
10人

目的
現代的健康課題についての専門的知識と、ミドルリーダーとして課題の解決に向けて組織に働き掛ける力（マネジメント力）を身に付け、学校や地域において中核的な役割を果たす養護教諭を育成する。

受講対象
小・中・高・特別支援学校養護教諭

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、実践発表、演習
（研修1日目）【集合型】
講義「養護教諭ミドルリーダーの役割」・「学校保健マネジメント」
演習「健康相談における学校保健マネジメント」
（研修2日目）【集合型】
演習「学校・地域におけるミドルリーダーの役割」
講義「学校・地域の中核となるために」

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
				○		

123 食育運営研修会

研修コード 250070-123　キーワード（123、食育、運営研修）

日程
11月7日（1日間）

申込期間
10月中

予定人数
100人

目的
学校における食育の充実を目指し、栄養教諭、学校栄養職員等の関係者の資質・能力の向上を図る。

受講対象
小・中・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、管理職、市町村教育委員会担当職員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、講演
学校における食育、学校給食におけるリスクマネジメント

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
保健体育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	○

124 中堅教諭等資質向上研修（学校栄養職員）

研修コード 250070-124　キーワード（124、中堅、学校栄養職員）

日程
5月12日、12月25日、専門研修8月28日・29日（5日間）

申込期間
申込不要

予定人数
2人

目的
中堅学校栄養職員として、指導的役割を担うことができるよう、高度な専門的知識や技能を習得し、指導力の向上を図る。

受講対象
職務経験13年目学校栄養職員

研修属性
悉皆研修

内容等
◆講義、実践発表、研究協議
学校における食育、衛生管理・栄養管理、授業研修、食物アレルギー対応

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
指定された会場

研修主体
保健体育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○			

125 教務主任研修会

研修コード 0050-125　キーワード（125、教務主任）

日程
10月15日（1日間）

申込期間
9月中

予定人数
90人

目的
高等学校及び中等教育学校の教務主任を対象に、学習指導要領の趣旨及び内容等の周知・徹底を図るとともに、教育関係法規について理解を深めることにより、各校の教育活動等の充実と、円滑な校務運営を図る。

受講対象
高等学校教務主任

研修属性
割当研修

内容等
◆講演、講話
・学習指導要領の趣旨等・教育関係法規
・学習指導要領実施における課題

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

126 進路指導改善協議会

研修コード 0050-126　キーワード（126、進路指導、協議会）

日程
7月17日（1日間）

申込期間
6月中

予定人数
102人

目的
高等学校及び中等教育学校後期課程の進路指導主事を対象として、高大接続改革等についての理解を深め、情報交換及び協議等を行うことにより、各校の進路指導の一層の充実を図る。

受講対象
高等学校進路指導主事

研修属性
割当研修

内容等
◆講義、実践発表、グループ協議
・学校の進路指導改善に向けて
・高大接続改革に係る国の方針等の周知

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

127 小・中・特別支援学校新任主幹教諭研修

研修コード 253010-127　キーワード（127、新任主幹教諭）

日程
5月8日（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
20人

目的
主幹教諭としての職務、今日的課題、組織マネジメントの考え方等について総合的に理解を深め、主幹教諭としての資質能力の向上を図る。

受講対象
小・中・特別支援学校新任主幹教諭

研修属性
指名研修

内容等
【オンライン型（ライブ）】
◆講義「新任主幹教諭に望むこと」
◆実践発表「主幹教諭の業務」
◆協議「学校課題の解決に向けて」
・主幹教諭の職務に関する組織マネジメントの講義により、組織運営の活性化をどのように図るかについて協議

研修形態
オンライン型（ライブ）

会場
受講者勤務校（Zoom）

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
				○		

128 食物アレルギー対応一般研修

研修コード 250070-128　キーワード（128、学校給食、食物アレルギー）

日程
7月～2月（1日間）

申込期間
7月～2月

予定人数
制限なし

目的
学校における食物アレルギー事故を防ぎ、児童生徒が安全・安心な学校生活を送るため、各学校の組織体制づくりを支援する。

受講対象
小・中・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員

研修属性
割当研修

内容等
◆講義、講演
具体的な事故防止策、食物アレルギー発症時の対応周知

研修形態
オンデマンド

会場
受講者勤務校（オンライン研修）

研修主体
保健体育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	○

129 60歳以降の服務勤務研修講座

研修コード 250040-129　キーワード（129、再任用教職員）

日程
4月末（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
未定

目的
60歳以降教員として勤務する者に対し、服務勤務や職務への向き合い方について再度確認を図るとともに、組織の一員としての在り方等について認識を深める。

受講対象
小・中・特別支援学校60歳以上の教諭

研修属性
指名研修

内容等
◆講義、協議

研修形態
オンライン型（ライブ）

会場
受講者勤務校（Zoom）

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

130 学校事務職員新規採用者研修

日程
6月17日、18日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
24人

目的
新採用学校事務職員に必要な基本的事項や専門的知識・技能についての研修を行い、その資質の向上を図るとともに、実践力を養い、学校事務の円滑な実施運営に資する。

受講対象
新規採用学校事務職員（市町村立学校）

研修属性
悉皆研修

内容等
◆講義、協議、演習
県の重要課題と事務職員の役割、教職員の含むと勤務・学校事故、学校事務の在り方、給与事務、情報モラルと情報管理

研修形態
オンライン型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○					

131 学校事務職員主事キャリア（5年目）研修

日程
6月18日、19日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
26人

目的
学校事務職員に必要な知識、実務についての研修を行い、その資質の向上を図るとともに、実践力を養い、学校事務の円滑な実施運営に資する。

受講対象
経験5年目の学校事務職員（市町村立学校）

研修属性
悉皆研修

内容等
◆講義、協議、演習
県の重要課題と事務職員の役割、教職員の含むと勤務・学校事故、学校事務の在り方、特別な支援を必要とする児童生徒への対応、児童生徒理解

研修形態
オンライン型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○					

132 学校事務職員新任主任研修

日程
9月9日、10日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
29人

目的
中堅事務職員に必要な知識、高度な実務についての研修を行い、その資質の向上を図るとともに、実践力を養い、学校事務の円滑な実施運営に資する。

受講対象
主任に昇任した学校事務職員（市町村立学校）

研修属性
悉皆研修

内容等
◆講義、協議、演習
教育行政政策と事務職員の役割、クレーム対応と保護者・地域理解、学習指導と事務職員の役割、法令解釈(実務における応用)、特別支援教育

研修形態
オンライン型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○				

133 学校事務職員新任主査研修

日程
9月10日、11日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
9人

目的
共同実施のグループ長や中心的役割を果たす主査として必要な知識、より高度な実務についての研修を行い、その資質の向上を図るとともに、実践力を養い、学校事務の円滑な実施運営に資する。

受講対象
主査に転任した学校事務職員（市町村立学校）

研修属性
悉皆研修

内容等
◆講義、協議、演習
教育行政政策と事務職員の役割、リーダー論、リスク・マネジメント、キャリアデザイン、特別支援教育

研修形態
オンライン型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○			

134 学校事務職員新任事務主幹研修

日程
5月21日、10月8日（新任教頭研修と同一日）（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
15人

目的
共同実施のグループ長や市町村における学校事務改善に必要な知識、より高度な実務についての研修を行い、その資質の向上を図るとともに、実践力を養い、学校事務の円滑な実施運営に資する。

受講対象
事務主幹に昇任した学校事務職員（市町村立学校）

研修属性
悉皆研修

内容等
◆講義、協議、演習
本県義務教育の現状と課題、学校組織マネジメントと教職員評価、戦略マネジメントと学校改革、組織の設計と運営・会議の運営手法、危機管理と教育関係法規

研修形態
オンライン型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
				○		

135 学校事務共同実施関係者研修（全県推進協議会含む）

日程
10月31日（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
200人

目的
学校事務共同実施の意義や目的を確認し、その円滑な推進を図るために、各地域における実践と課題を全県的に共有するとともに、マネジメントに係る理論や実践方法を習得したり、文部科学省や県の教育行政施策に関する理解を深めたりして、学校経営に参画する使命感を醸成する。

受講対象
共同実施関係者

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、演習、実践発表・協議
共同実施の意義と運営方法、学校組織マネジメントの推進、共同実施の在り方

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○		

136 新潟県立高等学校実習助手初任者研修

研修コード 0050-136　キーワード（136、実習助手、初任者研修）

日程
11月中旬（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
3人

目的
本県高等学校教育の現状や課題についての理解を深めるとともに、実習助手として、実践的指導力や使命感を養い資質の向上を図る。

受講対象
新規採用実習助手

研修属性
指名研修

内容等
◆講話
高等学校教育の現状と課題、教育法規、人権教育・同和教育の現状と課題

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○					

137 実習助手教育一般研修

研修コード 253010-137　キーワード（137、実習助手、教育一般）

日程
9月30日、11月～12月のうち1日（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
2人

目的
個々の能力や適性等に応じて、実習助手としての専門性を高めるとともに、本県学校教育の課題についての理解を深め、資質能力の向上を図る。

受講対象
高等学校・特別支援学校職務経験6年目実習助手

研修属性
指名研修

内容等
◆講義、演習、授業参観
教育法規について、新潟県学校教育の現状と課題、人権教育・同和教育について、いじめ問題の現状と未然防止について、発達障害の理解と支援、他校訪問による実地研修

研修形態
集合型

会場
県立教育センター、指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○				

138 実習助手専門研修

研修コード 253010-138　キーワード（138、実習助手、専門）

日程
9月30日、10月1日、11月～12月のうち1日（3日間）

申込期間
申込不要

予定人数
6人

目的
これまでの経験を踏まえて個々の能力や適性等に応じて、実習助手としての専門性を一層高めるとともに、本県学校教育の課題についての理解を深め、資質能力の向上を図る。

受講対象
高等学校・特別支援学校職務経験13年目実習助手

研修属性
指名研修

内容等
◆講義、演習・協議、授業参観
教育法規について、新潟県学校教育の現状と課題、人権教育・同和教育について、いじめ問題の現状と未然防止について、発達障害の理解と支援、教育の情報化について、情報モラルと著作権、ICTの活用、他校訪問による実地研修

研修形態
集合型

会場
県立教育センター、指定された会場

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○			

139 理科実習助手実技講習（教科）

研修コード 0050-139　　キーワード（139、理科、実技講習）

日程
10月20日～22日（3日間）

申込期間
9月中

予定人数
10人

目的
理科実習助手の資質・能力の向上を図り、理科教育の一層の充実に資するために開設する。

受講対象
高等学校理科実習助手

研修属性
希望研修

内容等
◆物理、化学、生物に関する講義、演習、実験等

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

140 新潟県立理科実習助手教員資格認定講座

研修コード 0050-140　　キーワード（140、理科実習助手、資格認定）

日程
9月下旬（3日間）

申込期間
10月中

予定人数

目的
理科実習助手の資質の向上を図り、理科教育を充実させるため研修を行い、教職員免許法附則第9項に定める普通免許状と同程度の知識・能力を有すると認められる者に対し認定証を授与するために開設する。

受講対象
高等学校理科実習助手

研修属性
希望研修

内容等
◆情報工学に関する講義、演習等

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
R6年度は該当者なし

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

141 産業教育実習助手資質向上事業

研修コード 0050-141　　キーワード（141、産業教育、実習助手）

日程
8月（5日間）

申込期間
申込不要

予定人数
1人

目的
高等学校の産業教育に関する教科・科目を担当する実習助手に対して、職務に必要な最新の知識・技術を習得させ、資質の向上を図る。

受講対象
高等学校専門教科実習助手

研修属性
割当研修

内容等
◆各教科概論、実践、教育法

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

142 寄宿舎指導員教育一般研修

研修コード 253010-142　キーワード（142、寄宿舎指導員、教育一般）

日程
7月11日、10月～11月（2日間）

申込期間
申込不要

予定人数
1人

目的
寄宿舎指導員としての個々の能力や適性等に応じて、専門性を高めるとともに本県特別支援教育の課題についての理解を深め、資質・能力の向上を図る。

受講対象
特別支援学校職務経験6年目寄宿舎指導員

研修属性
指名研修

内容等
（研修1日目）【集合型（全体研修）】
講義「円滑な校内連携の実現に向けて」、「本県の特別支援教育の現状と課題」
グループ協議
（研修2日目）
【オンデマンド研修】講義「教育法規」、「人権教育、同和教育の現状と課題」
【集合型】個別研修（近隣の特別支援学校）

研修形態
オンライン型（オンデマンド）、集合型

会場
県立教育センター、受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）、近隣特別支援学校

研修主体
県立教育センター

備考
各学校からの受講該当者調査を基にセンターが指名するため申込不要

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○				

143 寄宿舎指導員専門研修

研修コード 253010-143　キーワード（143、寄宿舎指導員、専門）

日程
7月11日（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
9人

目的
寄宿舎指導員としての専門性を更に高め、他の指導員や学校職員、他機関との連携の実働ができる中堅指導員としての資質能力の向上を図る。

受講対象
特別支援学校職務経験13年目寄宿舎指導員

研修属性
指名研修

内容等
【集合型（全体研修）】
◆講義「円滑な校内連携の実現に向けて」
　「本県の特別支援教育の現状と課題」
◆グループ協議「校内連携による支援の在り方について」

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
各学校からの受講該当者調査を基にセンターが指名するため申込不要

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
			○			

143 寄宿舎指導員専門研修

研修コード 253010-143　キーワード（143、寄宿舎指導員、専門）

日程
7月11日（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
2人

目的
寄宿舎指導員としての専門性を更に高め、他の指導員や学校職員、他機関との連携の実働ができる中堅指導員としての資質能力の向上を図る。

受講対象
特別支援学校寄宿舎指導員

研修属性
割当研修

内容等
【集合型（全体研修）】
◆講義「円滑な校内連携の実現に向けて」
　「本県の特別支援教育の現状と課題」
◆グループ協議「校内連携による支援の在り方について」

研修形態
集合型

会場
県立教育センター

研修主体
県立教育センター

備考
指名対象者がいない学校は、割当として1人選出すること。申込不要

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
		○	○	○		

144 寄宿舎主任指導員資格認定講座

日程
8月4日～6日（3日間）

申込期間
7月中

予定人数
40人

目的
特別支援学校寄宿舎の円滑な運営に寄与するとともに、指導的立場である寄宿舎指導員を対象に、その資質の保持と向上を図り、併せて寄宿舎主任指導員昇任要件である「寄宿舎主任指導員資格認定証」を取得するために必要な単位を取得させる。

受講対象
職務経験14年目以上または36歳以上寄宿舎指導員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、グループ協議、演習
教育公務員の使命及び服務・勤務、特別支援教育にk難する指導方法、障害児の発達と心理、特別支援教育の課題と適正就学

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

145 学校技術員（農務）研修会（県立学校）

日程
7月～8月中（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
19人

目的
県立学校の学校技術員（農務）を対象に専門知識の研修を行う。

受講対象
学校技術員（農務）

研修属性
希望研修

内容等
◆学校農務に関する講義等

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
総務課

備考
申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

146 介助員研修会（県立特別支援学校）

日程
7月～8月中（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
38人

目的
県立特別支援学校の介助員を対象に専門知識の研修を行う。

受講対象
調理員

研修属性
希望研修

内容等
◆介助業務に関する講義等

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
総務課

備考
申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

147 司書研修会（県立学校）

日程
10月～11月中（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
87人

目的
県立学校の司書として必要な基礎知識の習得、資質の向上を図るために研修を行う。

受講対象
司書

研修属性
希望研修

内容等
◆図書館業務に関する講義等

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
総務課

備考
申込方法については別途通知

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

148 県立学校配置ALT研修会

研修コード 250050-148　キーワード（148、学校配置、ALT研修）

日程
10月17日（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
25人

目的
県立学校配置のALTに対し、ティーム・ティーチングの指導力向上を図り、授業研究を行うとともに、生活適応指導を行う。

受講対象
県立学校配置ALT

研修属性
指名研修

内容等
◆授業研究、協議
教材研究（指導案の作成と教材の工夫）、授業研究（公開授業見学及び評価）、生活適応指導（日本語指導と生活上の問題点についての話し合い）

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

149 県立学校配置ALT春季指導力向上研修

研修コード 250050-149　キーワード（149、外国語指導助手、ALT）

日程
4月8日（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
25人

目的
県立学校配置のALTに対し、ティーム・ティーチングの指導力向上を図り、授業研究を行うとともに、生活適応指導を行う。

受講対象
県立学校配置ALT

研修属性
指名研修

内容等
◆授業研究、協議
教材研究（指導案の作成と教材の工夫）、授業研究（公開授業見学及び評価）、生活適応指導（日本語指導と生活上の問題点についての話し合い）

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

150 外国語指導助手(ALT)の指導力等向上研修

研修コード 250050-150　キーワード（150、外国語指導助手、ALT）

日程
1月15日、16日（2日間）

申込期間
11月1日～12月19日

予定人数
150人

目的
語学指導に従事する外国語指導助手（ALT）に対し、一層効果的な指導ができるよう必要な知識・指導技術等を習得させるとともに、日本人英語教諭（JTE）とともに外国語教育に係る諸問題について研究協議を行う。

受講対象
県雇用ALT、市町村雇用ALT、日本人英語担当教員

研修属性
指名研修

内容等
◆講演、実践発表、協議
効果的なティーム・ティーチング、効果的なテキストの使用法、動機付け、授業に使えるドラマ・ゲーム、評価について、再任用について

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
高等学校教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

151 学校給食運営研修会

研修コード 250070-151　キーワード（151、学校給食、運営研修）

日程
7月4日（1日間）

申込期間
6月中

予定人数
250人

目的
学校給食の円滑な運営を目指し、栄養教諭、学校栄養職員等の関係者の専門的知識の習得及び資質の向上を図る。

受講対象
小・中・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員、管理職、市町村教育委員会担当職員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、講演
学校給食の運営に関すること

研修形態
オンライン型（ライブ）

会場
受講者勤務校（オンライン研修）

研修主体
保健体育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	○

152 幼保小合同研修会

研修コード 250040-152　キーワード（152、幼保小、合同研修）

日程
8月（1日間）

申込期間
7月中

予定人数
300人

目的
幼児教育に関する内容、幼稚園等の運営・管理、保育技術等に関する専門的な講義、研究協議を行うことにより、幼児教育の振興・充実を図る。幼稚園教員、保育士と小学校教員等の合同研修により、相互理解を深め、幼児教育と小学校教育との円滑な接続の在り方について共通理解を図る。

受講対象
幼・保・小・特別支援学校・行政担当教職員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、実践発表、グループ協議
幼児教育の教育課程、幼稚園等の運営・管理、幼児教育と小学校教育との違いや子供の発達と学びの連続性（幼保小架け橋プログラム）

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
文科省委託事業

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

153 幼保小オンライン研修

研修コード 250040-153　キーワード（153、幼児教育、幼保小、架け橋プログラム、オンライン）

日程
5月～12月（20日間）

申込期間
随時

予定人数
制限なし

目的
幼保小架け橋プログラム推進に向けた講義を行い、幼児教育と小学校教育の円滑な接続の在り方についての理解を深める。また、幼児教育に関する内容、幼稚園等の運営・管理、保育技術等に関する専門的な講義、研究協議を行うことにより、幼児教育の質の向上を図る。

受講対象
幼・保・小・特別支援学校・行政担当教職員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、講演、グループ協議
幼児教育の動向、保育動画の視聴による援助の在り方の検討、架け橋プログラムについて

研修形態
オンライン型（ライブ、オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンライン研修）

研修主体
義務教育課

備考
全?回、個別受講可

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	

154 架け橋期のコーディネーター専門研修

研修コード 250040-154　キーワード（154、幼児教育、幼保小、架け橋プログラム、オンライン）

日程
5月～12月（1日間）

申込期間
4月

予定人数
30人

目的
幼保小の架け橋プログラムの目的や意義、進め方等を理解し、プログラム推進に向けた体制構築や研修支援を行う力量を高める。

受講対象
行政担当教職員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、グループ協議

研修形態
オンライン

会場
受講者勤務校（オンライン研修）

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

155 幼児教育推進リーダーフォローアップ研修

研修コード 250040-155　キーワード（155、幼児教育、推進リーダー、フォローアップ）

日程
6月、10月（2日間）

申込期間
4月

予定人数
30人

目的
担当域内の幼児教育の質の向上に向け、訪問要請に応える力量を高める。

受講対象
幼・保・小・特別支援学校・行政担当教職員

研修属性
希望研修

内容等
◆講義、グループ協議

研修形態
オンライン

会場
受講者勤務校（オンライン研修）

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
				○	○	○

156 公立義務教育諸学校臨時職員研修

研修コード 250040-156　キーワード（156、義務教育諸学校、臨時職員）

日程
5月：各教育事務所ごとに実施（1日間）

申込期間
申込不要

予定人数
200人

目的
公立義務教育諸学校に勤務する臨時職員が公教育に携わる者としての心構え及び服務勤務等に関する事項を研修することを通して、教職員としての資質向上を図る。

受講対象
臨時職員

研修属性
悉皆研修

内容等
◆講義
新潟県の教育の現状と課題、人権教育・同和教育の推進、教職員の服務・・勤務

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
義務教育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

157 がん教育指導者研修会

研修コード 250070-157　キーワード（157、教諭、養護教諭、栄養教諭、保健主事、管理職、指導主事）

日程
未定（1日間）

申込期間
11月～12月中

予定人数
90人

目的
学校におけるがん教育において、がんに対する理解を深めるため外部講師の効果的な活用事例等を学び、外部講師活用の推進を図る。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教諭、養護教諭、栄養教諭、管理職、指導主事

研修属性
希望研修

内容等
講義、協議
学校におけるがん教育外部指導者の活用について、効果的な活用の方法を学ぶ

研修形態
集合型

会場
指定された会場

研修主体
保健体育課

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	○

158 実践力向上研修

日程
5月上旬から翌年の2月上旬

申込期間
詳細は県立教育センターHPを参照

予定人数
90人

目的
各学校の実態に即した実践的な指導力向上のため、指導主事を派遣して教科等に係る校内研修等を支援する。

受講対象
研修を希望する公立学校園の教職員（新潟市立の学校園は除く）

研修属性
希望研修

内容等
様々な校種における各教科、総合的な学習の時間、道徳、特別活動、キャリア教育、教育課程、特別支援、教育相談、ICTの機器や活用方法について支援を行う。

研修形態
集合型、オンライン型（ライブ）

会場
各会場、オンライン型（ライブ）

研修主体
県立教育センター

備考

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

159 指導力ステップアップ研修

日程
4月1日～3月31日（200日間）

申込期間
申込不要

予定人数
－

目的
「指導力の回復・向上のための研修」を命じられた教職員に対して、「新潟県立教育センター」において一定期間の研修を行い、児童生徒に対する指導力の回復や教員としての資質向上を図り、職場復帰を目指す。

受講対象

研修属性
指名研修

内容等
◆受講者の課題に応じた内容

研修形態
集合型

会場
県立教育センター、所属学校他

研修主体
県立教育センター

備考
詳細は開催通知で確認すること。

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
						○

160 ［第18回教育フォーラムアーカイブ配信］分科会1「特別支援教育」

研修コード 253010-160　キーワード（160、教育フォーラム、特別支援）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
県立教育センターで実施している調査・研究の発表、教育課題についての講演及び教育現場で日々進められている実践研究の成果についての協議をとおして、新潟の教育の方向性を考える。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆分科会1「特別支援教育」
生徒一人一人の教育的ニーズを把握するための取組や生徒の支援について、特別支援学校のセンター的機能を活用した、高等学校と特別支援学校の学校間連携の在り方を提案する。

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
令和6年度教育フォーラムの内容を単年度に限りオンデマンド配信

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	○

160 ［第18回教育フォーラムアーカイブ配信］分科会2「学級・ホームルーム経営」

研修コード 253010-160　キーワード（160、教育フォーラム、学級経営、ホームルーム経営）

日程
4月7日～2月27日（1日間）

申込期間
4月7日～2月27日

予定人数
制限なし

目的
県立教育センターで実施している調査・研究の発表、教育課題についての講演及び教育現場で日々進められている実践研究の成果についての協議をとおして、新潟の教育の方向性を考える。

受講対象
小・中・高・特別支援学校教員

研修属性
希望研修

内容等
◆分科会2「学級・ホームルーム経営」
「子どもの人間関係づくり」に焦点化し、具体的な保育や授業実践を、動画を交えて紹介する。また、上越教育大学の赤坂真二教授に助言をいただき、発達段階に応じた「話合い活動」の在り方について考える。

研修形態
オンライン型（オンデマンド）

会場
受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）

研修主体
県立教育センター

備考
令和6年度教育フォーラムの内容を単年度に限りオンデマンド配信

キャリアステージ	第1期	第2期	第3期	ミドルリーダー	管理職	その他
	○	○	○	○	○	○

161	全県学校安全・保健体育講座 研修コード 250070-161　キーワード（161、学校安全、保健体育）	日程 4月7日～5月30日（1日間）	
		申込期間 4月4日～5月9日	予定人数 制限なし
目的 児童生徒の健康教育（学校保健・学校給食・学校安全）、学校体育に関する今日的課題、及びこれらを解決するために新潟県が推進する重点事項について共有し、各学校において、令和7年度の取組と対応の徹底が図られるようにすることを目的とする。		受講対象 小・中・高・特別支援学校管理職、市町村教育委員会担当指導主事・担当者	研修属性 指名研修
内容等 ◆講義 学校における学校保健、学校給食（食育）、食物アレルギー対応、学校安全、学校体育		研修形態 オンデマンド	
		会場 受講者勤務校（オンデマンド動画視聴）	
		研修主体 保健体育課	
備考 詳細は開催通知で確認すること。		キャリアステージ	第1期：　第2期：　第3期：　ミドルリーダー：　管理職：○　その他：

その他の研修（中央研修）

	研修・講座名	対象	研修主催者	研修属性
1	教職員等中央研修（中堅教員研修）	小・中・特・高等学校　教諭	教職員支援機構	指名
2	カリキュラム・マネジメント研修	指導主事	教職員支援機構	指名
3	体力向上マネジメント指導者養成研修	小・中・高等学校校長・教頭・主幹教諭・教諭	教職員支援機構	指名
4	学校安全指導者養成研修	小・中・高等学校・特別支援学校　教諭等、指導主事	教職員支援機構	指名
5	食育指導者養成研修	小・中・高・特別支援学校栄養教諭、指導主事	教職員支援機構	指名
6	健康教育指導者養成研修	小・中・高・特別支援学校教諭、養護教諭、指導主事	教職員支援機構	指名
7	教育相談基幹研修	教諭、教頭、副校長、指導主事等	教職員支援機構	割当
8	学校教育の情報化指導者養成研修	高等学校教諭、指導主事	教職員支援機構	希望
9	産業・情報技術等指導者養成事業	高等学校教諭	教職員支援機構	希望
10	幼児教育専門研修	指導主事等	教職員支援機構	希望

Plantにおける研修・講座受講の流れ

各学校用

※　悉皆・指名研修については、研修主体が県立教育センターで行う場合をもとに例示している。
別途、研修主催者から申込みに関する案内があった場合は、その指示に従う。

	各学校の教職員	各学校の管理職	研修主体 (県教育委員会等)
4月初め	Plantに個人IDでログイン 登録情報（所属、氏名等）確認 メールアドレス、パスワード等登録 （※1）	管理職IDでログイン 所属職員（所属、氏名等）の確認 メールアドレス、パスワード等確認 （※2）	
	← 「教職員研修計画」を周知		→ 登録情報の訂正等は教育庁総務課へ連絡
研修申込・申込状況の確認	**悉皆・指名研修の場合**　※ 受講者本人の申込は不要		
			受講該当者の登録
	研修申込状況のページより「受講決定」を確認	教職員の「受講状況」を確認	
	希望・割当研修の場合		
	「申込期間」にPlantから「申込」する。	教職員の「申込」を承認・否決	
			受講の可否を決定
	「申込」した研修・講座の「受講状況」を確認	教職員の「受講状況」を確認	
受講決定後			開催通知を送付
	Plantから「実施要項、事前課題等」を確認	教職員に開催通知を周知	

※1　パスワードは登録したメールアドレスで再発行可能であり、メールアドレスは２つ登録することを推奨する。

※2　所属職員の登録情報（メールアドレスの入力、所属等）に誤りがあった場合は教育庁総務課企画係に管理職を通して連絡する。

Plant操作手引き〔ログインに関すること〕

1　準備するもの

- □　機器：インターネットに接続できる端末
- □　Webブラウザ：GoogleChrome、Microsoft Edge、Safariを推奨
- □　メールアドレス：常時確認できるメールアドレスの登録を推奨
  Plantにログインする時には、登録したメールアドレスに届く認証コードが必要
- □　教職員研修計画（県教育委員会、県立教育センターのホームページに掲載）
- □　ログインID、パスワード

2　Plantへのアクセス

Plantログイン画面

方法１：ブラウザ上部にある「URL欄」に以下のURLを入力してアクセスする。

https://plant.nits.go.jp

※ Yahoo等検索エンジンの検索ボックスにURLを入力してもアクセスできない。

方法２：右の二次元コードからアクセスする。

3　Plantにログイン

1．ログインIDとパスワードを入力して、「ログイン」をクリックする。

初回ログイン時は、メールアドレス等を登録して、初期設定を行う。

※　使用の端末やインターネットサービスのメールシステムの設定により「迷惑メールフォルダ」に振り分けられている場合があるので要注意。

2．登録したメールアドレスを選択して、「認証コード送信」をクリックする。

※　メールアドレスは２つ登録することを推奨

3．選択したメールアドレスに届いた認証コードを入力し、「検証」をクリックする。

4．利用者TOP画面が表示される。

4　アカウント情報の確認

1．画面上部の「アカウント情報」をクリックする。

2．アカウント情報を確認する。
　アカウント情報を変更する場合は、「編集」をクリックする。

・メールアドレスについて	・・・	メールアドレスは２つ登録できるため、常時確認できるメールアドレスも登録することを推奨する。
・所属について	・・・	異なる所属が表示されている場合は、管理職に報告する。
・姓の変更について	・・・	旧姓等を使用する場合、姓の欄を変更し、管理職に報告する。

3．「更新」をクリックする。

5　重点目標の登録

育成指標をもとに、自身のキャリアステージに応じた個人の「重点目標」を登録する。

1．画面上部タブの「重点目標」をクリックする。

2．「重点目標登録・編集」をクリックし、「年度」「職種」を選択してから、「重点目標」を設定（複数項目選択可能）する。

3．「更新」をクリックする。

※　「重点目標」が登録されていないと、受講履歴出力の際、チャートが表示されない。

※　重点目標は年度当初以外でも登録が可能。

重要ポイント

■　県立教育センターが行う悉皆研修、指名研修は、受講者本人の申込みは不要である。
（県立教育センターで受講登録を行う）

■　割当研修、希望研修は、教職員研修計画の「教職員研修一覧」を参照し、受講者本人が所属の管理職等の承認を受けて、「申込期間」内にPlantで申し込む。

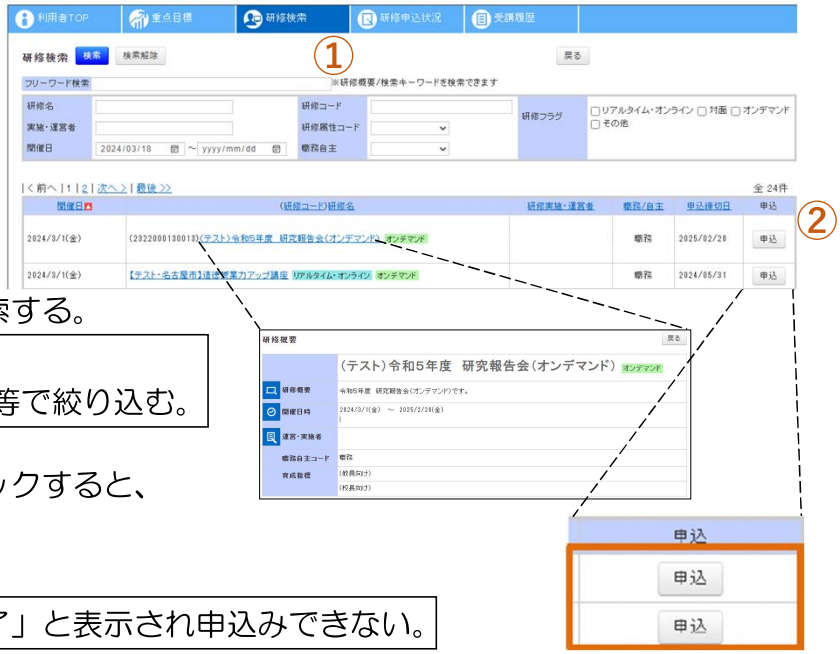
※　別途、研修主体から申込みに関する案内がある場合については、その指示に従う。

■　Plant操作、研修受講に関する問合せは、所属の管理職を通して行う。

■　県立教育センターが行う研修の資料配付、事前課題の提示等は、Plantを通じて行う。
研修開催日前に必ず各研修・講座の情報を確認すること。

6　研修申込み

1．画面上部タブの「研修検索」をクリックすると、研修・講座の一覧が表示される。



2．一覧が表示されない場合、目的の研修を検索する。

検索例１：研修コード、研修名で絞り込む。
検索例２：新潟県、県立教育センター、開催日等で絞り込む。

3．検索結果が表示される。「研修名」をクリックすると、
研修の詳細情報を確認することができる。

4．「申込」ボタンをクリックする。

※　申込期限が終了している場合、「申込終了」と表示され申込みできない。

5．所属の管理職に報告する。

※　所属の管理職からPlantの「承認」を行った後、「申込中」となる。

7　研修申込状況の確認

1．画面上部タブの「研修申込状況」をクリックすると、研修申込状況が表示される。

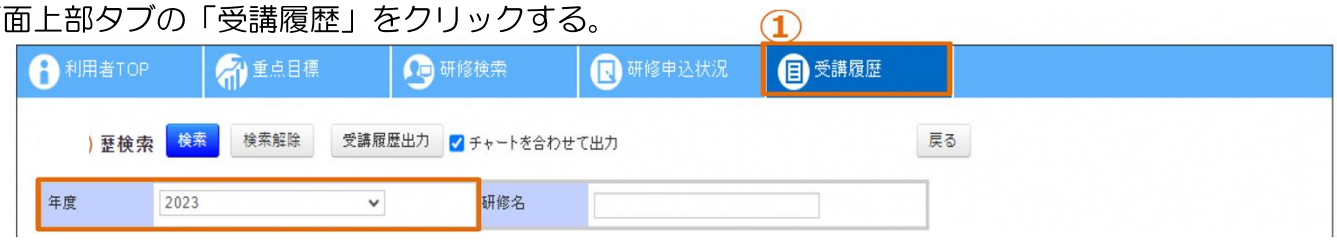
「承認中」	管理職または教育委員会の承認処理が終わってない状況
「申込中」	管理職または教育委員会の承認が終わり、研修主体が受講の可否を判断している状況
「受講決定」	研修主体が受講決定した状況
「否決」	管理職または教育委員会が申込みを否決した状況
「選考中」	定員を超えた場合など、研修主体が受講の可否を判断している状況
「選考漏れ」	研修主体が否決した状況
「キャンセル」	受講者から受講をキャンセルした状況

2．「確認」ボタンをクリックし、研修申込状況を確認する。

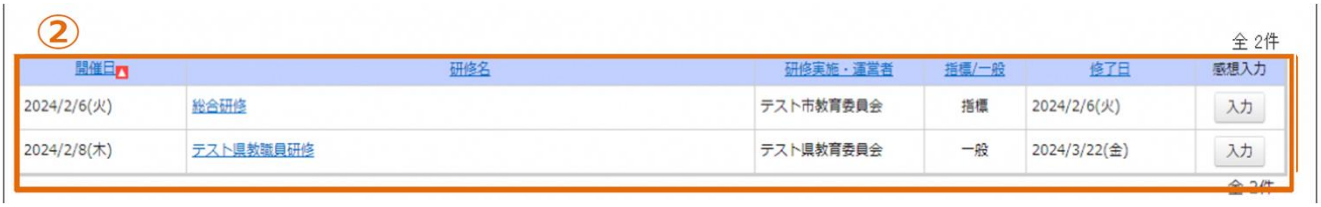
～　年度末に確認すること Ⅰ　～

1　今年度の受講履歴の確認

1．画面上部タブの「受講履歴」をクリックする。



2．受講を「修了」した研修・講座が一覧で表示される。

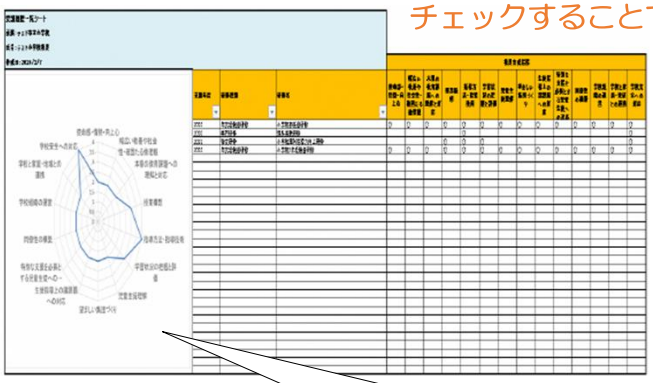


3．「受講履歴出力」をクリックすると、受講履歴一覧がExcel形式で出力できる。

【受講履歴一覧】

【チャートシート】

「チャートを合わせて出力」にチェックすることで出力



① 今年度中に受講した履歴が確実に反映されているかを確認する。

② 研修主体が、「修了状況」を「修了」と判定した研修・講座について、受講者の受講履歴に表示される。受講履歴に記録漏れがある場合は、それぞれの研修主体に管理職を通じて問い合わせること。

③ 校内研修・研究等、校長が受講履歴の対象となると判断した研修については、管理職に確認する。

※　事前に「重点項目」が登録されていないとチャートは表示されない。

留意点

受講履歴一覧（Excel形式）の一覧は、同一アカウントからのログインであれば、いつでも確認可能なため、特にExcel形式でデータ保管する必要はない。

～　年度末に確認することⅡ　～

2　異動する場合の確認

・異動後も「ログインID」は変わらない。

□　登録しているメールアドレスを確認すること

・登録したメールアドレスが異動後の学校で使用できない場合、そのメールアドレスでは異動後に「認証コード」が届かずログインできないため、メールアドレスの変更ができないことから、異動前に必ず、異動後でも「認証コード」を受信できるメールアドレスに変更すること。

（補足）
・登録したメールアドレスは、「認証コード」や「研修主体からのお知らせ」などを受信するために必要である。
・メールアドレスは２つ登録できるため、常時確認できるようメールアドレスも登録することを推奨する。

留意点　異動後における確認事項

・「所属」が異動後の所属名になっているか確認する。
異なる所属が表示されている場合は、管理職に報告すること。

3　退職する場合の確認

・退職後も臨時的任用職員として、引き続き県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に勤務する場合は、同じ「ログインID」「パスワード」を使用できる。

・退職によりPlantの利用が不要となった場合の連絡は不要。

留意点

・退職後、他の都道府県や政令指定都市へ採用となる場合、ログインID、パスワードを引き続き使用することはできない。そのため、受講履歴一覧をExcel形式のデータで各自が保管しておくこと。

・退職後に、年度途中で新たに採用（再任用）され、Plantを利用する場合は、管理職に報告する。

1　準備するもの

- □　機器：インターネットに接続できる端末
- □　Webブラウザ：GoogleChrome、Microsoft Edge、Safariを推奨
- □　メールアドレス：学校代表メールアドレスまたは管理職メールアドレスを使用
- □　教職員研修計画（県教育委員会、県立教育センターホームページに掲載）
- □　文部科学省から示されたPlant学校管理者用マニュアル
- □　学校管理職用ログインID、パスワード

2　Plantへのアクセス

Plantログイン画面

方法１：ブラウザ上部にある「URL欄」に以下のURLを入力してアクセスする。

https://plant.nits.go.jp

※ Yahoo等検索エンジンの検索ボックスにURLを入力してもアクセスできない。

方法２：右の二次元コードからアクセスする。

3　Plantにログイン

１．学校管理者用ログインIDとパスワードを入力して、「ログイン」をクリックする。

２．管理者TOP画面が表示される。

重要ポイント

□　学校管理者IDとパスワードを使って、ログインする。

Plantの操作に関する問合せは、次頁「問合せ先②」に連絡する。

□　所属の職員一覧を確認する。（上部タブ「利用者検索」で、組織を校名として検索すると確認可能）

組織	（例：　〇〇高等学校、□□中学校）

ア　転入職員について、前年度「受講該当者調査」の報告がされているかを本人に確認する。該当する研修・講座の報告が行われていない場合は、次頁「問合せ先③」に連絡する。

イ　新採用職員について、経験年数の積算等、不明な点がある場合、次頁「問合せ先③」に連絡する。

※　経験年数は、県内外の国立、公立又は私立の学校の教諭又は養護教諭として在籍した期間（臨時的任用された期間を除く）を積算したもの。

□　「教職員研修計画」の「教職員研修一覧」を所属の職員に周知し、「申込期間」内に申込みできるように準備する。

申込期間を過ぎると申込みができない。

□　所属の職員のアカウント情報について修正・追加がある場合、下記までメールで連絡する。

【連絡先】	新潟県教育庁総務課企画係
【メールアドレス】	ngt500010@pref.niigata.lg.jp
【件名】	Plant登録者情報の修正（・追加）について（〇〇学校）
【本文に記載する内容】	１　内容：登録の修正（・追加） ２　登録者の情報：①学校名、②職員コード、③氏名（カナ） ３　報告者の情報：報告担当者の氏名、連絡先（電話番号）

4　申込承認

1．画面上部タブの「研修申込管理」をクリックすると、所属の職員から申請された「研修情報」や「研修名」、「研修日時」が表示される。

2．承認待ちの研修について、ステータスの選択部分で「承認」か「否決」を選び、コメント（任意）を入力して更新ボタンをクリックする。

3．承認・否決処理が完了すると、処理完了のメッセージが表示される。確認ボタンをクリックすると、承認・否決処理を行った研修の決裁状況を確認することができる。

【問合せ先】

① **ログインできない場合やアカウント情報の訂正に関すること**
　　教育庁総務課企画係　ngt500010@pref.niigata.lg.jp

② **Plant操作に関すること**
　　県立教育センター教育企画班（Plant担当）　０２５－２６３－９０１４

③ **基本研修などの受講該当に関すること**
　　県立教育センター教員研修班　０２５－２６３－９０１８ または ０２５－２６３－９０１７

補足１　研修と受講履歴の登録について

校内研修・研究等、校長が受講履歴の対象となると判断した研修は、所属の管理職等または職員が研修を登録する。

指標一般コード(必須入力)は、原則「一般」を選択

１．所属の管理職等が研修を登録する場合　※　学校管理者TOPページより

（１）画面上部タブの「研修管理」をクリックしてから、「研修新規追加」ボタンをクリックする。

（２）必要項目を入力し、「登録」ボタンをクリックする。

（３）－①　職員から、申込みをさせる場合

- 職員にPlantから、申込みを行うよう伝える。
- 画面上部タブの「研修申込管理」から、職員の研修申込みを承認する。

（３）－②　所属の管理職等が一括して登録する場合

- 画面上部のタブの「研修管理」をクリックし、（１）で作成した研修を選択した上で、編集画面に進む。
- 「受講者管理」ボタンをクリックして、「一括代理申込」ボタンをクリックする。
- CSVファイルを使って職員を受講者に登録する。

２．職員が受講履歴として研修を登録する場合　※　利用者TOPページより

（１）画面上部タブの「受講履歴」をクリックしてから、「受講履歴登録」ボタンをクリックする。

（２）「受講履歴追加」ボタンをクリックし、必要項目を入力した上で「登録」ボタンをクリックする。

※　詳しい研修登録・利用方法は、文部科学省から示されたPlant学校管理職向けマニュアルを参照

補足２．受講履歴の確認について

１．画面上部タブの「受講履歴管理」をクリックする。

２．研修の修了状況が「修了」となった研修及び受講者情報が一覧で表示される。

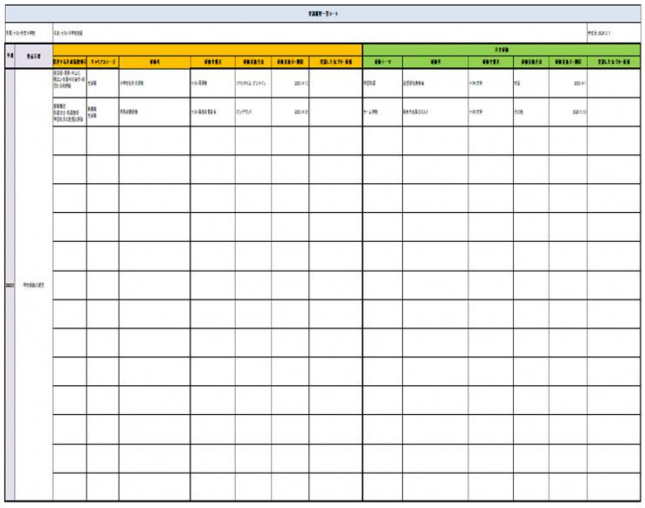
開催日	研修名	受講者姓名	受講者組織名
2024/2/6(火)	テスト研修	教員　太郎	テスト市立第一小学校
2024/2/8(木)	テスト県教職員研修	教員　太郎	テスト市立第一小学校

３．「受講履歴出力」ボタンをクリックすると、 CSVで出力することが可能。

所属の職員のページで記録する受講履歴と共に活用し、職員への受講奨励の一助として使用する。

参考　職員のページで出力可能な受講履歴

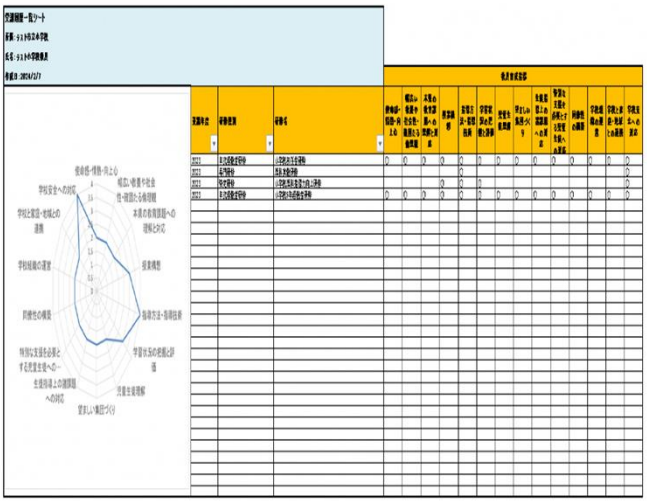
【受講履歴一覧】



指標研修　一般研修

受講履歴出力　チャートを合わせて出力

【チャートシート】　チェックすることで出力



※　職員からの「重点目標」が登録されていないと、チャートが表示されない。

～　年度末に確認すること　～

1　異動する職員に対して

□　登録しているメールアドレスを確認させる

- 登録したメールアドレスが異動後の学校で使用できない場合、そのメールアドレスでは異動後に「認証コード」が届かずログインできないため、メールアドレスの変更ができない。
- 異動前に必ず、異動後でも「認証コード」を受信できるメールアドレスを登録しているかを確認すること。

2　退職する職員に対して

□　退職によりPlantの利用が不要となる場合

- ログインID、パスワードを引き続き使用することはできない。

必要に応じて、受講履歴一覧をExcel形式のデータで各自に保管させること。

□　他の都道府県や政令指定都市への採用となる場合

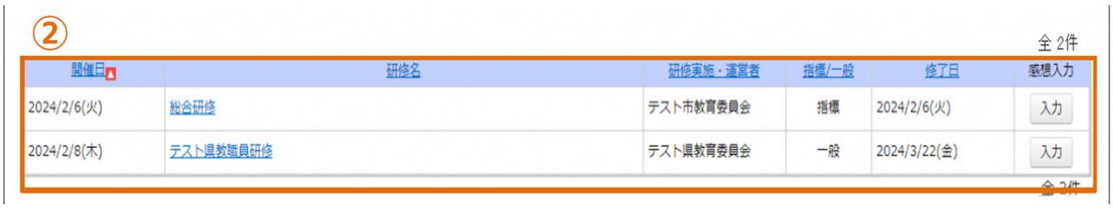
- ログインID、パスワードを引き続き使用することはできない。

受講履歴一覧をExcel形式のデータで各自に保管させること。

【参考資料】受講履歴一覧のデータ保管の仕方

1．（個人IDでログイン後）画面上部の「受講履歴」をクリックする。

2．受講を「修了」した研修・講座が一覧で表示される。



3．「受講履歴出力」をクリックすると、受講履歴一覧がExcel形式で出力できる。

Plant に関するＦＡＱ

１　ログインに関すること

No.	質　問	回　　答
1	Plant 初期設定でメールアドレスの登録が必要とありますが、どのようなメールアドレスを登録すればよいですか。	所属校の公的なアドレスも個人で取得した私的なアドレスも使用可能ですが、異動後も継続して使用でき、常時確認できるメールアドレスの登録を推奨します。Plant にログインする時には、登録したメールアドレスに届く認証コードが必要となります。なお、メールアドレスは２つまで登録でき、認証コードを送付するアドレスを選択することができます。 また、研修主催者からの研修情報等を連絡する際に、登録したメールアドレスを利用します。
2	パスワードを忘れて Plant にログインできなくなりました。どうすればよいですか。	パスワードを忘れてしまった場合、ログインページから登録したメールアドレスを通して、パスワードの再発行が可能です。ログイン ID、初期パスワードが不明の場合は、学校管理職に確認してください。
3	初回ログイン時、アカウント情報に誤ったメールアドレス登録してしまい、認証コードが届かず、ログインできなくなった。	登録メールアドレスの修正は教育庁総務課企画係で行います。学校管理職を通じて教育庁総務課企画係にメールで連絡願います。なお、メールアドレスを２つ登録してある場合は、認証コード送付先を変更できるので、メールアドレスを個人で修正が可能となります。
4	「アカウント情報」で表示されている姓を変更したいのですができますか。	旧姓を使用したい場合など、各個人で変更可能です。「アカウント情報変更」で姓の欄を変更してください。事前に必ず学校管理職に報告の上、変更願います。詳しくは、県立教育センターホームページにある「【教職員用】全国教員研修プラットフォーム（Plant）操作手引き」で確認してください。

２　受講申込みに関すること

No.	質問	回答
5	すべての研修において、Plant からの申込みが必要ですか。	一部の研修は Plant を使用しません。Plant からの申込みが必要な研修は、教職員研修計画に記載のとおりです。なお、県立教育センターで実施する研修については、次の通りとなっています。 「悉皆研修、指名研修」: 申込み不要 研修主催者で受講者登録します。 「割当研修、希望研修」: 申込み必要 学校管理職の承認を経た上で、申込み願います。

6	受講決定通知はどのように届きますか。	Plant の「研修申込状況」を確認してください。学校管理職にも所属職員の受講決定の可否が Plant で表示されますので、確認をお願いします。なお、申込不要の研修についても受講決定の可否が Plant で表示されますので、確認をお願いします。
7	研修に申し込んだが、「受講決定」と表示されていない。	「受講決定」と表示されていない場合、以下の理由が考えられます。 ・学校管理職の承認を得ていない ・すでに定員を満たしている ・まだ申込期間中である 学校管理職が Plant で承認処理してしない研修は、研修主催者に申込状況が届きません。学校管理職の承認後、研修主催者に申込状況が届き、受講の可否を決定します。
8	研修主催者から開催通知が届いたが、受講者の姓が間違っていた。	姓を変更したい場合は、各個人で変更することになりますが、研修の開催時期によって変更が反映されない場合があります。その際は管理職を通して各研修担当者にご連絡ください。

3　受講履歴に関すること

No.	質問	回答
9	令和４年度以前の受講履歴についても Plant で確認できますか。	Plant で登録されるのは、令和５年度からの受講履歴です。令和４年度以前の受講履歴は、Plant に登録されていませんので、登録したい場合は各自で受講履歴を登録してください。

4　職員情報の管理に関すること（学校管理職のみ）

No.	質問	回答
10	異動後の職員の情報が正しく表示されないのですが、どうしたらよいですか。	異動した職員の所属情報が更新されていないことが考えられます。教育庁総務課企画係に連絡してください。

問合せ先

※　主な問合せ先を整理したものです。行き違い等を防ぐため、問合せは学校管理職を通じてお願いします。

【ログインできない場合やアカウント情報の訂正に関する問合せ】
県教育庁　総務課　企画係
メールアドレス　ngt500010@pref.niigata.lg.jp　　電話　025-280-5587

【Plant 操作に関する問合せ】
県立教育センター　教育企画班
メールアドレス　ngt503010@pref.niigata.lg.jp　　電話　025-263-9014

Tea Room

新潟県教育支援システム利用案内（R７）

① 県センHP Tea Roomバナー

・「新潟県立教育センター」を検索
・ホームページ左下のバナーをクリック

※セキュリティ上、「新潟県教育支援システム（Tea Room）」を、直接検索しても、表示されない設定になっています。

スマホでも利用できます
二次元コードを読み込む

② 初期認証

初期認証ユーザー名と
初期認証パスワードを入力

初期認証ユーザー名　＊＊＊＊
初期認証パスワード　＊＊＊＊

③ 個人認証ログイン

個人認証ログインIDと
個人認証パスワードを入力

「個人認証ログインID」と「個人認証パスワード」が付与されていない方は、新規会員登録の申請が必要です。管理職に相談してください。

ホーム

- 研修等で知り合った**先生を探す**ことができます。
- 個人宛の**メッセージ**を送受信することができます。
- 動画による操作マニュアルをダウンロードすることができます。

資料を探す

- 教科、学年等の条件による**絞り込み検索**をすることができます。
- 投稿資料を**ダウンロード**することができます。
- 自分が作成した資料を投稿することができます。
- 通知やたよりがアップされます。

コミュニティ

- 県内教員とつながるきっかけの場です。
- ユーザーは、どの**コミュニティ**にも自由に参加申請をすることができます。
- 日々の業務や日頃抱えている課題・悩みについて、相談することができます。

グループ

- 主に研修の場として利用します。
- **グループ**には、主催者に登録されたユーザーのみ参加することができます。
- 研修メンバーだけがアクセスできる環境の中で、安心して研修を進めることができます。

相談窓口

県立教育センター　学力向上推進チーム
E-mail：ngt-education@pref.niigata.lg.jp
エルジー
TEL：025-263-9024
受付時間：9時～12時
13時～17時